
2022年度
武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部
卒業時アンケート
結果報告書

2023年6月
武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部
自己評価委員会

調査概要	3
調査結果のまとめ	5
調査結果のまとめ	6
アンケート結果 詳細内容【回答者のプロフィール】	13
回答者プロフィール	14
アンケート結果 詳細内容【立学の精神、ディプロマ・ポリシーの浸透度】	16
「立学の精神」の浸透度	17
ディプロマ・ポリシーの浸透度	18
アンケート結果 詳細内容【満足度】	19
教育内容の満足度	20
卒業後の進路の満足度	23
総合満足度	25
アンケート結果 詳細内容【修学状況】	29
学びの機会	30
学びの充実度	36
アンケート結果 詳細内容【ディプロマ・ポリシーの修得度】	41
修得した能力【大学】 7学部14学科	42
修得した能力【短期大学部】 7学科	56
巻末資料【調査票】	63
調査票	64

1. 調査の目的

卒業時のディプロマ・ポリシーの達成度と教育内容に対する評価を把握し、学修成果を測定。教育内容および教育方法の適切性を検証するための指標として活用する。

2. 調査対象

2023年3月に学校法人武庫川学院の大学、短期大学部のいずれかを卒業する卒業生(2022年度卒業生)

武庫川女子大学	1,983名
武庫川女子大学短期大学部	329名
計	2,312名

3. 調査実施時期

2022年3月18日(土)～4月3日(月)

4. 調査方法

Googleフォームで作成したアンケートによるWeb調査

5. 主な調査項目

- 立学の精神、ディプロマ・ポリシーの浸透度
- 教育内容の満足度
- 卒業後の進路の満足度
- 総合満足度
- 学びの機会
- 学びの充実度
- ディプロマ・ポリシーの修得度(学科別)

学科別の回収率

		卒業者数	有効回答数	有効回答率
大学・計		1,983	1,550	78.2%
大学	文学部	624	500	80.1%
	文学部 日本語日本文学科	185	166	89.7%
	文学部 英語文化学科	247	185	74.9%
	文学部 心理・社会福祉学科	192	149	77.6%
	教育学部 教育学科	236	145	61.4%
	健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科	210	165	78.6%
	生活環境学部	602	538	89.4%
	生活環境学部 生活環境学科	196	167	85.2%
	生活環境学部 食物栄養学科	216	202	93.5%
	生活環境学部 情報メディア学科	160	139	86.9%
	生活環境学部 建築学科	30	30	100.0%
	音楽学部	45	43	95.6%
	音楽学部 演奏学科	18	17	94.4%
	音楽学部 応用音楽学科	27	26	96.3%
	薬学部	194	133	68.6%
	薬学部 薬学科	159	102	64.2%
薬学部 健康生命薬科学科	35	31	88.6%	
看護学部 看護学科	72	26	36.1%	
短期大学部・計		329	254	77.2%
短期大学部	短期大学部 日本語文化学科	57	53	93.0%
	短期大学部 英語キャリア・コミュニケーション学科	35	26	74.3%
	短期大学部 幼児教育学科	58	38	65.5%
	短期大学部 心理・人間関係学科	50	41	82.0%
	短期大学部 健康・スポーツ学科	31	28	90.3%
	短期大学部 食生活学科	38	18	47.4%
	短期大学部 生活造形学科	60	50	83.3%
総計		2,312	1,804	78.0%

調査結果のまとめ

調査結果の要点

※大学、短期大学部の課題を共有することを目的とし、以下の調査結果からポイントを抜粋。
(特に記載がない場合は、大学、短期大学部に共通した傾向を記載。)

- ・ 貴学に対する満足度
- ・ 貴学での学びの機会・学びの充実度に対する評価、改善要望
- ・ 貴学のディプロマポリシー、立学の精神の認知度

< 貴学の教育の強み >

- ・ 教育満足度、進路満足度、総合満足度のいずれも、満足度は9割以上と、多くの学生が満足して卒業している。
- ・ 「専門分野の教育」「教養分野の教育」「実践・実務的教育」のいずれも、9割以上の学生が「充実している」と回答し、評価が高い。
- ・ 授業の経験としては、「ディスカッション」「協働作業」や「発表」を行う授業、「将来との関わりを感じる授業」が多かった、という回答が多数を占める。

< さらなる向上が必要だと考えられる要素 >

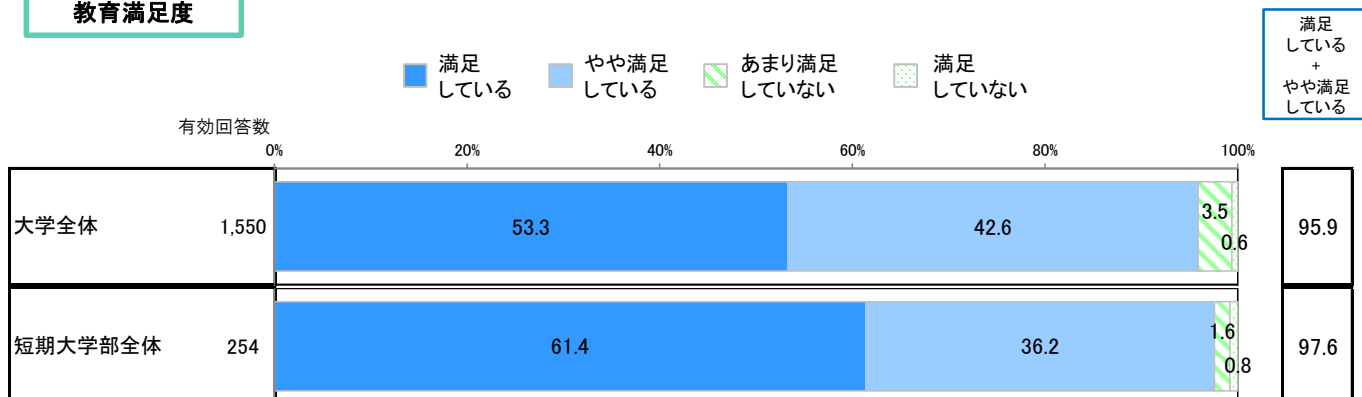
- ・ 「専門分野の教育」と「実践的・実務的教育」の充実度は8割を超えているが、この2項目は教育満足度との相関が高いため、この2項目をより一層充実させることが、教育満足度の向上につながると考えられる。
- ・ 「課外活動や実習」の経験が、他の項目に比べて特に低い。
また「少人数で行う演習形式の授業」の経験も、他の項目に比べると低い。
- ・ ディプロマ・ポリシーの内容を理解している学生は少数に留まる。
- ・ 学生時代の多くをコロナ禍で過ごしており、大学を中心に「交流の機会が減った」「他大学よりもオンライン授業が多かった」「もっとうまく対応できたのではないか」といった、コロナ終息時の対応への不満も挙がっていた。新型コロナウイルス5類移行に伴い、今後も変化に対する対応力は問われていくことが推測される。

調査結果のまとめ【満足度】

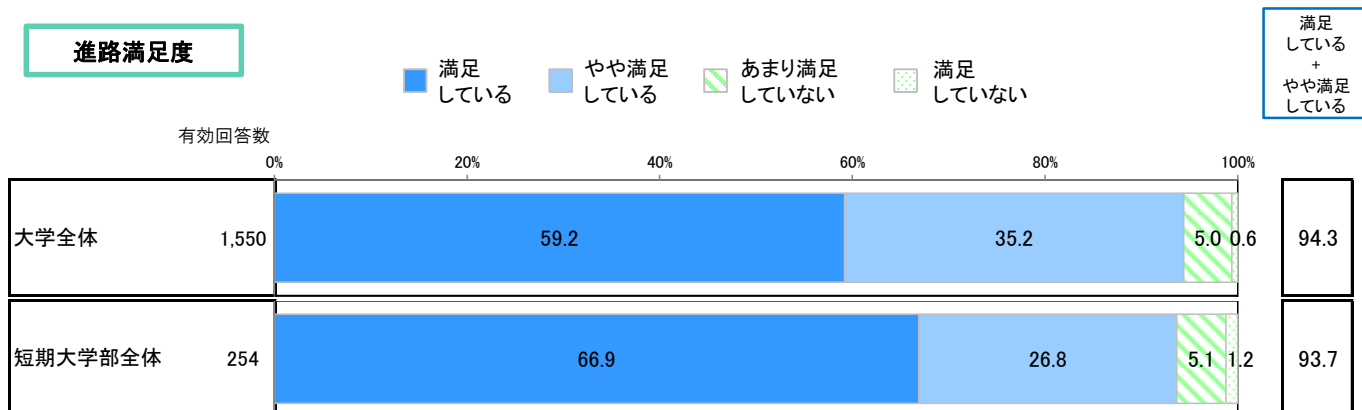
■ すべての満足度で、大学、短期大学部ともに9割を超え高い。
 教育満足度は「満足している」の割合がやや低く、教学面での取り組みは引き続き重要。

- 貴学の教育満足度、進路満足度、総合満足度は、いずれも9割以上と高い。
- 大学、短期大学部ともに教育満足度において「満足している」学生の割合が、他2項目と比べて低い傾向。現状、総合満足度に大きな影響を与えるまでには至っていないが、注視していく必要がある。
- 大学では、短期大学部と比べてすべての満足度で教育満足度の「満足している」と総合満足度の「そう思う」の割合が低い。特に教育満足度の「満足している」は、5割程度にとどまる。

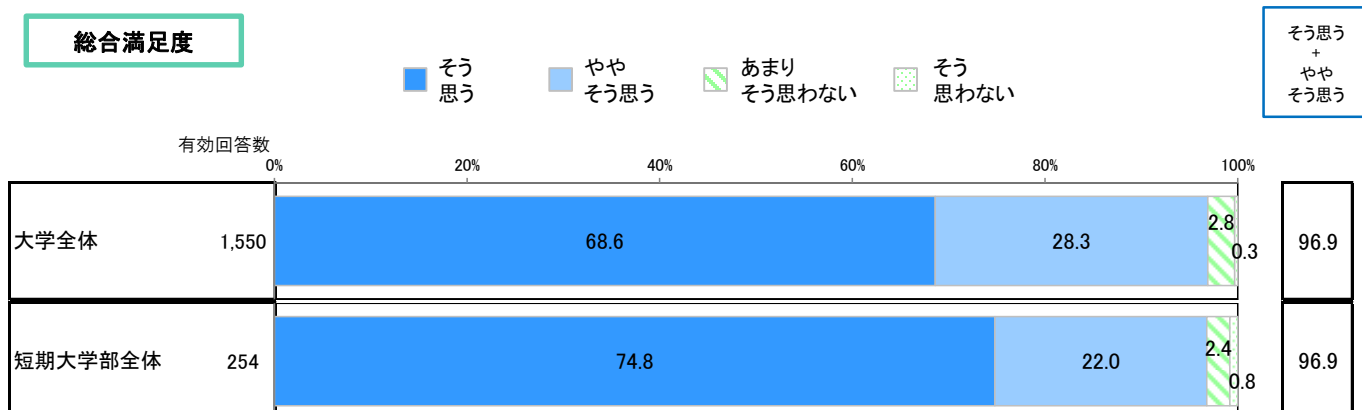
教育満足度



進路満足度



総合満足度



調査結果のまとめ 【学びの充実度】

■ 専門教育と実践・実務的教育に対する評価は高い。これらはとりわけ重要度が高い項目でもあり、今後も注力が必要。短期大学部では「教養分野の教育」も重要度が高い。

- 9割以上の学生が「専門分野」「教養分野」の教育が充実していると回答し、評価が高い。
- その他の項目も7割以上が充実していると回答している。
- 各項目と教育満足度との相関をみると、大学と短期大学部のいずれにおいても「専門分野の教育が充実している」「実践的・実務的教育が充実している」で相関係数が高く、貴学の教育内容の満足度に強く影響していることが想定される。そのため、現状評価が高くはあるが今後も注力が必要な項目である。
- 短期大学部では、上記に加えて「教養分野の教育が充実している」も教育満足度との相関係数が高く、教育満足度への影響がうかがえる。

学びの充実度

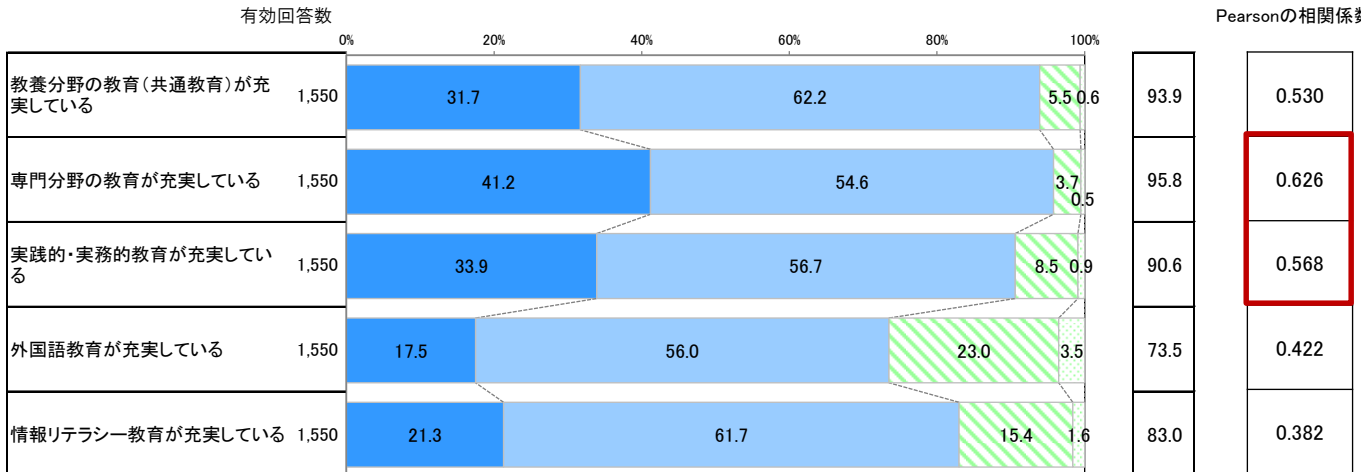
【大学全体】

■ とても当てはまる
 ■ ある程度当てはまる
 ■ あまり当てはまらない
 ■ ほとんど当てはまらない

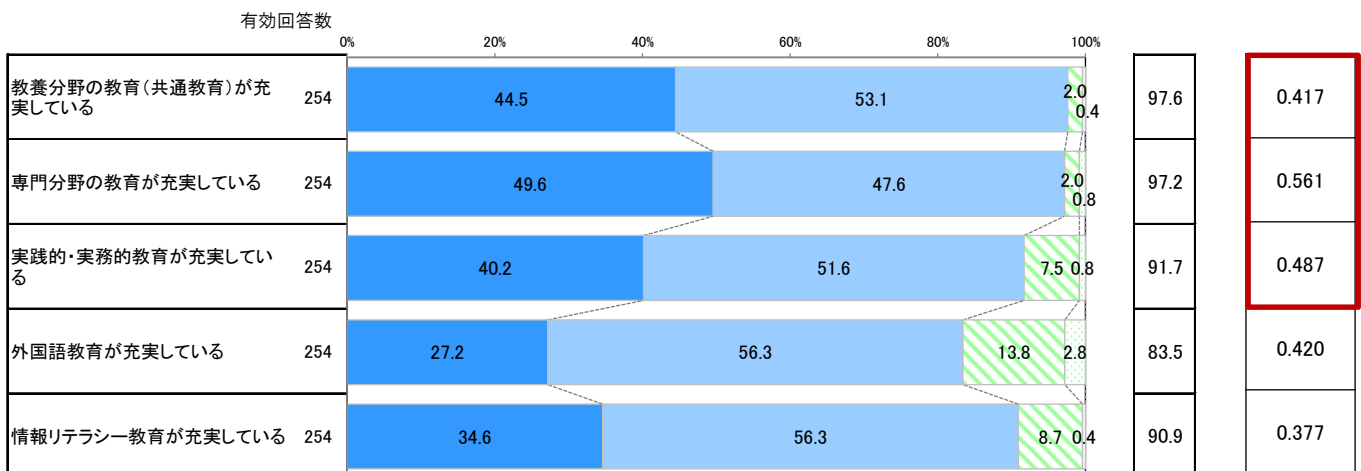
とても当てはまる + ある程度当てはまる

教育内容の満足度との相関

Pearsonの相関係数



【短期大学部全体】

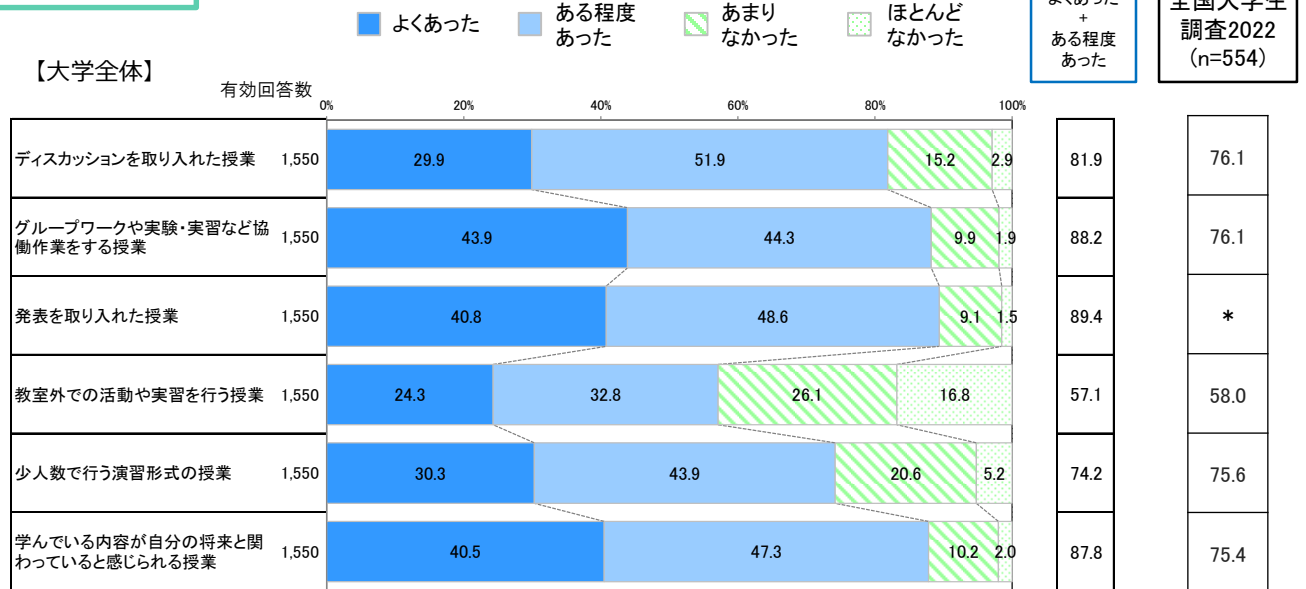


調査結果のまとめ 【授業の経験】

■ 協働作業や発表を行う授業、将来との関わりを感じる授業が充実している点は貴学の強み。

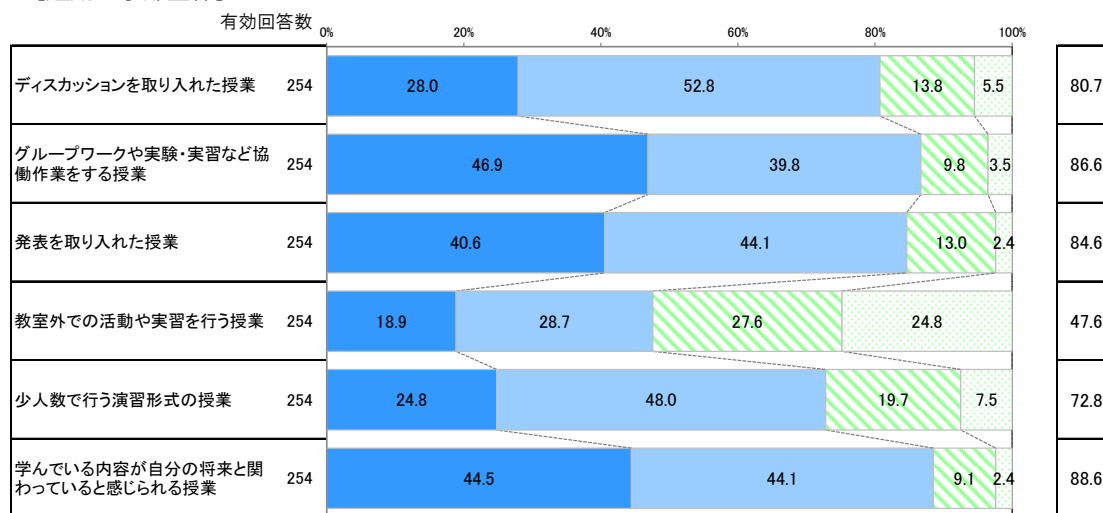
- 大学では、約8割の学生が「ディスカッションを取り入れた授業」「グループワークや実験・実習など協働作業をする授業」「学んでいる内容が自分の将来と関わっていると感じられる授業」「発表を取り入れた授業」があったと回答している。全国大学生調査の結果と比較をしても評価が高く、貴学の強みといえる。
- 短期大学部では、「教室外での活動や実習を行う授業」の経験があったと回答している学生が5割を下回り、他項目と比べて低い。「少人数で行う演習形式の授業」も7割程度と他項目より低い。

授業の経験



* は聴取なし

【短期大学部全体】



<全国大学生調査>

進研アド独自調査 調査方法: インターネット調査 対象者数: 4,124名 実施時期: 2022年6月

女子・4年生 (n=554) の値を掲載 聴取項目は上から
 授業で、グループワーク・ディスカッションなどに参加する
 授業で、グループワーク・ディスカッションなどに参加する
 (聴取なし)
 授業で、フィールドワークなどの体験的な活動や実習を行う
 少人数教育(1クラスが20~30人以下)の授業を受ける
 授業で、学んでいる内容と将来のかかわりについて考える

■ 大学では「新型コロナウイルスの影響」が終息に向かう中での対応力が要望としてあがる。

・「もっとリアルでの授業や交流を充実させてほしかった」といった意見が多数あった。新型コロナウイルスの終息に向かう中、変化に対する対応力が求められているといえる。

大学生からの主な要望

新型コロナウイルスの影響減に対する対応	学部学科
配信の形での授業も残してほしいと感じる。	文学部 日本語日本文学科
教授がリモートに順応出来るようにもう少し対応して欲しかったと思います。	文学部 日本語日本文学科
もっと学校に来たかったです	文学部 心理・社会福祉学科
コロナ禍でも対面での授業をもっとしたかった。もう少しどうにかできることもあったのではないかとと思う。	文学部 心理・社会福祉学科
コロナ禍で対面授業からオンラインに切り替わった際に、あまり知識が身についていると感じなかった。	健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科
コロナであまり対面授業できなかったのが悔やまれます。	生活環境学部 生活環境学科
周りの大学が対面授業になっている中、武庫女だけが唯一オンラインで、とにかく疑問でした	生活環境学部 生活環境学科
コロナ禍に登学できなかったり、通常よりできることが少なかったことが心残りです	生活環境学部 食物栄養学科
専門教育の充実	学部学科
プロダクトデザイン専門の先生を増やして欲しい	生活環境学部 生活環境学科
大環の6コース制が始まった年に入学したため、3コース制だった頃より猛スピードで建築や環境を学んでいる感覚がありました。もう少し分野に深掘りして学ぶ環境があればよかったですと思っています。	生活環境学部 生活環境学科
交流機会、外部との連携	学部学科
リアルタイムで先生や他の学生と交流できる形が増えればよかったですかなと思いました。	文学部 日本語日本文学科
もう少し密な連絡やフォローがあればよかったです。	文学部 日本語日本文学科
コロナ禍ではあるが、もう少し学科での繋がりが欲しかった。	文学部 心理・社会福祉学科
個々で受ける授業が多く、クラスで必然的に喋れたり仲良くなれる授業が欲しかったです。	文学部 心理・社会福祉学科
グループワークを何度かしましたが、いつも同じグループではなく、様々なグループを組めるようだと更に良かったです。	教育学部 教育学科
授業内容が薄いものが多いと感じた。コロナ禍により制限もあったかもしれないが、2年次以降の授業ではあまり学べた気がしなかった。情報メディアに強い人材になれたとあまり思わない。	生活環境学部 情報メディア学科

■ 短期大学部では、満足の声がほとんど。

- 短期大学部では、卒業生が減っていることもあり具体的な意見は多くあがっていない。ただ、その中でも「実践的な教育」中心に教育に対する評価の声がみられた。

短期大学部生からの教育に関する評価点

記述	学科
コロナの影響でアメリカ分校への留学を実現することはできませんでしたが、本当に留学しているかのように現地の先生方とオンラインで話すことができ、良い経験になりました。貴学には親身になって教えて下さる先生方が多く、授業で理解できなかった時に聞きやすかったです。	英語キャリア・コミュニケーション学科
コロナのせいで授業に関して不安もあったけど対面での授業は話し合い、演習、発表もあって良かったです。	幼児教育学科
実習などの実践的な授業がとても身のためになりました。	食生活学科
自分の将来就きたい職業を講義を受ける中で明確にできたり、実践的に学べる授業が多く技術を身に付けることができ、この大学で学べて良かったです。	生活造形学科
実技的な授業も多く身につくことも多かったです。	生活造形学科

短期大学部生からの要望

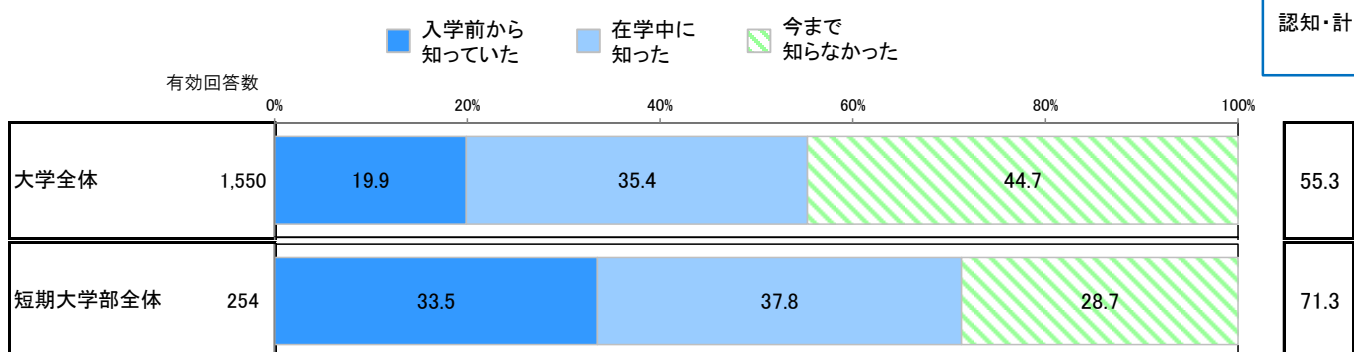
記述	学科
ネイティブの先生が少なかったと思いました。	英語キャリア・コミュニケーション学科
英文学科であるのに、オンライン留学を除いてネイティブの先生の授業を受けることは1年生の前期だけであったことが少し不満でした。	英語キャリア・コミュニケーション学科
留学がオンラインだったのが残念だった。	英語キャリア・コミュニケーション学科
インフォムズでの情報収集が大変でした。	心理・人間関係学科
情報収集が困難であったと感じた。	心理・人間関係学科
短大だと先生との距離が遠く感じたので、大学のゼミのような先生との交流ができる機会が欲しく感じた。	生活造形学科
ご時世のこともあり、先生との距離が少し遠く感じるが多かったのが残念だった。	生活造形学科

調査結果のまとめ【立学の精神認知／ディプロマ・ポリシー理解度】

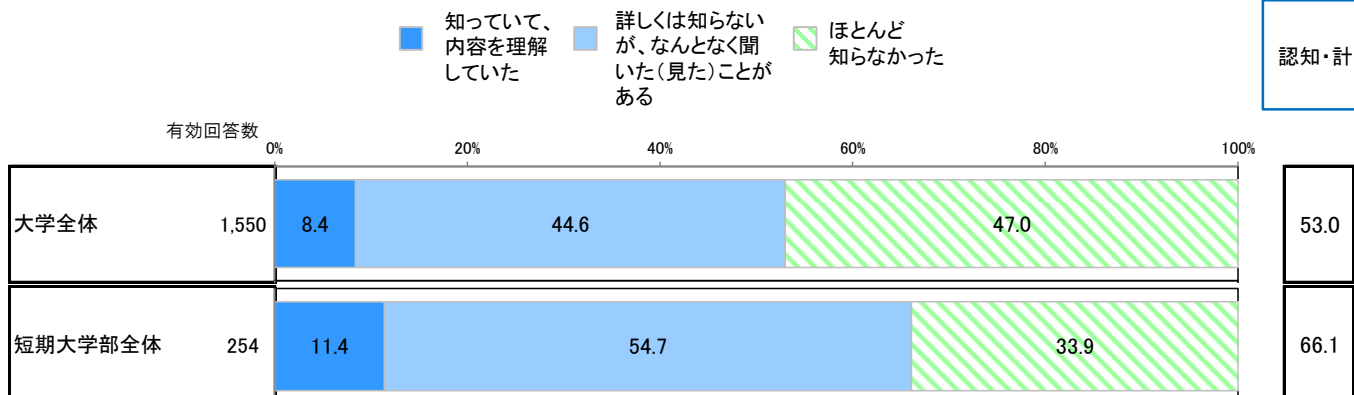
■ 過半数の学生がディプロマ・ポリシーを認知しているものの、理解している学生は1割前後。

- ・ 立学の精神で掲げる女性像やディプロマ・ポリシーは半数を超える学生が認知している。
- ・ ディプロマ・ポリシーの内容理解度をみると理解している学生は少数にとどまる。理解度の向上は、前回調査に引き続き課題といえる。

立学の精神認知



DP理解度



アンケート結果 詳細内容
【回答者のプロフィール】

回答者プロフィール

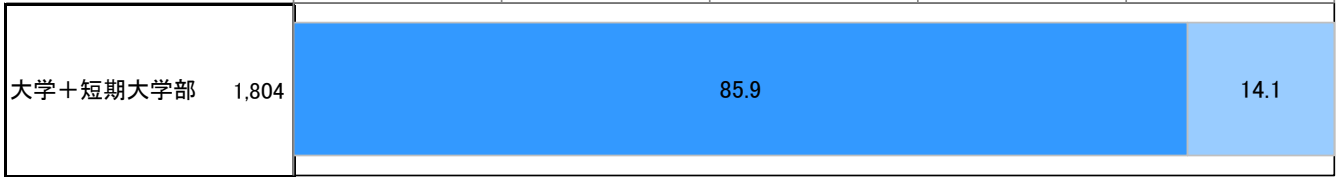
■ 所属

■ 大学

■ 短期大学部

有効回答数

0% 20% 40% 60% 80% 100%

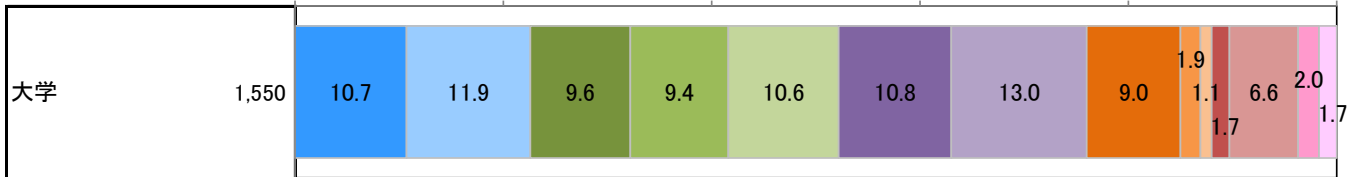


【大学 在籍学部・学科】

- 文学部 日本語日本文学科
- 文学部 英語文化学科
- 文学部 心理・社会福祉学科
- 教育学部 教育学科
- 健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科
- 生活環境学部 生活環境学科
- 生活環境学部 食物栄養学科
- 生活環境学部 情報メディア学科
- 生活環境学部 建築学科
- 音楽学部 演奏学科
- 音楽学部 応用音楽学科
- 薬学部 薬学科
- 看護学部 看護学科
- 薬学部 健康生命薬科学科

有効回答数

0% 20% 40% 60% 80% 100%

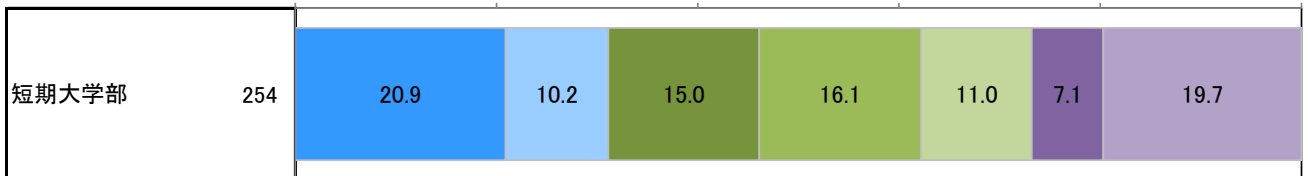


【短期大学部 在籍学科】

- 日本語文化学科
- 英語キャリア・コミュニケーション学科
- 幼児教育学科
- 心理・人間関係学科
- 健康・スポーツ学科
- 食生活学科
- 生活造形学科

有効回答数

0% 20% 40% 60% 80% 100%

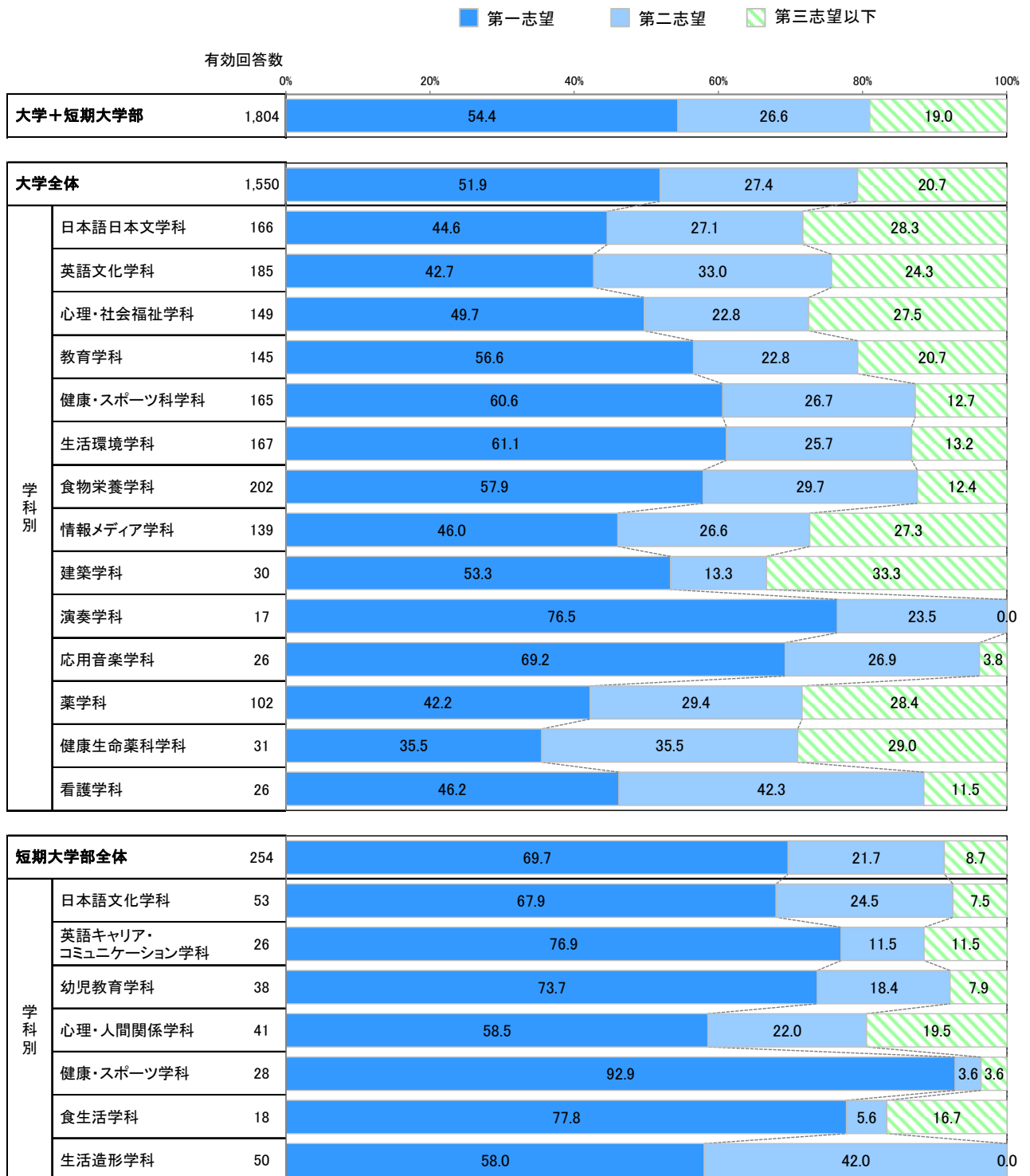


回答者プロフィール【学科別】

- 大学の「第一志望」の割合は約5割、短期大学部では約7割である。
- 大学の学科別で「第一志望」の割合が特に高いのは、演奏学科、応用音楽学科で、約7割～7割台である。対して、英語文化学科、薬学科、健康生命薬科学科は、「第一志望」が3割台～約4割と低い。
- 短期大学部の学科別で「第一志望」の割合が最も高いのは、健康・スポーツ学科で、約9割である。対して、心理・人間関係学科、生活造形学科は「第一志望」が6割に満たず低い。

Q1 本学はどの程度の志望順位でしたか。

■ 志望度

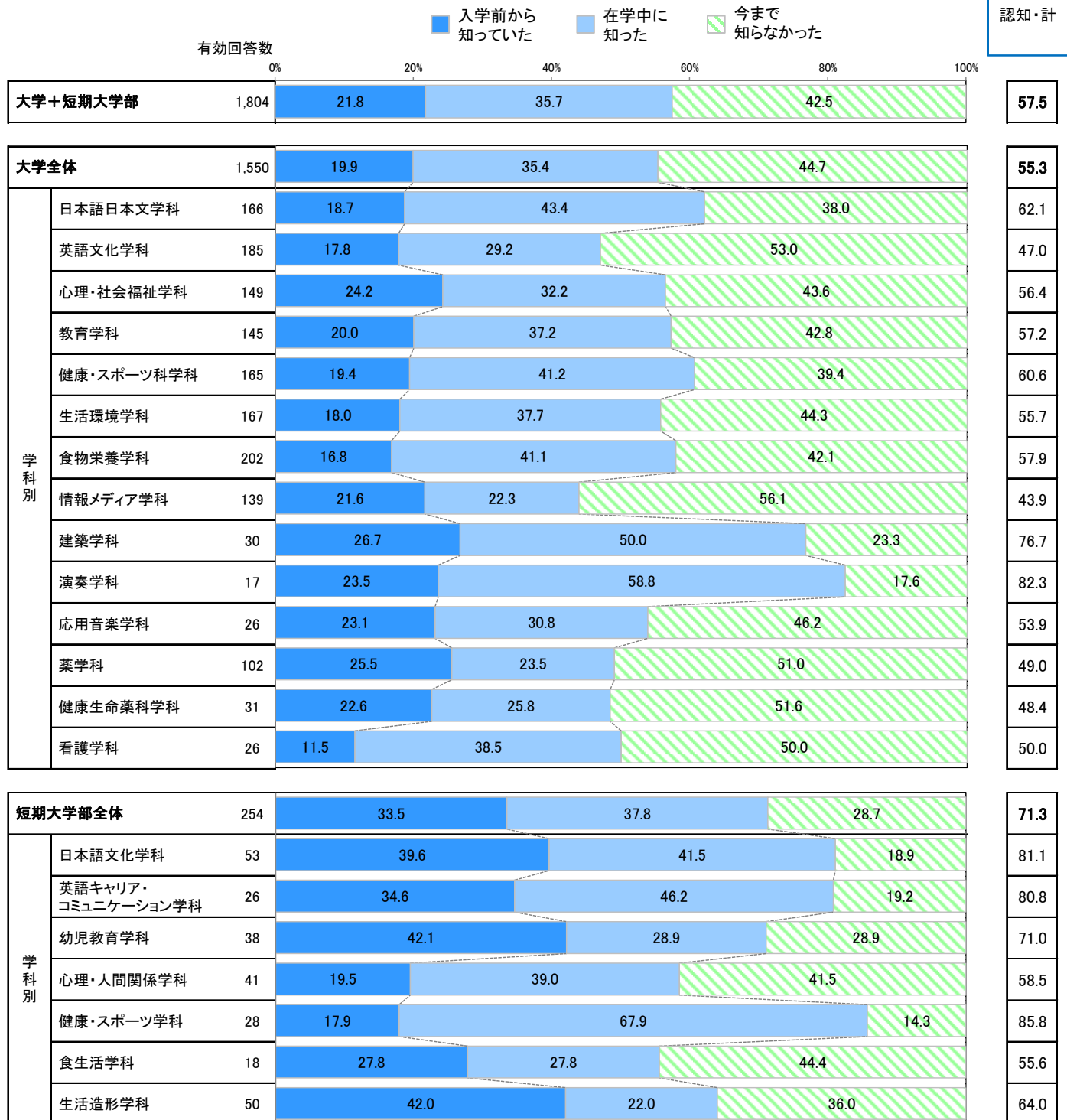


アンケート結果 詳細内容
【立学の精神、ディプロマ・ポリシーの浸透度】

「立学の精神」の浸透度【学科別】

- 「立学の精神」を「入学前から知っていた」「在学中に知った」を合わせた卒業時点での認知・計は、大学では5割台にとどまり、短期大学部では約7割の認知率。
- 大学の学科別で認知・計が最も高いのは演奏学科であり、約8割の学生が「立学の精神」を認知している。対して、情報メディア学科は卒業時点での「立学の精神」の認知・計が4割強と低い。
- 短期大学部の学科別で認知・計が最も高いのは健康・スポーツ学科であり、8割台の学生が「立学の精神」を認知している。対して、食生活学科は、認知・計が5割台と低い。

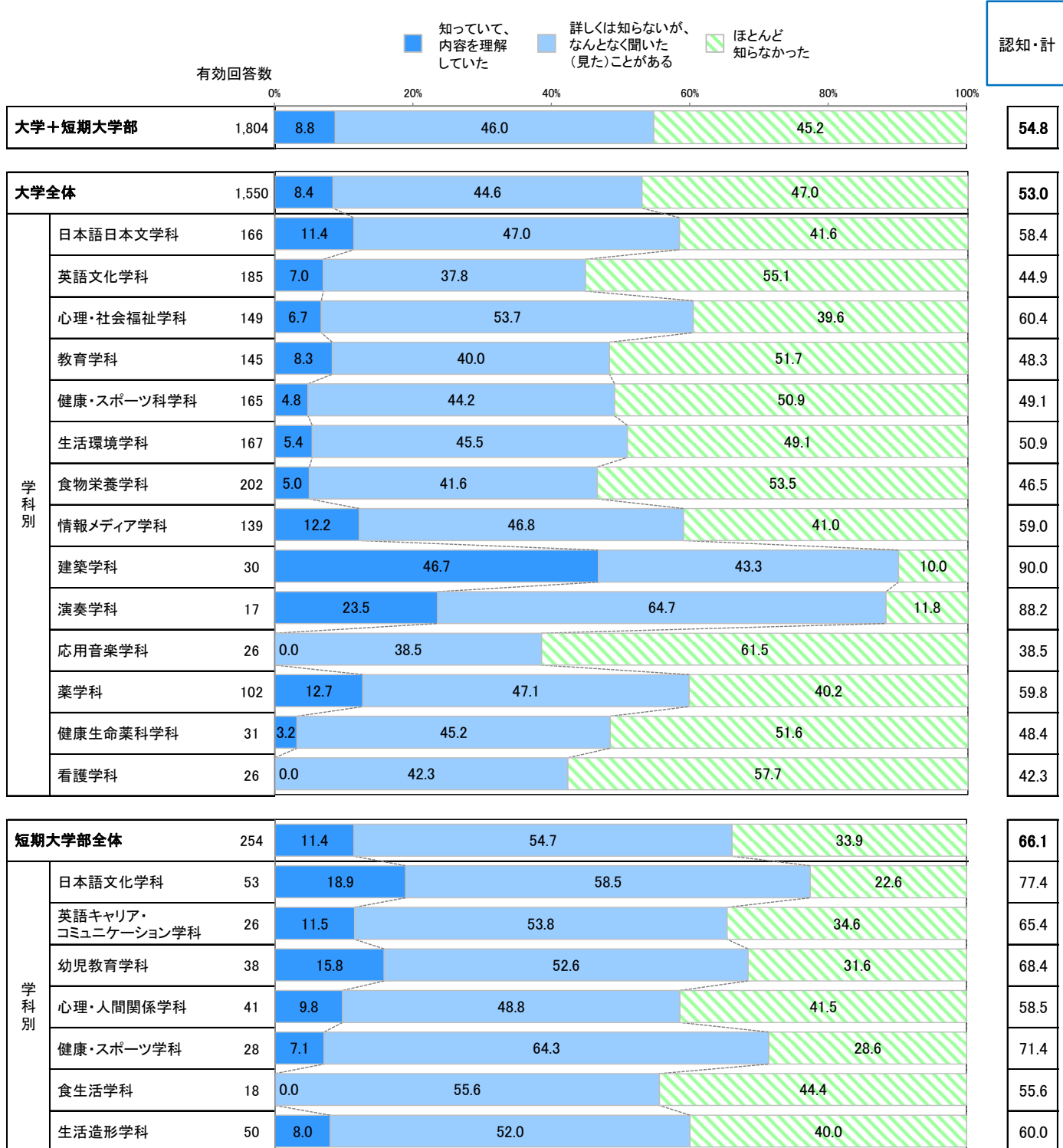
Q2 本学では、立学の精神の中で、「高い知性」、「善美な情操」、「高雅な徳性」を兼ね備えた有為な女性を育成することを掲げています。あなたは、このことを知っていましたか。



ディプロマ・ポリシーの浸透度【学科別】

- 「ディプロマ・ポリシー」を「知っていて、内容を理解していた」「詳しくは知らないが、なんとなく聞いた(見た)ことがある」を合わせた認知・計は、大学では5割強、短期大学部では6割にとどまる。
- 大学の学科別で認知・計が最も高いのは建築学科であり、9割の学生が「ディプロマ・ポリシー」を認知している。対して、応用音楽学科は、認知・計が4割に満たず低くなっている。
- 短期大学部の学科別で認知・計が特に高いのは、日本語文化学科、健康・スポーツ学科で、7割を超える学生が「ディプロマ・ポリシー」を認知している。対して、心理・人間関係学科、食生活学科は、認知・計が6割に満たずやや低い。

Q4 本学では、学科ごとに卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を設定しています。
あなたは、所属学科のディプロマ・ポリシーの内容を知っていましたか。

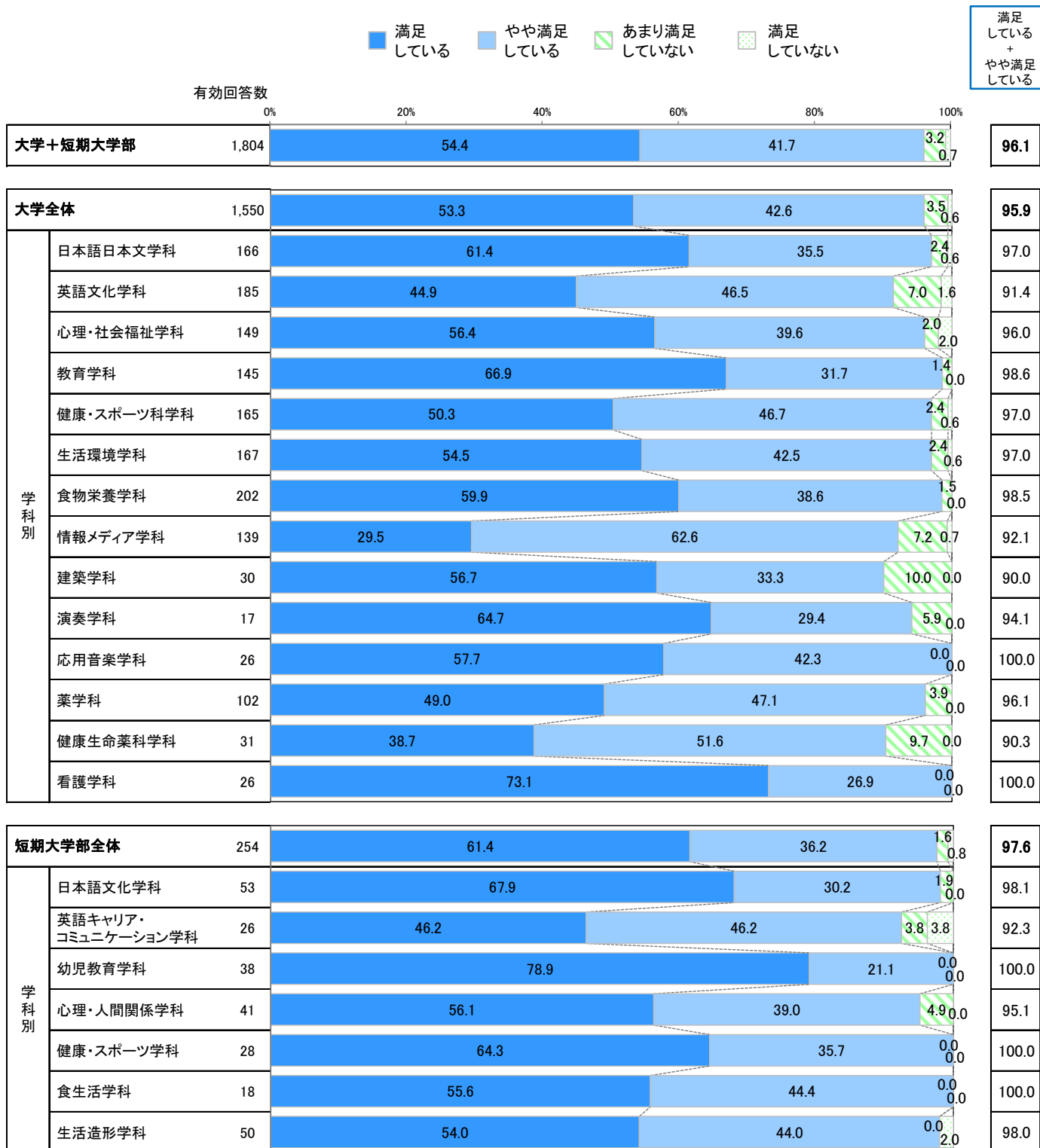


アンケート結果 詳細内容
【満足度】

教育内容の満足度【学科別】

- 教育内容に「満足している」「やや満足している」を合わせた教育満足度は、大学では9割台、短期大学部でもほぼ全数と高い。
- 大学の学科別で教育満足度が特に高いのは、応用音楽学科、看護学科で、ともに100.0%。最も低い建築学科でも、9割が満足している。
- 短期大学部の学科別で教育満足度が特に高いのは、幼児教育学科、健康・スポーツ学科、食生活学科で、いずれも100.0%。最も低い英語キャリア・コミュニケーション学科でも、教育満足度が約9割と高い。

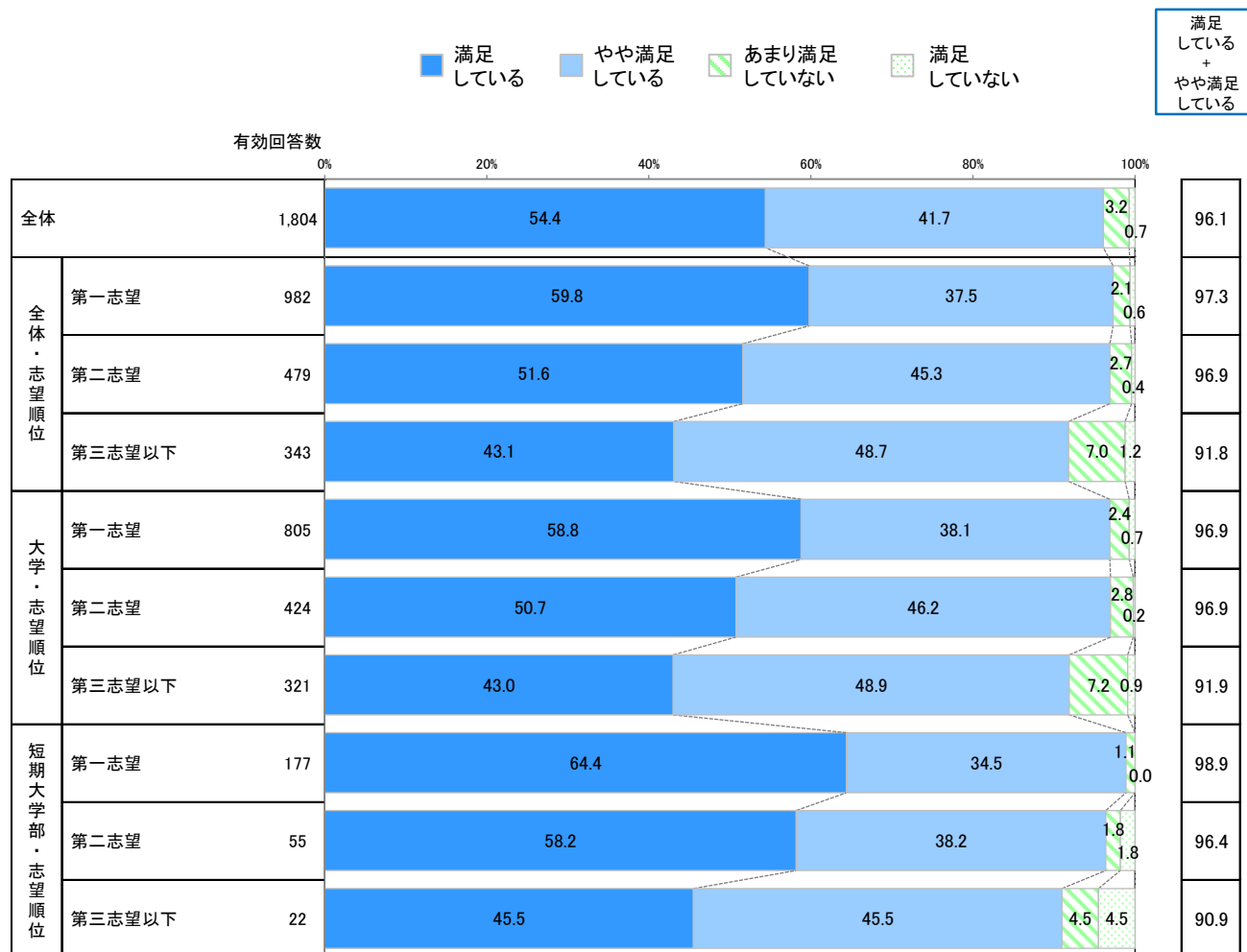
Q7 総合的にみて、あなたは本学の教育内容に満足していますか。



教育内容の満足度【志望度別】

- 大学、短期大学部ともに、第三志望以下でも9割以上の学生が、教育内容に満足している。
- ただし、「満足している」(TOP1)は、志望度が下がるにつれて低くなる傾向がみられる。

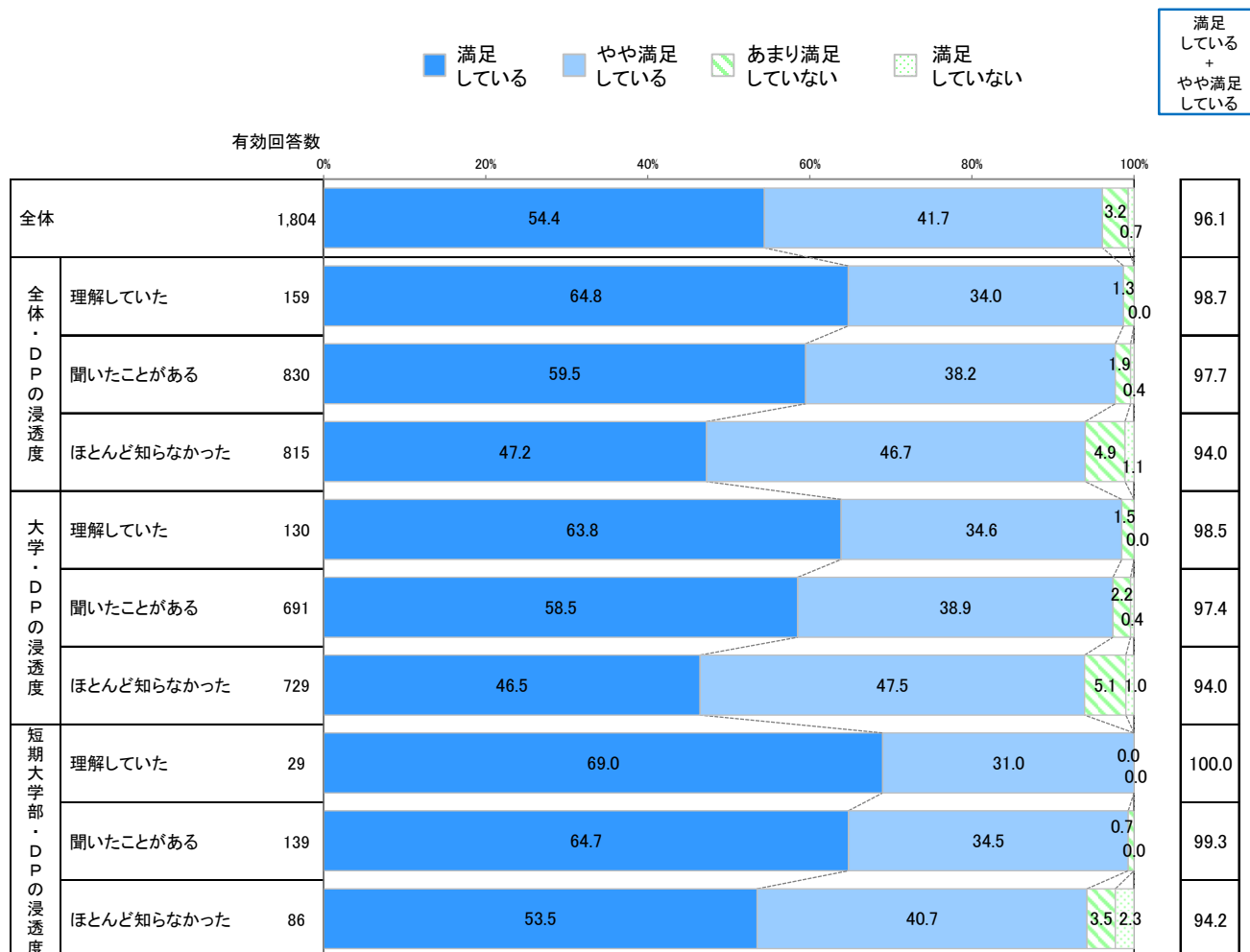
Q7 総合的にみて、あなたは本学の教育内容に満足していますか。



教育内容の満足度【ディプロマ・ポリシーの浸透度別】

- 大学、短期大学部ともに、ディプロマ・ポリシーを理解している人は、6割以上が教育内容に「満足している」(TOP1)と回答している。
- ディプロマ・ポリシーの理解が明確なほど、「満足している」(TOP1)は高くなっている。

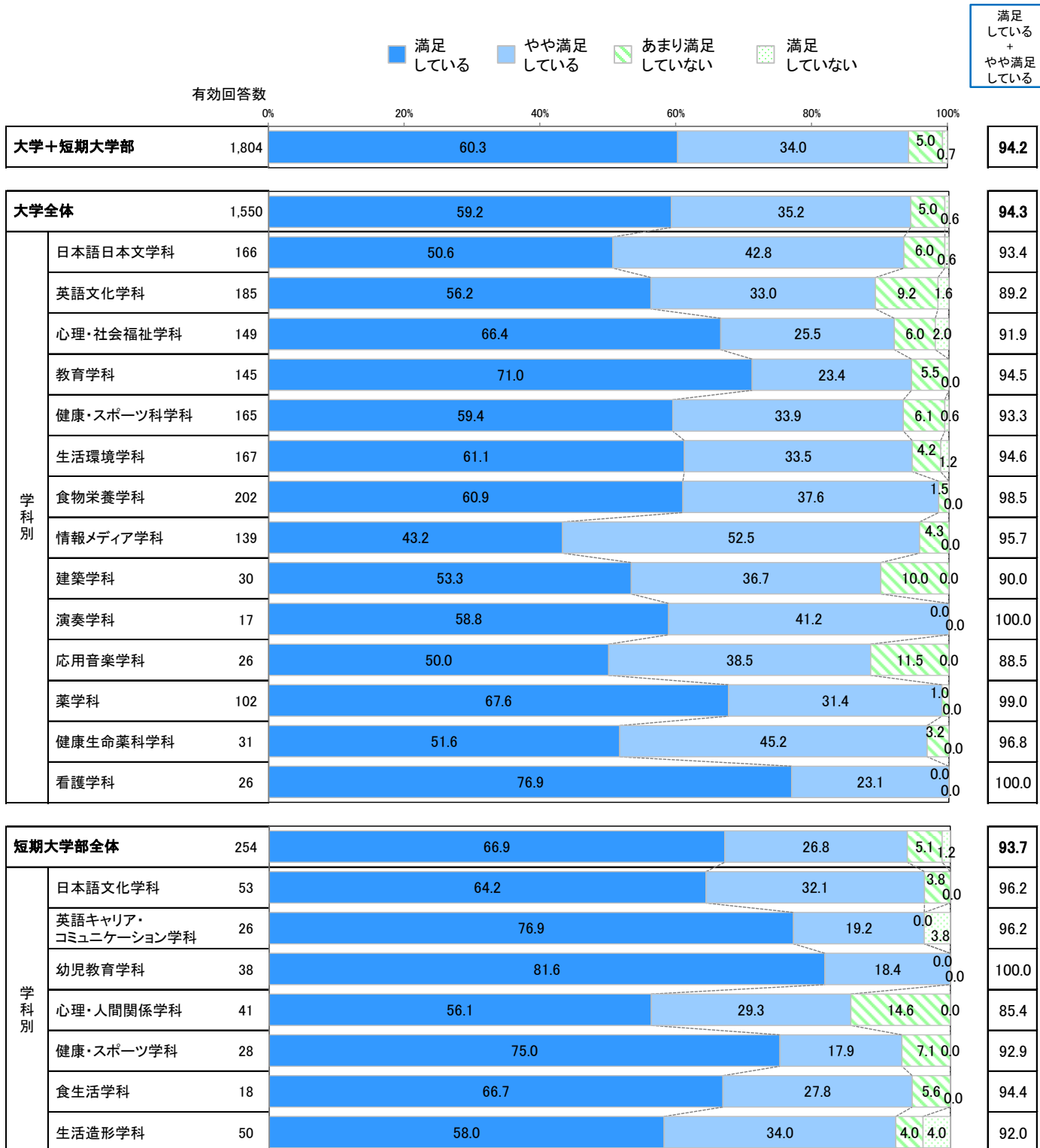
Q7 総合的にみて、あなたは本学の教育内容に満足していますか。



卒業後の進路の満足度【学科別】

- 進路に「満足している」「やや満足している」を合わせた進路満足度は、大学では9割台、短期大学部でも9割強と高い。
- 大学の学科別で進路満足度が特に高いのは、食物栄養学科、演奏学科、薬学科、看護学科で、いずれもほぼ全数～100.0%。対して、英語文化学科、応用音楽学科は、満足度が9割未満でやや低い。
- 短期大学部の学科別で進路満足度が最も高いのは、幼児教育学科の100.0%で、「満足している」(TOP1)の回答に絞っても81.6%と高い。対して、心理・人間関係学科は進路満足度が唯一9割に達しておらず、「満足している」(TOP1)の回答も56.1%にとどまる。

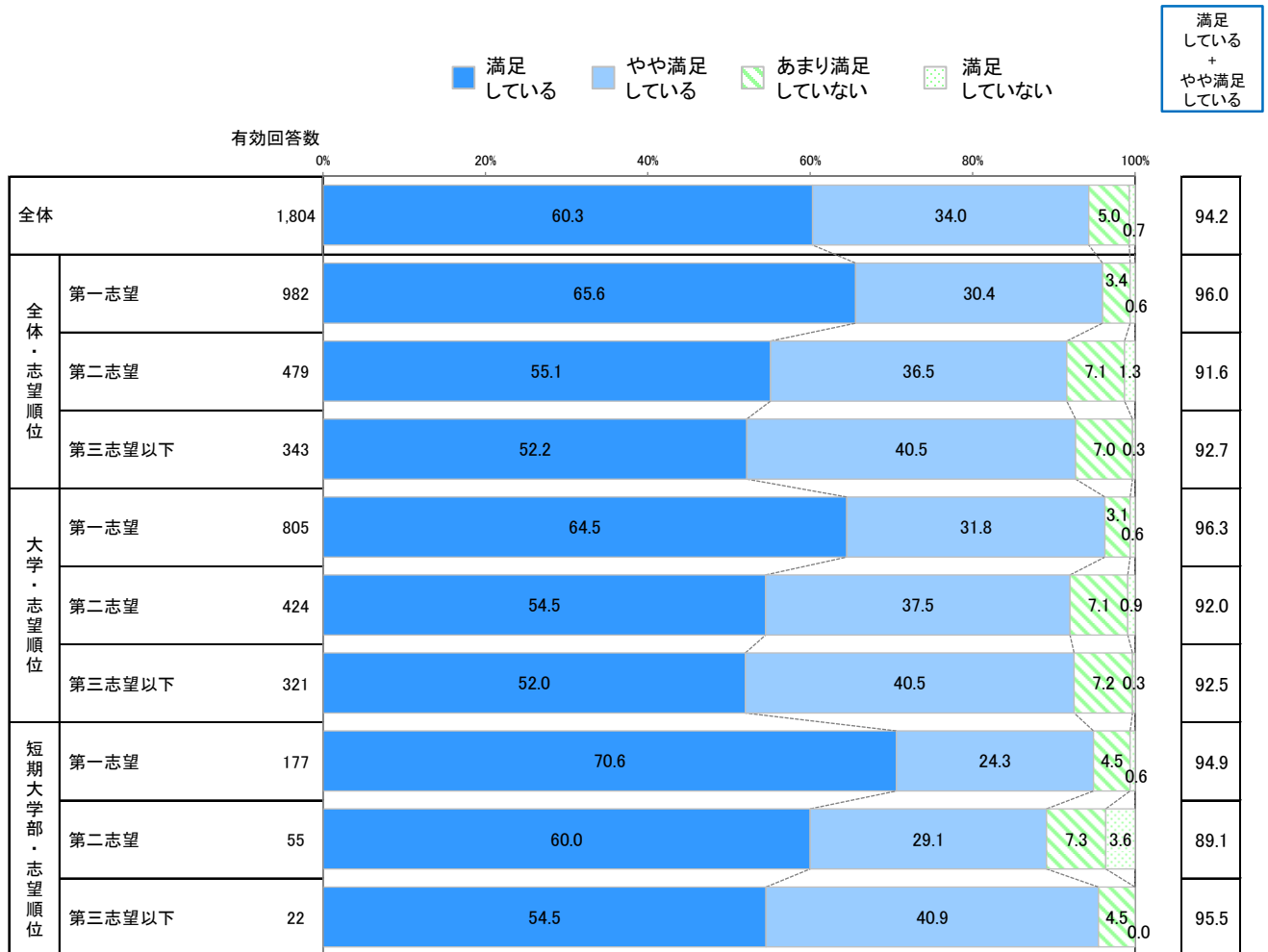
Q8 卒業後の進路について伺います。あなたはご自身の卒業後の進路に満足していますか。



卒業後の進路の満足度【志望度別】

■ 大学、短期大学部ともに、志望順位の高低で、「満足」「やや満足」を合わせた進路の満足度は大きく変わらない。ただし、「満足している」(TOP1)でみると、志望度が上がるにつれて満足度は高くなっている。とくに短期大学部では、「第三志望以下」では「満足している」が54.5%にとどまるのに対し、「第一志望」では70.6%と、顕著な差がみられる。

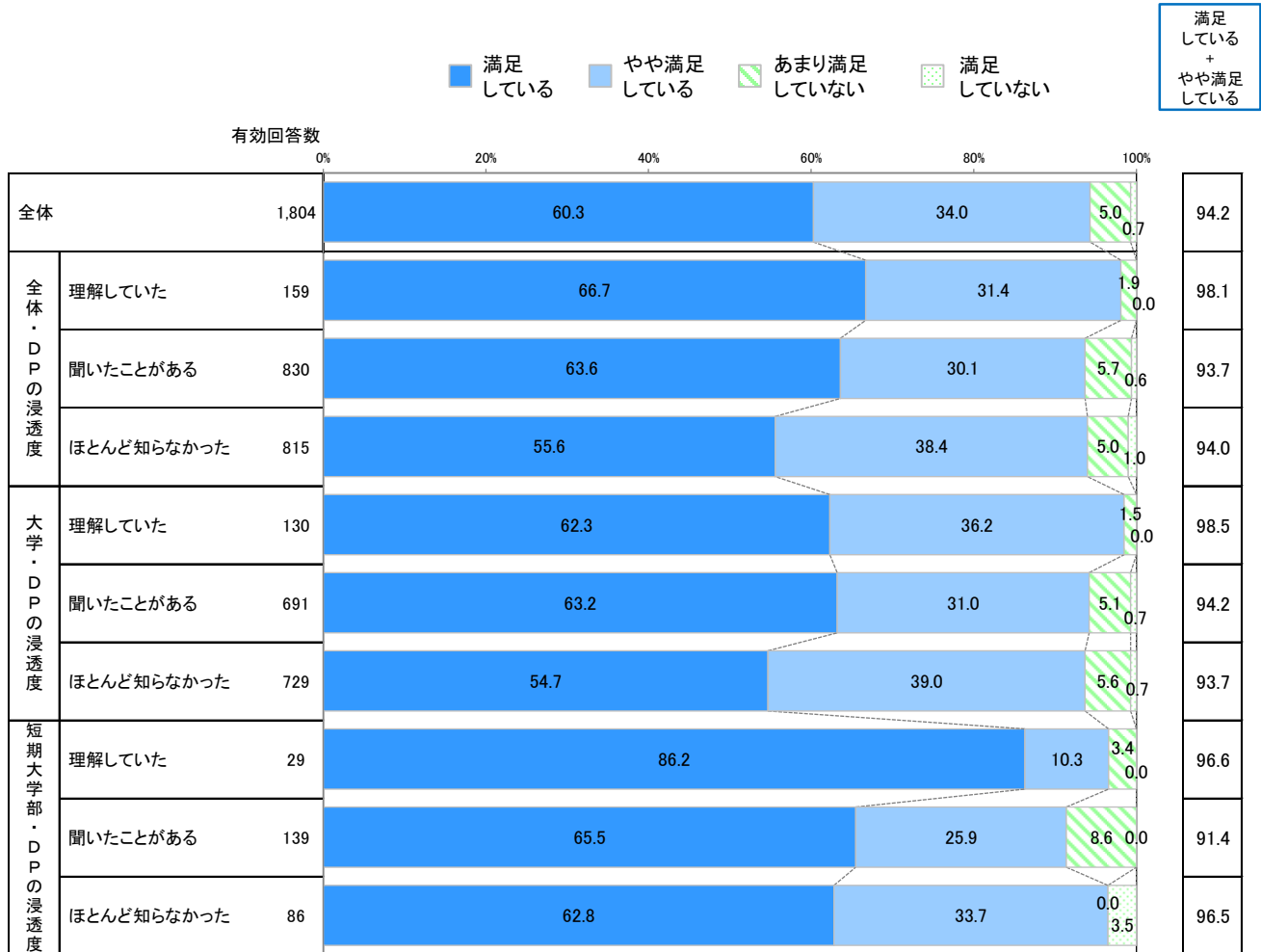
Q8 卒業後の進路について伺います。あなたはご自身の卒業後の進路に満足していますか。



卒業後の進路の満足度【ディプロマ・ポリシーの浸透度別】

■ 大学、短期大学部とも、「満足している」「やや満足している」を合わせた進路満足度では、ディプロマ・ポリシーを理解度による差はほぼみられない。
 しかし、「満足している」(TOP1)でみると、大学、短期大学部とも、ディプロマ・ポリシーへの理解度が高いほど、進路満足度が高くなっている。短期大学部ではその傾向が顕著で、ディプロマ・ポリシーを「理解していた」人は86.2%が進路に「満足」と回答している。

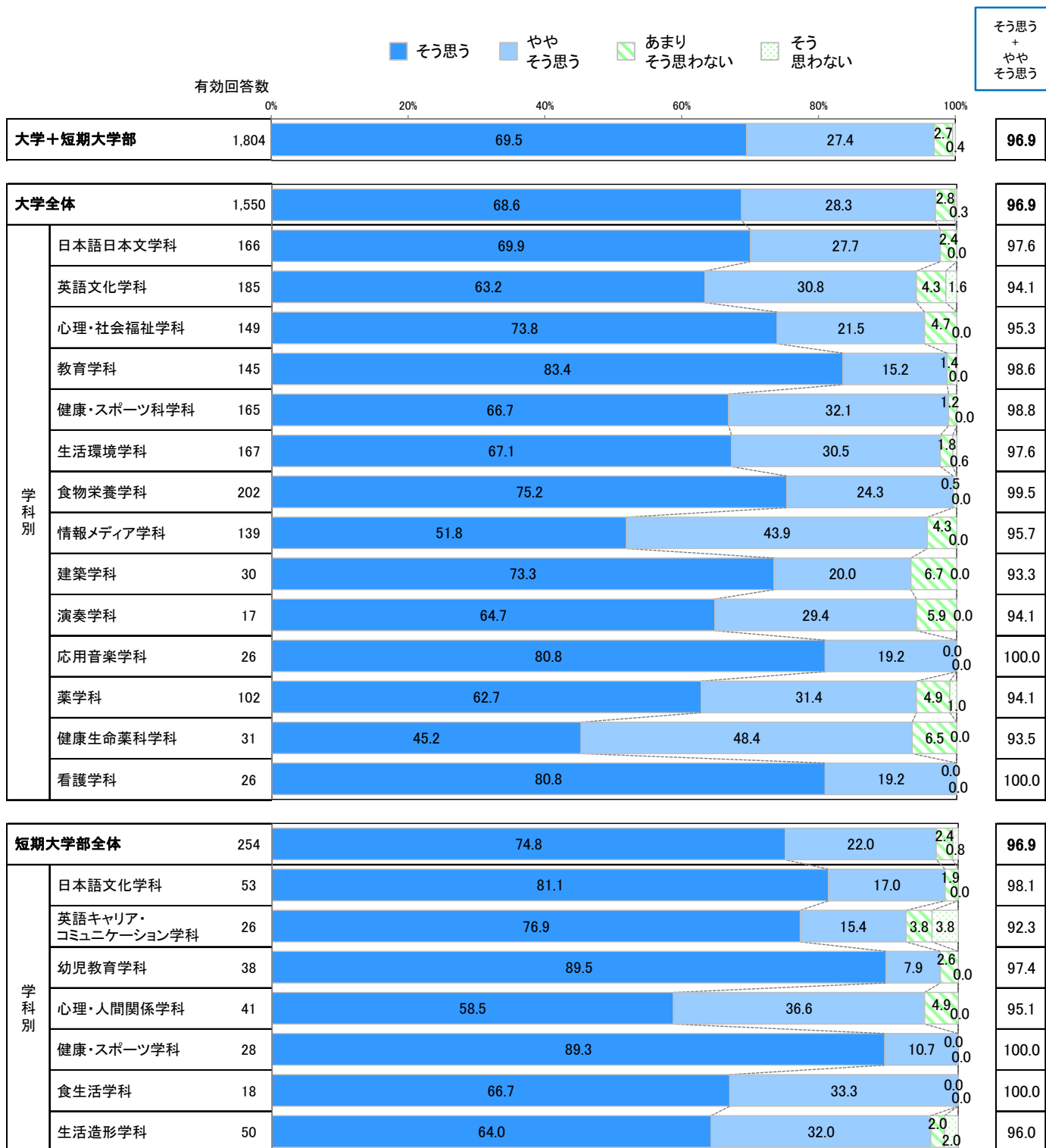
Q8 卒業後の進路について伺います。あなたはご自身の卒業後の進路に満足していますか。



総合満足度【学科別】

- 総合満足度(本学に入学してよかった「そう思う」+「ややそう思う」)は、大学、短期大学部ともに96.9%である。
- 大学の学科別で総合満足度が特に高いのは、応用音楽学科、看護学科で、ともに100.0%に達している。総合満足度の低い建築学科、健康生命薬科学科でも93%が満足している。ただし、健康生命薬科学科の「そう思う」(TOP1)の割合は45.2%にとどまっており、5割を超える他学科と比べて低い。
- 短期大学部の学科別で総合満足度が特に高いのは、健康・スポーツ学科、食生活学科で、ともに100.0%に達している。最も低い英語キャリア・コミュニケーション学科でも、総合満足度は約9割にのぼる。

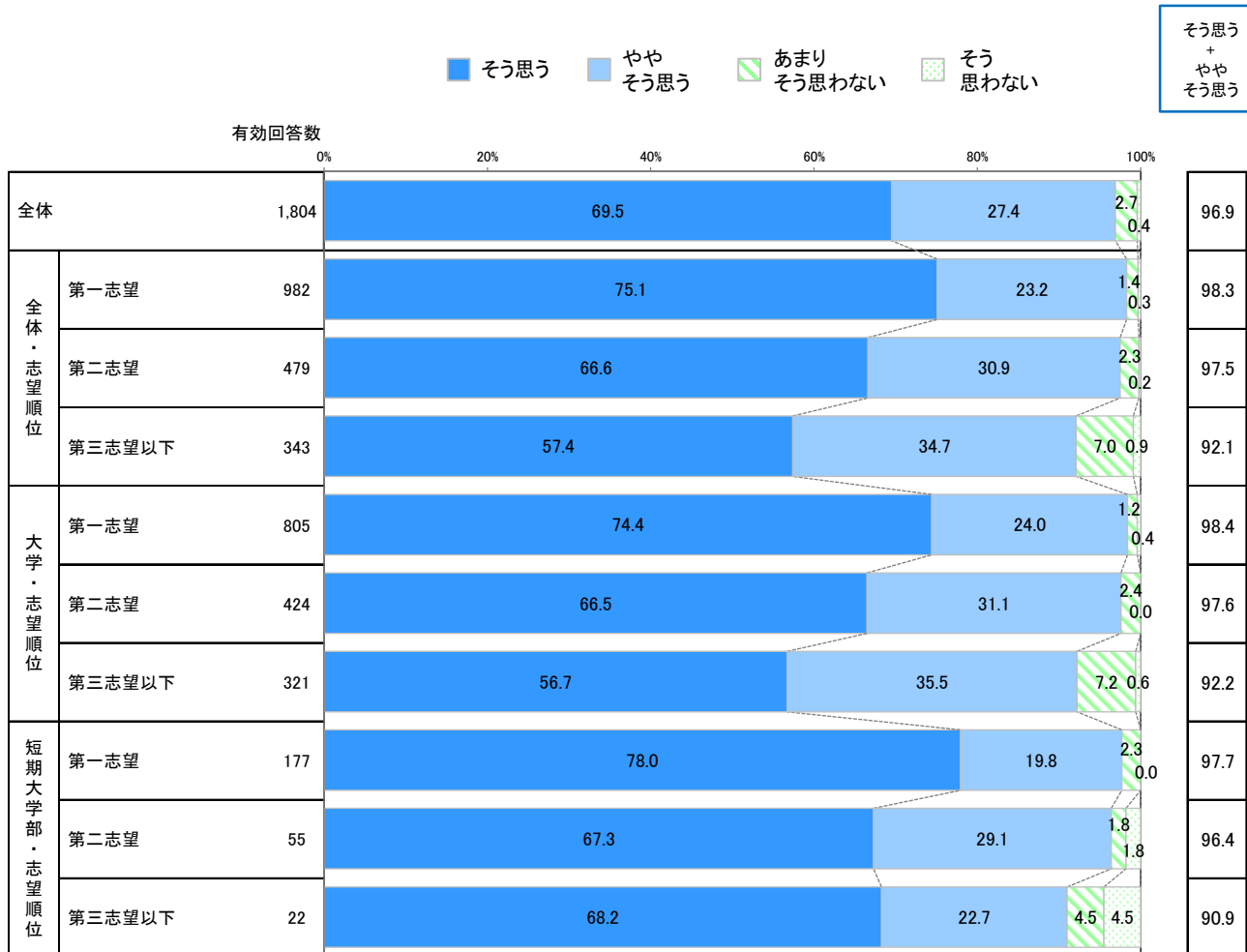
Q9 学生生活を振り返ってみて、本学に入学してよかったと思いますか。



総合満足度【志望度別】

- 大学、短期大学部ともに、志望度の低い層でも、9割を超える学生が学生生活に満足している。
- しかし、「そう思う」(TOP1)の割合は、大学では第一志望と比べて、第三志望以下では18pt程度、短期大学部では10pt程度低くなっている。

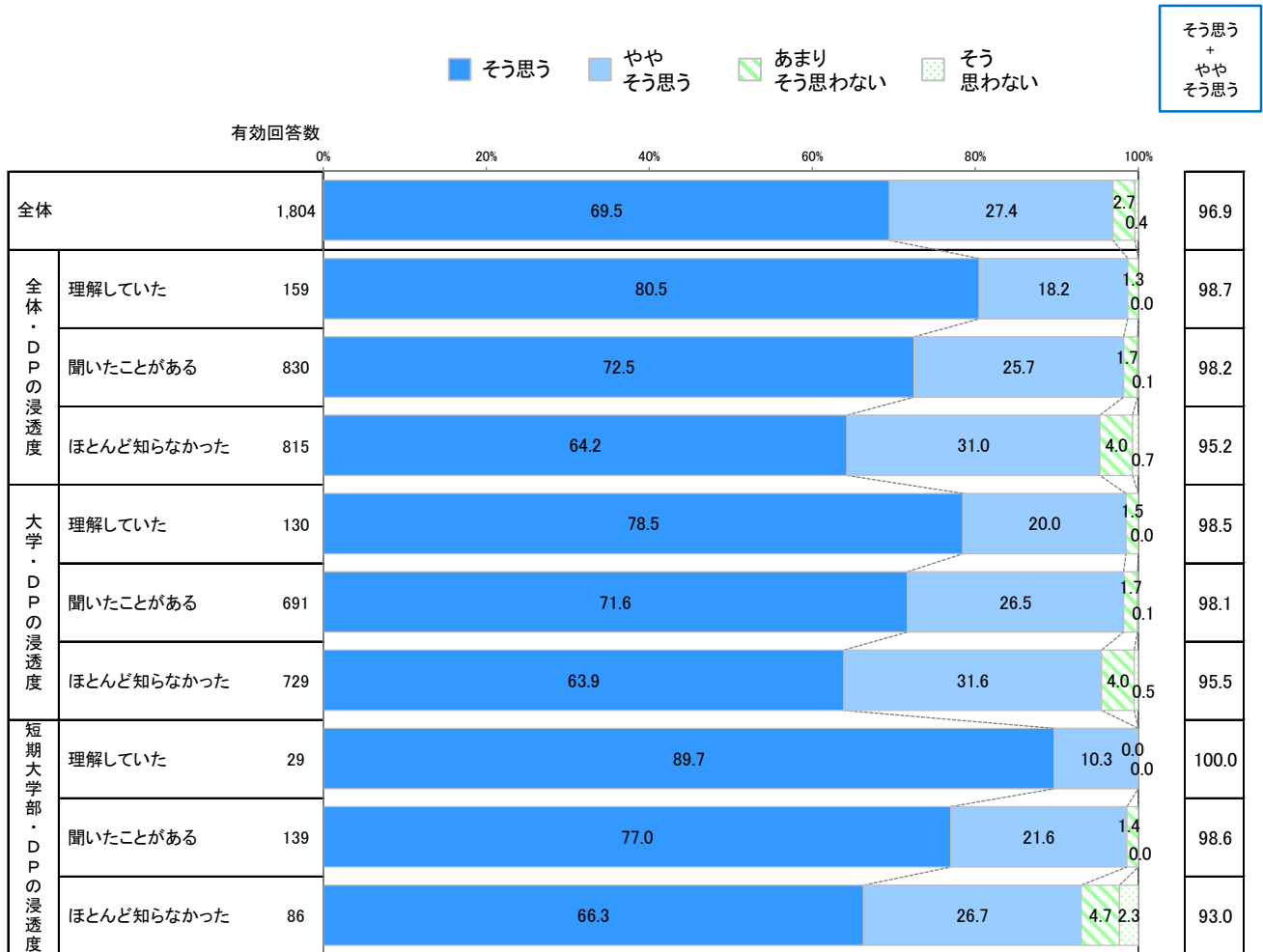
Q9 学生生活を振り返ってみて、本学に入学してよかったと思いますか。



総合満足度【ディプロマ・ポリシーの浸透度別】

- 大学では、ディプロマ・ポリシーを理解している人の「そう思う」「ややそう思う」を合わせた学生生活の満足度はほぼ全数にのぼる。短期大学部では、ディプロマ・ポリシーを理解している人の学生生活満足度は100.0%に達する。
- ただし、「そう思う」(TOP1)は、大学・短期大学部とも理解度が下がるにつれて低くなっている。

Q9 学生生活を振り返ってみて、本学に入学してよかったと思いますか。



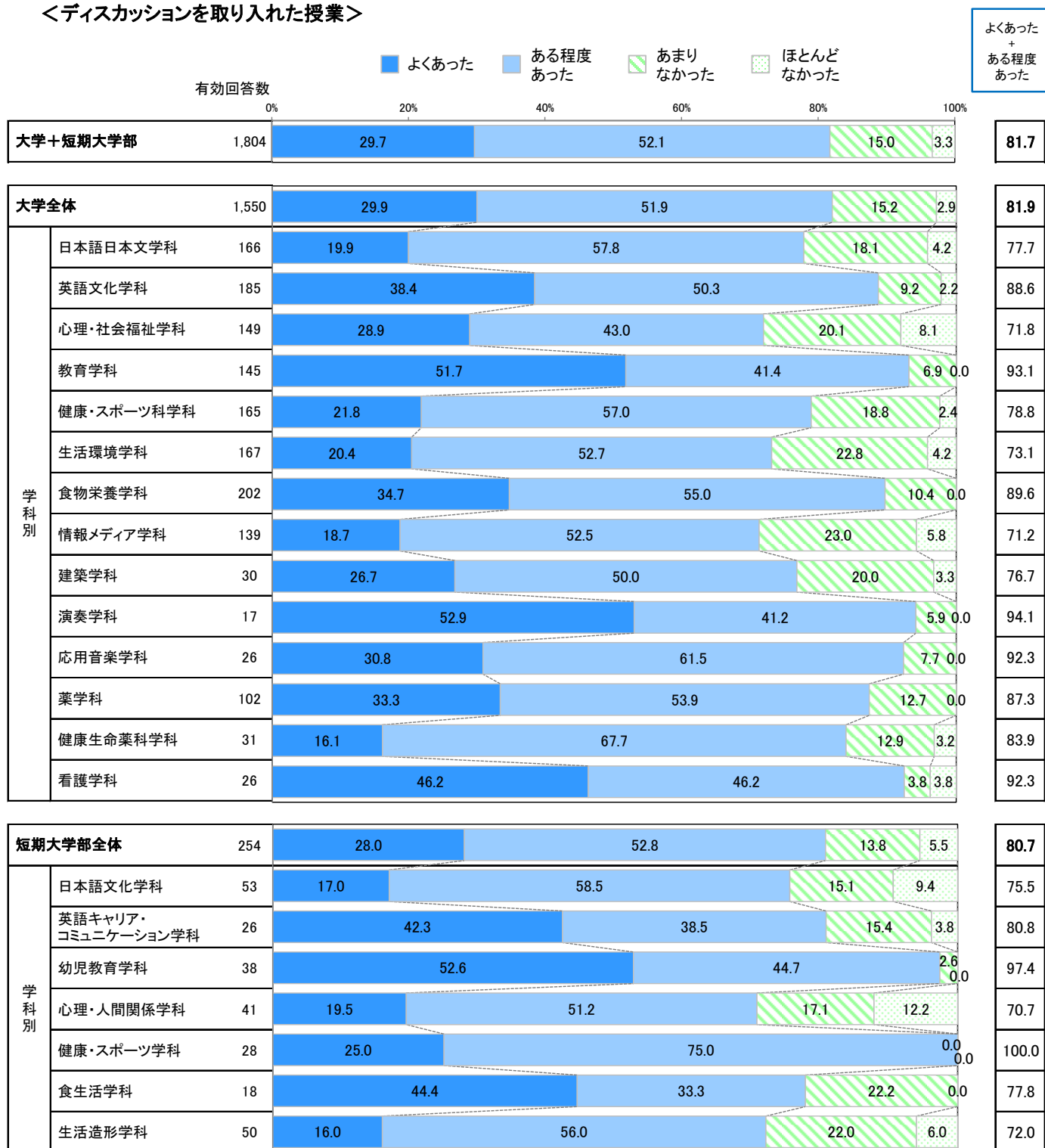
アンケート結果 詳細内容
【修学状況】

学びの機会【学科別】

- ディスカッションを取り入れた授業の経験率(「よくあった」+「ある程度あった」)は、大学、短期大学部ともに約8割である。
- 大学の学科別で経験率が特に高いのは、教育学科、演奏学科で、9割強～9割台である。対して、心理・社会福祉学科、情報メディア学科は、経験率がともに約7割と低い。
- 短期大学部の学科別で経験率が特に高いのは、幼児教育学科、健康・スポーツ学科で、いずれもほぼ全数～100.0%。対して、心理・人間関係学科、生活造形学科は、いずれも経験率が約7割とやや低い。

Q3 あなたが在学中に受講した授業の中で、次のような経験がどの程度ありましたか。

<ディスカッションを取り入れた授業>

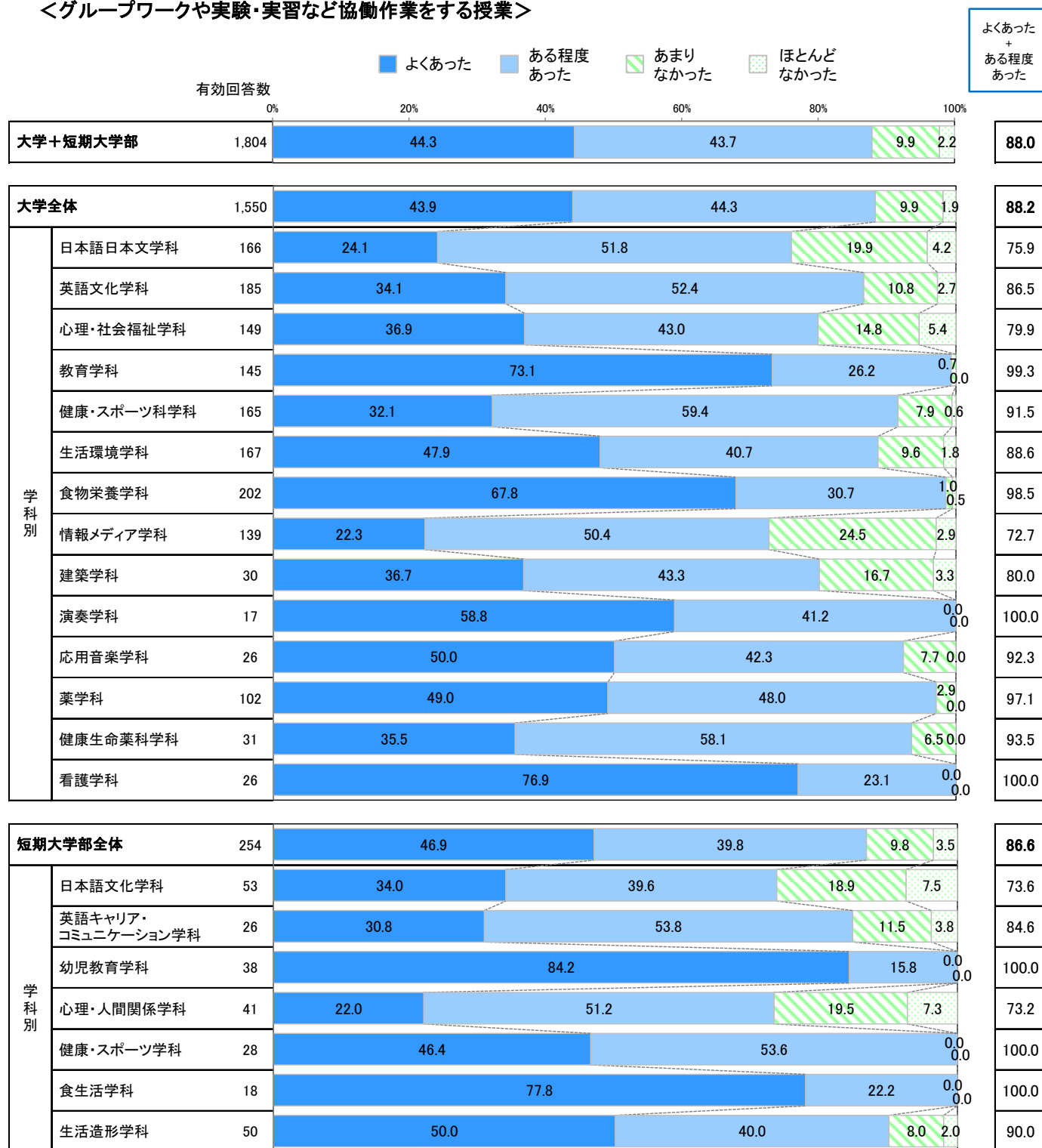


学びの機会【学科別】

- グループワークや実験・実習など協働作業をする授業の経験率(「よくあった」+「ある程度あった」)は、大学で約9割、短期大学部では9割弱である。
- 大学の学科別で経験率が特に高いのは、演奏学科、看護学科で、ともに100.0%である。対して、日本語日本文学科、心理・社会福祉学科、情報メディア学科は、いずれも経験率が8割に満たない。
- 短期大学部の学科別で経験率が特に高いのは、幼児教育学科、健康・スポーツ学科、食生活学科で、いずれも100.0%である。対して、日本語文化学科、心理・人間関係学科は、経験率が7割強と低い。

Q3 あなたが在学中に受講した授業の中で、次のような経験がどの程度ありましたか。

<グループワークや実験・実習など協働作業をする授業>

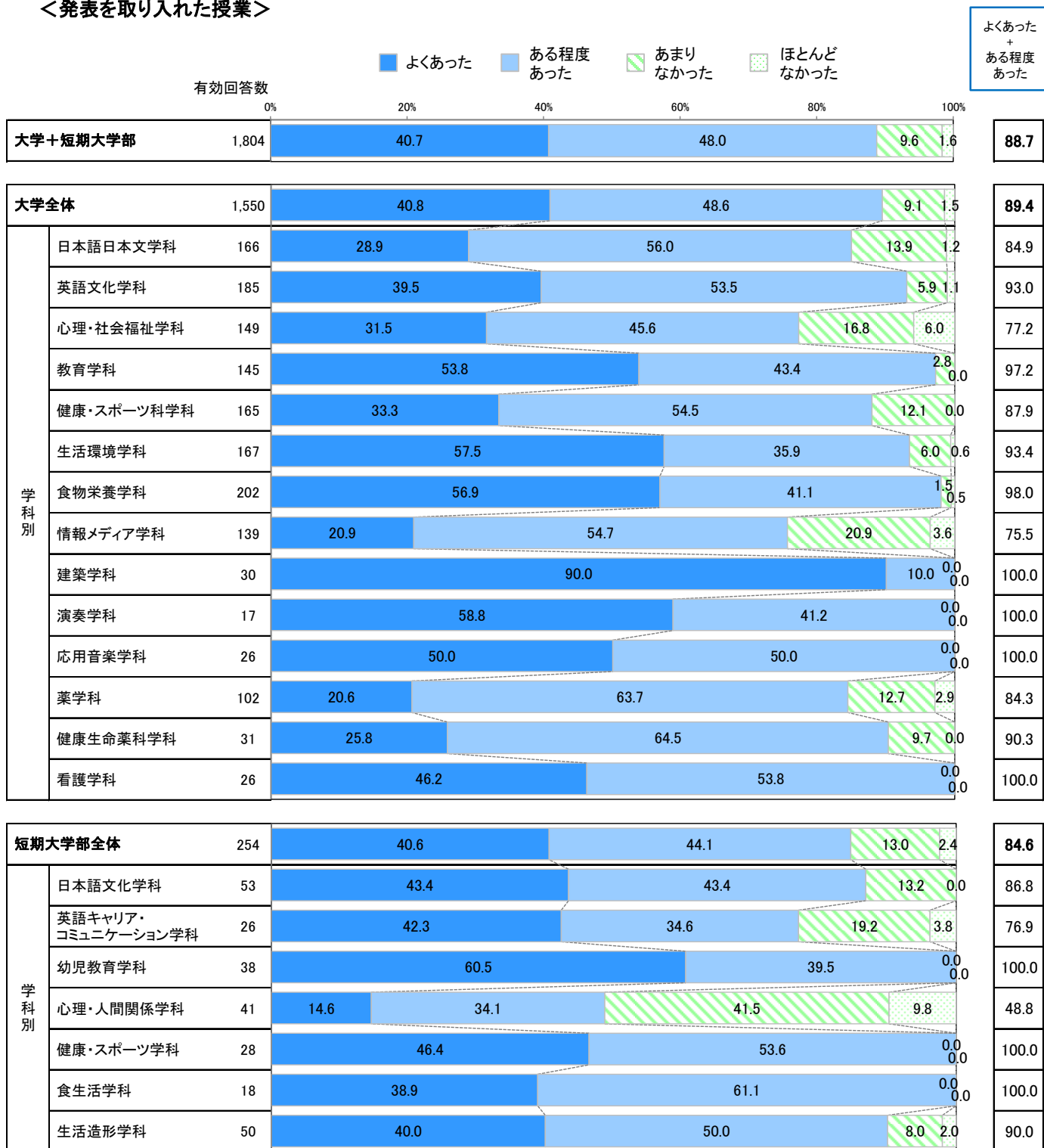


学びの機会【学科別】

- 発表を取り入れた授業の経験率(「よくあった」+「ある程度あった」)は、大学で約9割、短期大学部では8割台である。
- 大学の学科別で経験率が特に高いのは、建築学科、演奏学科、応用音楽学科、看護学科で、いずれも100.0%である。対して、心理・社会福祉学科、情報メディア学科は、ともに経験率が7割台と低い。
- 短期大学部の学科別で経験率が特に高いのは、幼児教育学科、健康・スポーツ学科、食生活学科で、いずれも100.0%である。対して、心理・人間関係学科は経験率が半数未満と低く、「あまりなかった」の割合が4割以上である。

Q3 あなたが在学中に受講した授業の中で、次のような経験がどの程度ありましたか。

<発表を取り入れた授業>

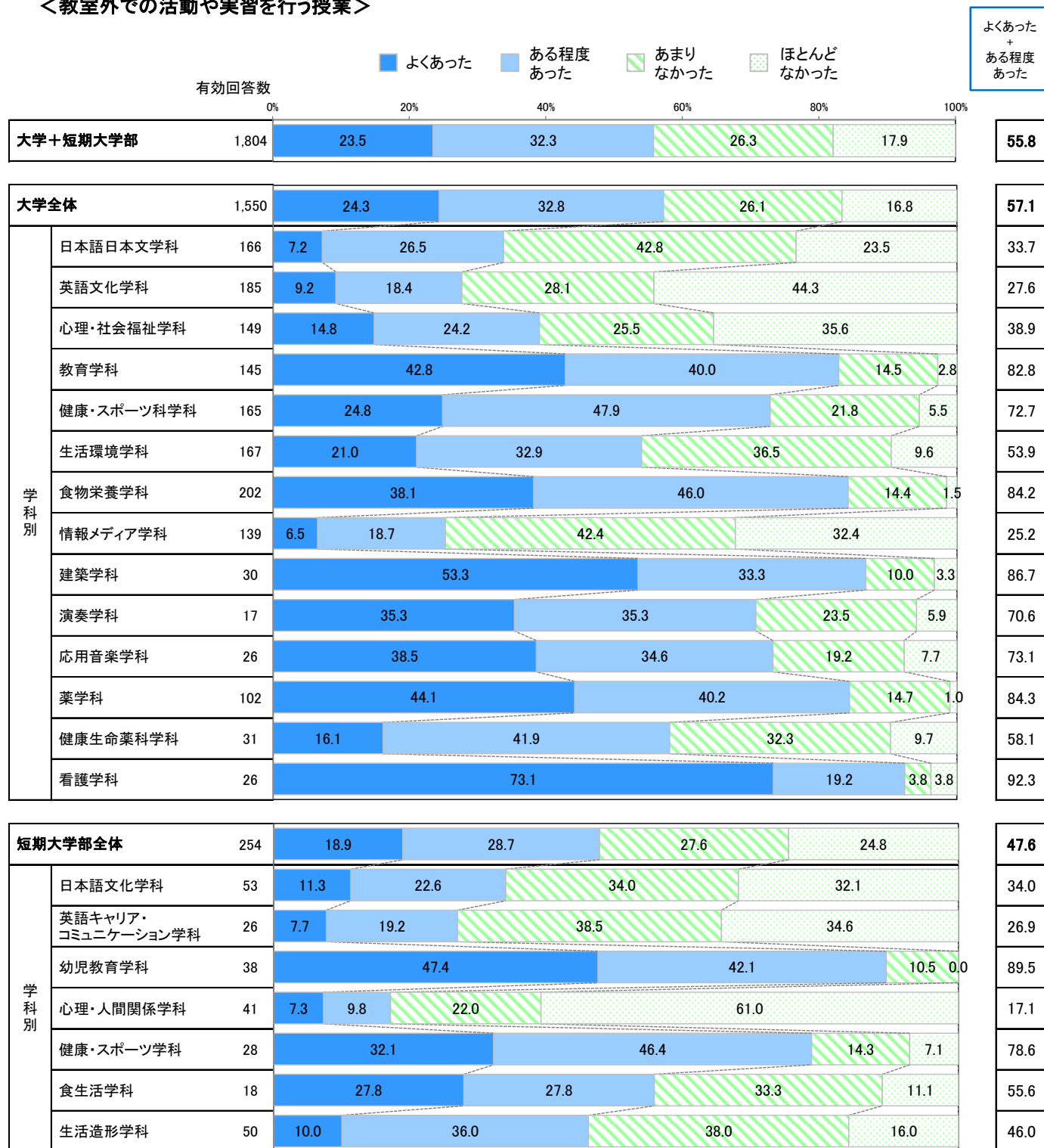


学びの機会【学科別】

- 教室外での活動や実習を行う授業の経験率(「よくあった」+「ある程度あった」)は、大学で約6割、短期大学部では約5割である。
- 大学の学科別で経験率が最も高いのは、看護学科で約9割。対して、日本語日本文学科、英語文化学科、心理・社会福祉学科、情報メディア学科は、いずれも経験率が4割に満たない。
- 短期大学部の学科別で経験率が最も高いのは、幼児教育学科で、約9割と高い。対して、日本語文化学科、英語キャリア・コミュニケーション学科、心理・人間関係学科は、経験率が4割未満と低く、心理・人間関係学科では「ほとんどなかった」の割合が6割以上にのぼる。

Q3 あなたが在学中に受講した授業の中で、次のような経験がどの程度ありましたか。

<教室外での活動や実習を行う授業>

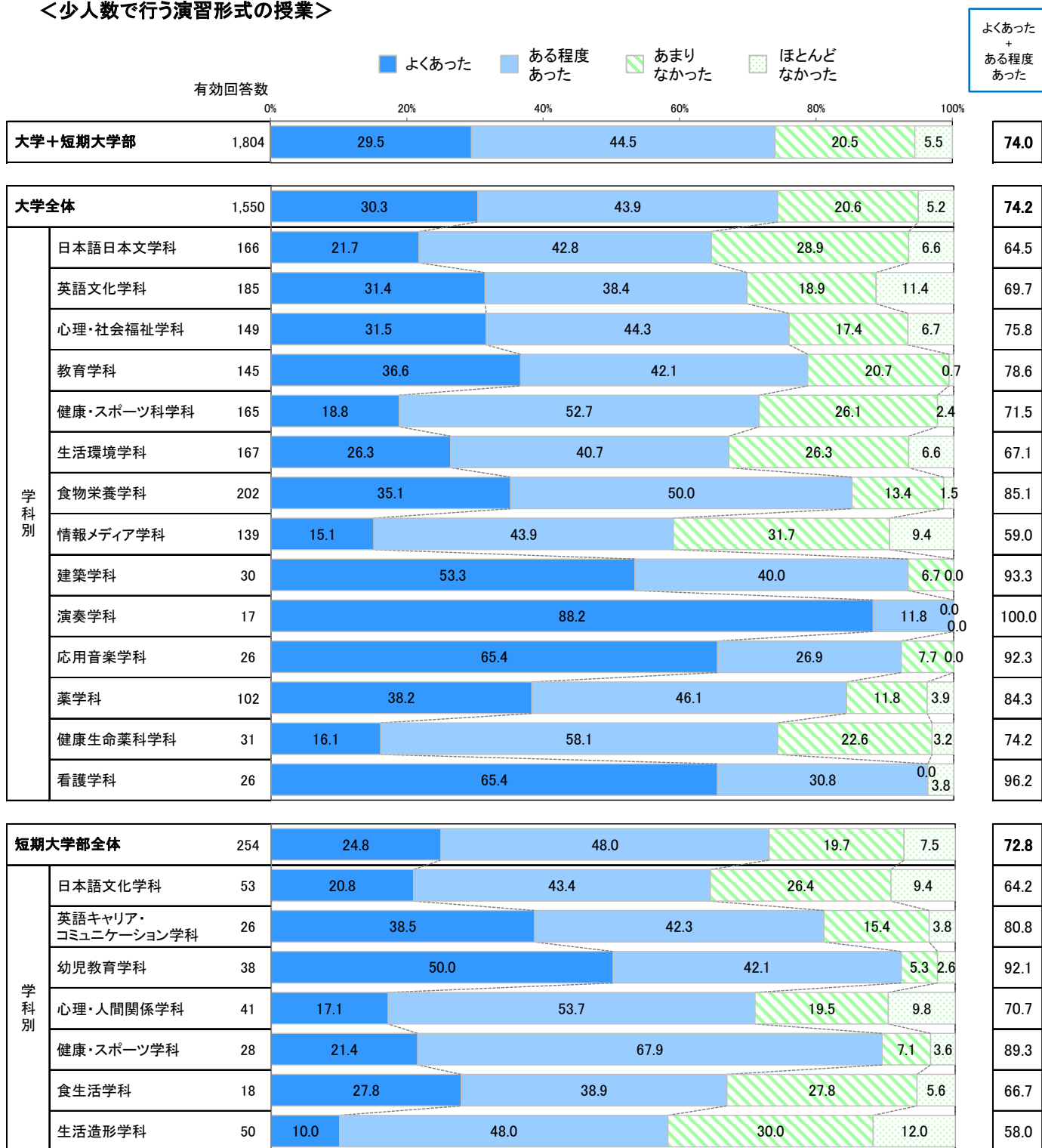


学びの機会【学科別】

- 少人数で行う演習形式の授業の経験率(「よくあった」+「ある程度あった」)は、大学で7割台、短期大学部では約7割である。
- 大学の学科別で経験率が特に高いのは、演奏学科の100.0%、看護学科の96.2%である。対して、情報メディア学科は、経験率が約6割と低い。
- 短期大学部の学科別で経験率が特に高いのは、幼児教育学科、健康・スポーツ学科で、ともに約9割である。対して、生活造形学科は経験率が6割に満たず、「よくあった」(TOP1)と回答した学生の割合も10.0%にとどまる。

Q3 あなたが在学中に受講した授業の中で、次のような経験がどの程度ありましたか。

<少人数で行う演習形式の授業>

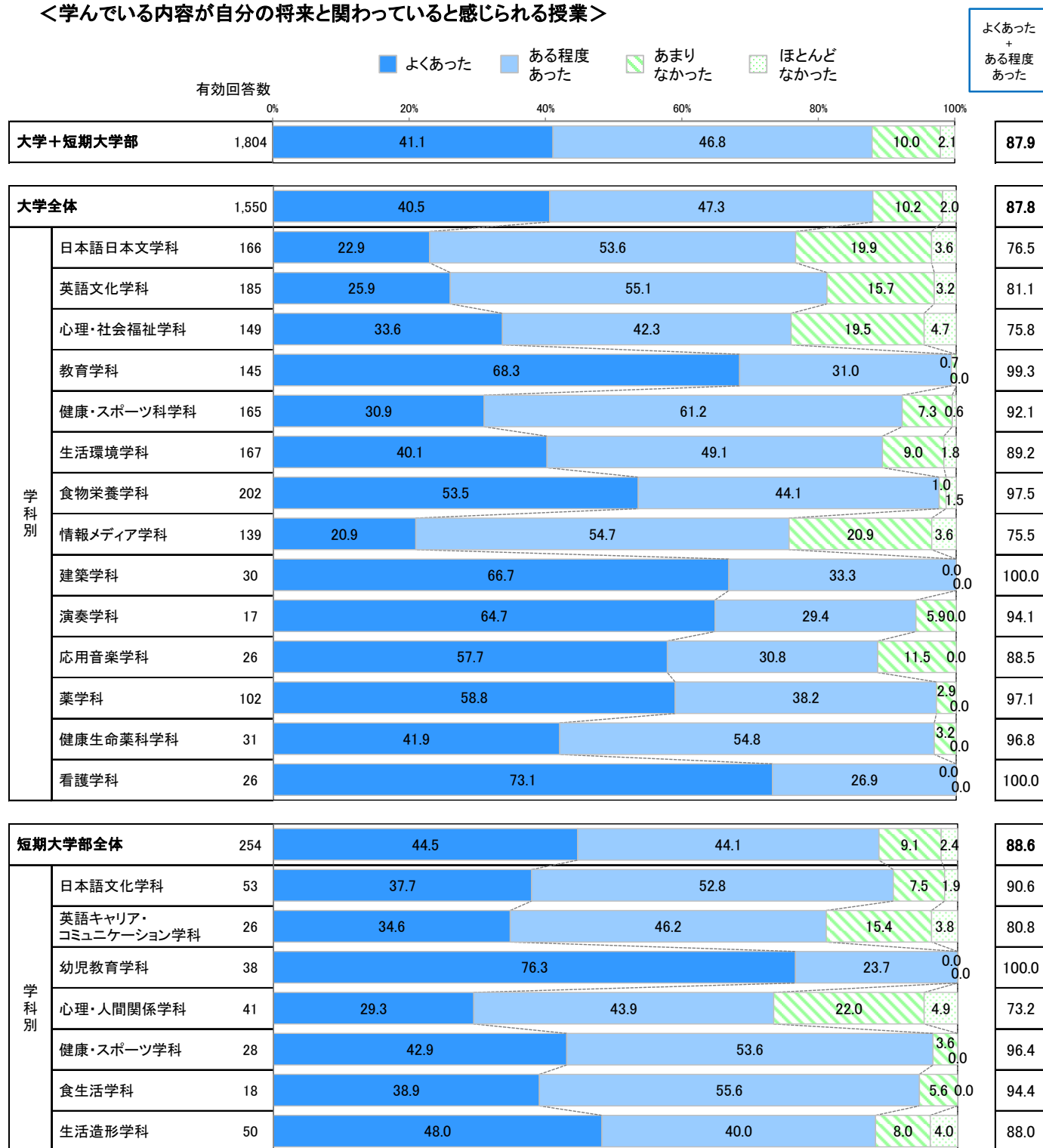


学びの機会【学科別】

- 学んでいる内容が自分の将来と関わっていると感じられる授業の経験率(「よくあった」+「ある程度あった」)は、大学、短期大学部とも約9割である。
- 大学の学科別で経験率が特に高いのは、建築学科、看護学科で、ともに100.0%である。対して、日本語日本文学科、心理・社会福祉学科、情報メディア学科は、いずれも経験率が7割台と低い。
- 短期大学部の学科別で経験率が最も高いのは幼児教育学科で、100.0%である。対して、心理・人間関係学科は、経験率が7割強と低い。

Q3 あなたが在学中に受講した授業の中で、次のような経験がどの程度ありましたか。

<学んでいる内容が自分の将来と関わっていると感じられる授業>

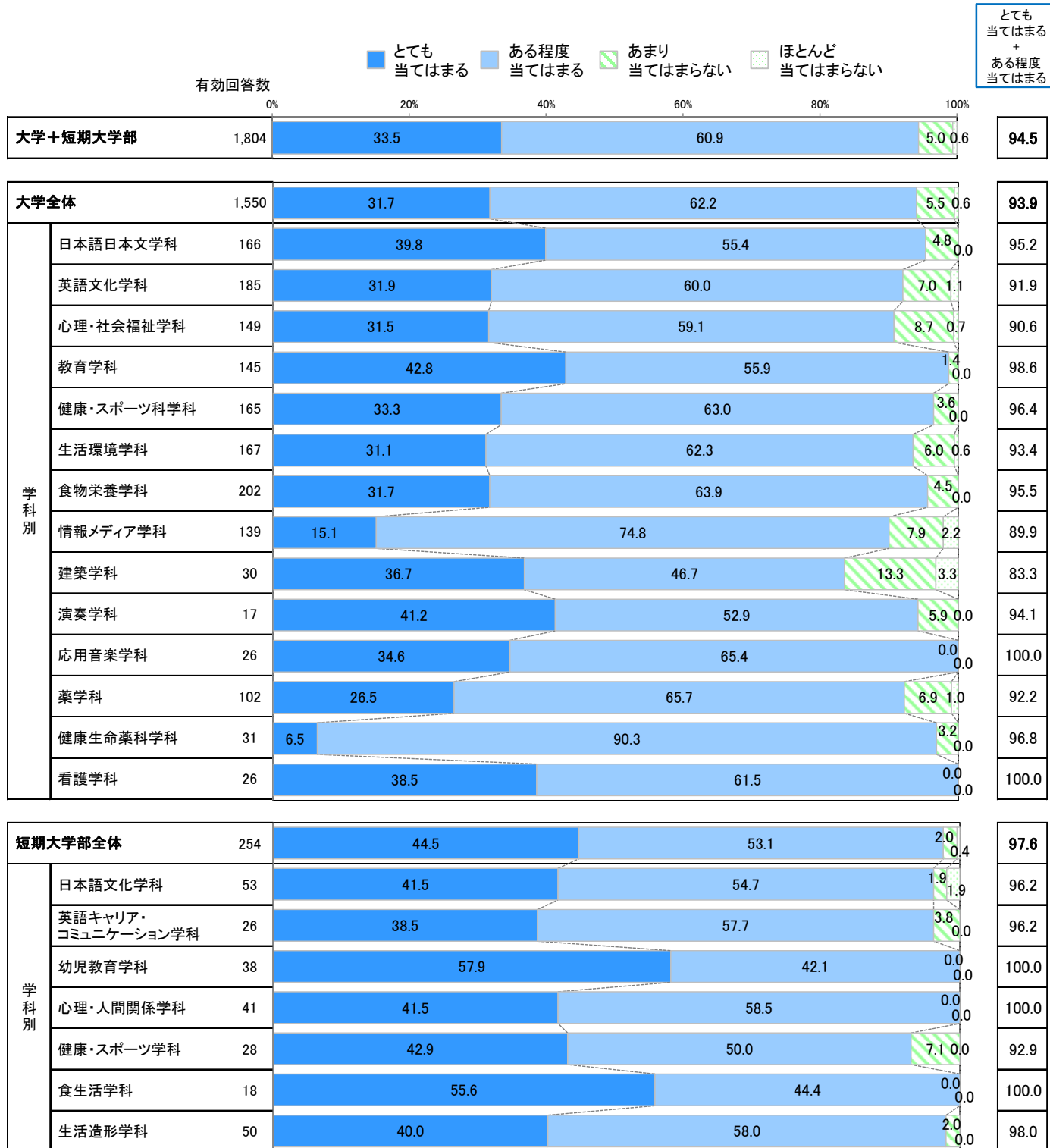


学びの充実度【学科別】

- 教養分野の教育(共通教育)が充実している(「とても当てはまる」+「ある程度当てはまる」と回答した充実度評価は、大学で9割強、短期大学部ではほぼ全数である。
- 大学の学科別で充実度評価が特に高いのは、応用音楽学科、看護学科で、ともに100.0%である。対して、建築学科は、充実度評価が唯一8割強と低く、「あまり当てはまらない」が1割強を占める。
- 短期大学部の学科別で充実度評価が特に高いのは、幼児教育学科、心理・人間関係学科、食生活学科で、いずれも100.0%である。最も低い健康・スポーツ学科でも、充実度評価は約9割にのぼる。

Q6 あなたは、在学期間を通して、本学の教育内容をどのように感じましたか。

<教養分野の教育(共通教育)が充実している>

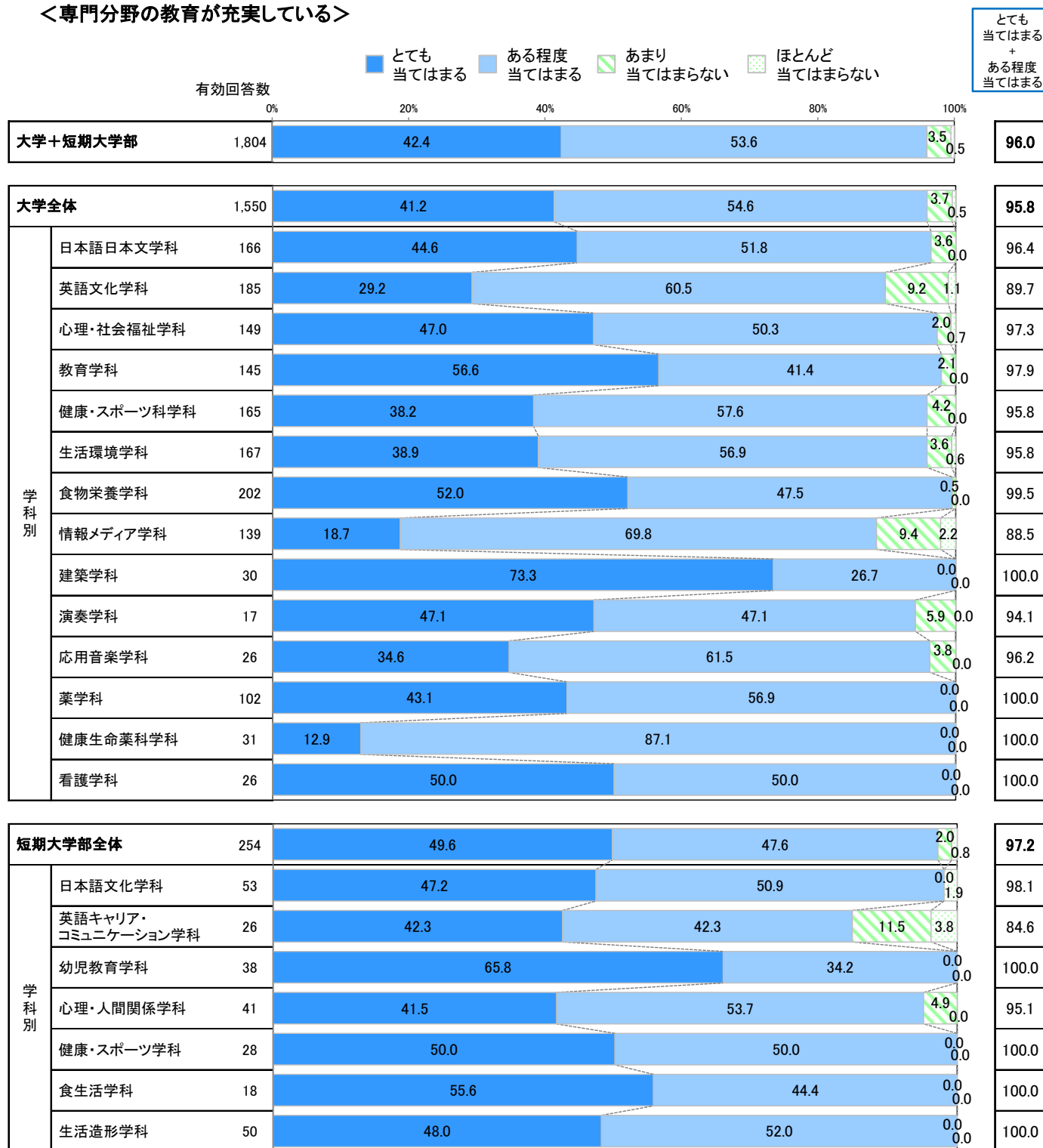


学びの充実度【学科別】

- 専門分野の教育が充実している(「とても当てはまる」+「ある程度当てはまる」と回答した充実度評価は、大学で9割台、短期大学部ではほぼ全数である。
- 大学の学科別で充実度評価が特に高いのは、建築学科、薬学科、健康生命薬科学科、看護学科で、いずれも100.0%である。対して、英語文化学科、情報メディア学科は、充実度評価がいずれも9割に満たずやや低い。
- 短期大学部の学科別で充実度評価が特に高いのは、幼児教育学科、健康・スポーツ学科、食生活学科、生活造形学科で、いずれも100.0%である。対して、英語キャリア・コミュニケーション学科は、充実度評価が8割台と低い。

Q6 あなたは、在学期間を通して、本学の教育内容をどのように感じましたか。

<専門分野の教育が充実している>

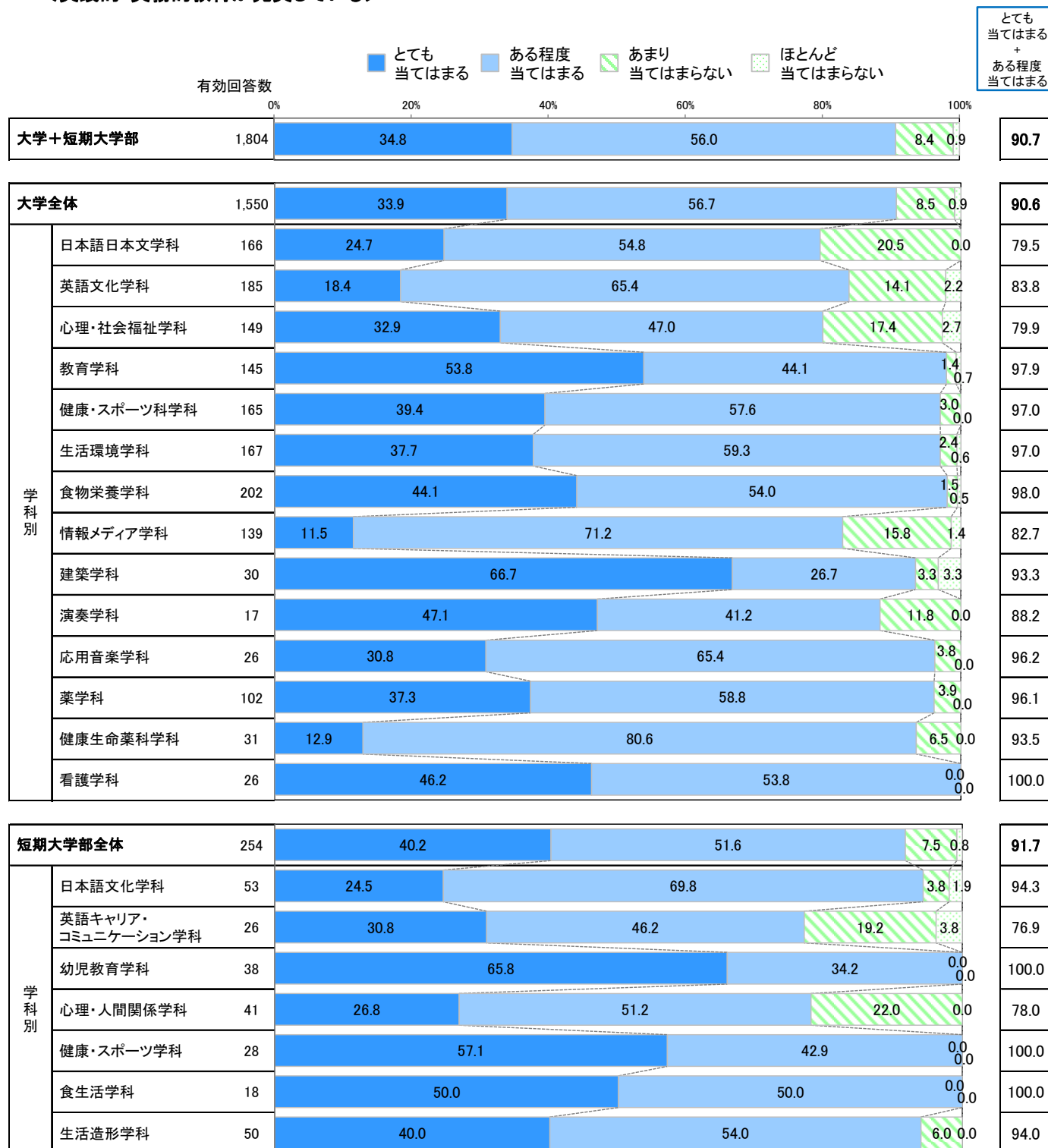


学びの充実度【学科別】

- 実践的・実務的教育が充実している(「とても当てはまる」+「ある程度当てはまる」と回答した充実度評価は、大学、短期大学部ともに約9割である。
- 大学の学科別で充実度評価が最も高いのは看護学科で、100.0%である。対して、日本語日本文学科、心理・社会福祉学科は、充実度評価がともに8割に満たない。
- 短期大学部の学科別で充実度評価が特に高いのは、幼児教育学科、健康・スポーツ学科、食生活学科で、いずれも100.0%である。対して、英語キャリア・コミュニケーション学科、心理・人間関係学科の評価はともに8割に満たない。

Q6 あなたは、在学期間を通して、本学の教育内容をどのように感じましたか。

<実践的・実務的教育が充実している>

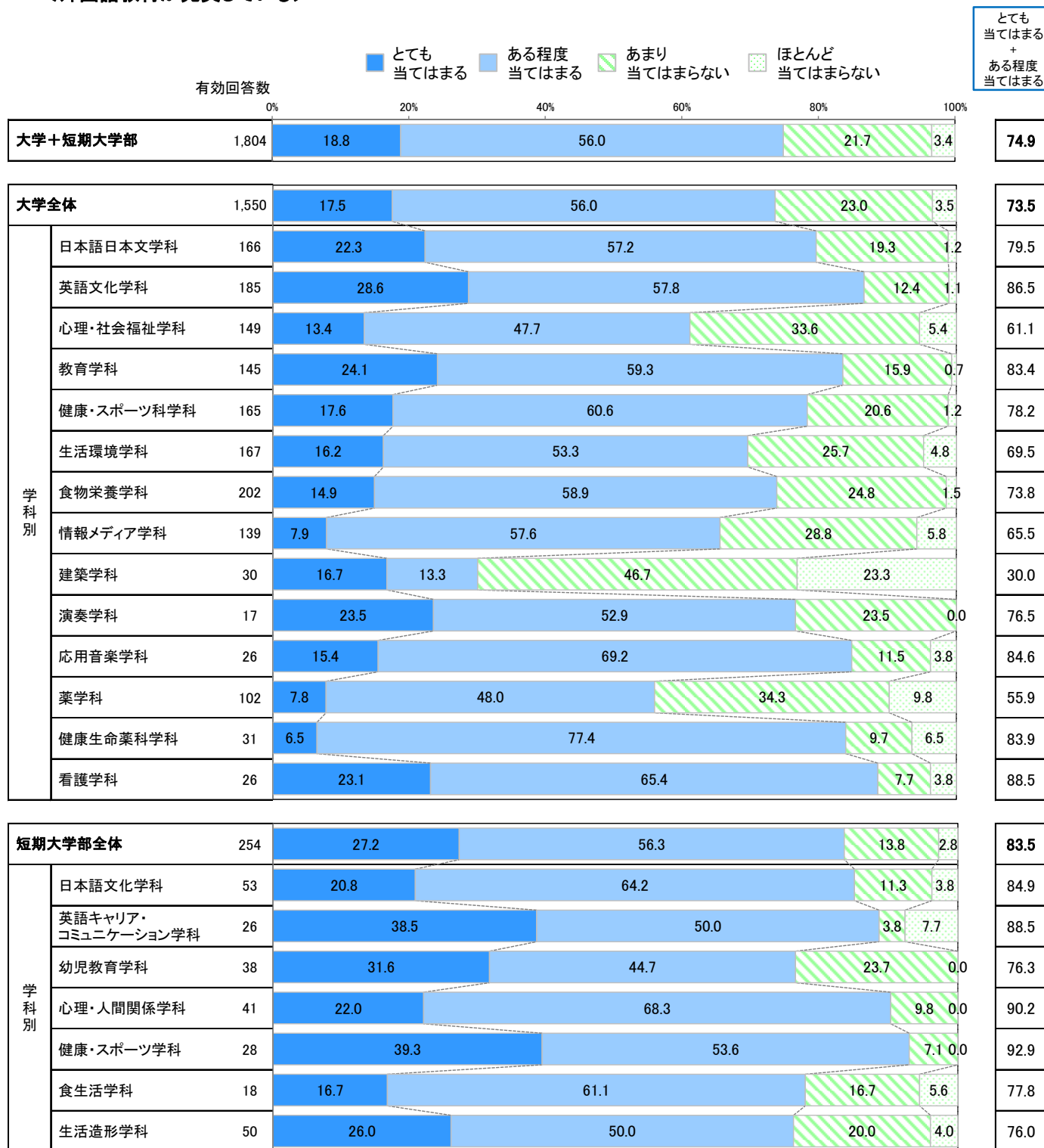


学びの充実度【学科別】

- 外国語教育が充実している(「とても当てはまる」+「ある程度当てはまる」と回答した充実度評価は、大学で7割強、短期大学部では8割強である。
- 大学の学科別で充実度評価が最も高いのは看護学科で、約9割である。対して、建築学科は、充実度評価が唯一3割と低い。
- 短期大学部の学科別で充実度評価が特に高いのは、心理・人間関係学科、健康・スポーツ学科で、ともに9割を超える。対して、幼児教育学科、食生活学科、生活造形学科は、いずれも充実度評価が8割に満たず、やや低くなっている。

Q6 あなたは、在学期間を通して、本学の教育内容をどのように感じましたか。

<外国語教育が充実している>

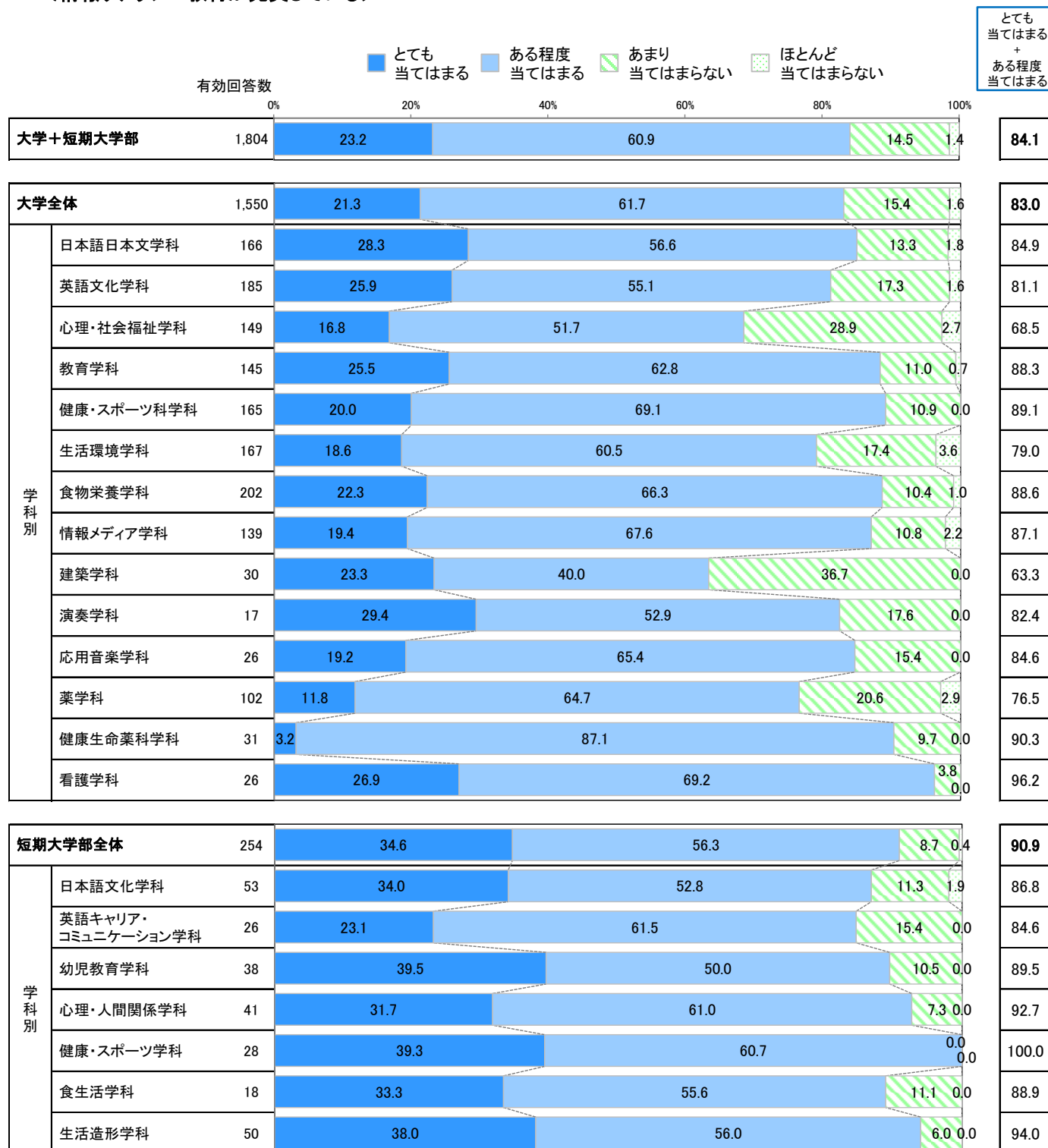


学びの充実度【学科別】

- 情報リテラシー教育が充実している（「とても当てはまる」+「ある程度当てはまる」と回答した充実度評価は、大学で8割強、短期大学部では約9割である。
- 大学の学科別で充実度評価が特に高いのは、健康生命薬科学科、看護学科で、ともに9割を超えている。対して、心理・社会福祉学科、建築学科は、ともに充実度評価が7割に満たず低い。
- 短期大学部の学科別で充実度評価が最も高いのは、健康・スポーツ学科で、100.0%である。対して、英語キャリア・コミュニケーション学科は84.6%でやや低い評価となっている。

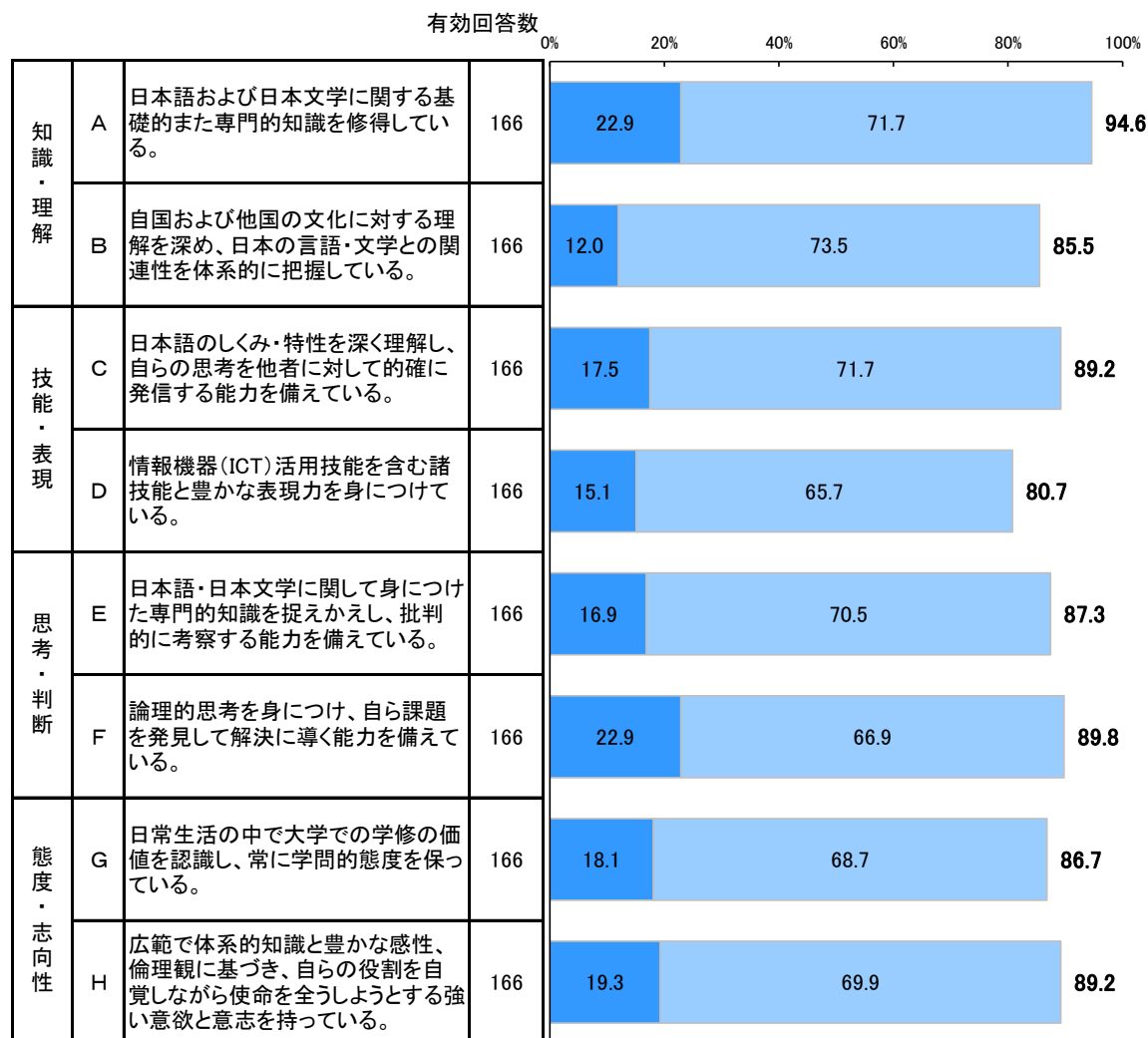
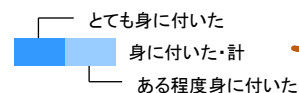
Q6 あなたは、在学期間を通して、本学の教育内容をどのように感じましたか。

<情報リテラシー教育が充実している>

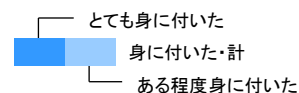


**アンケート結果 詳細内容
【ディプロマ・ポリシーの修得度】**

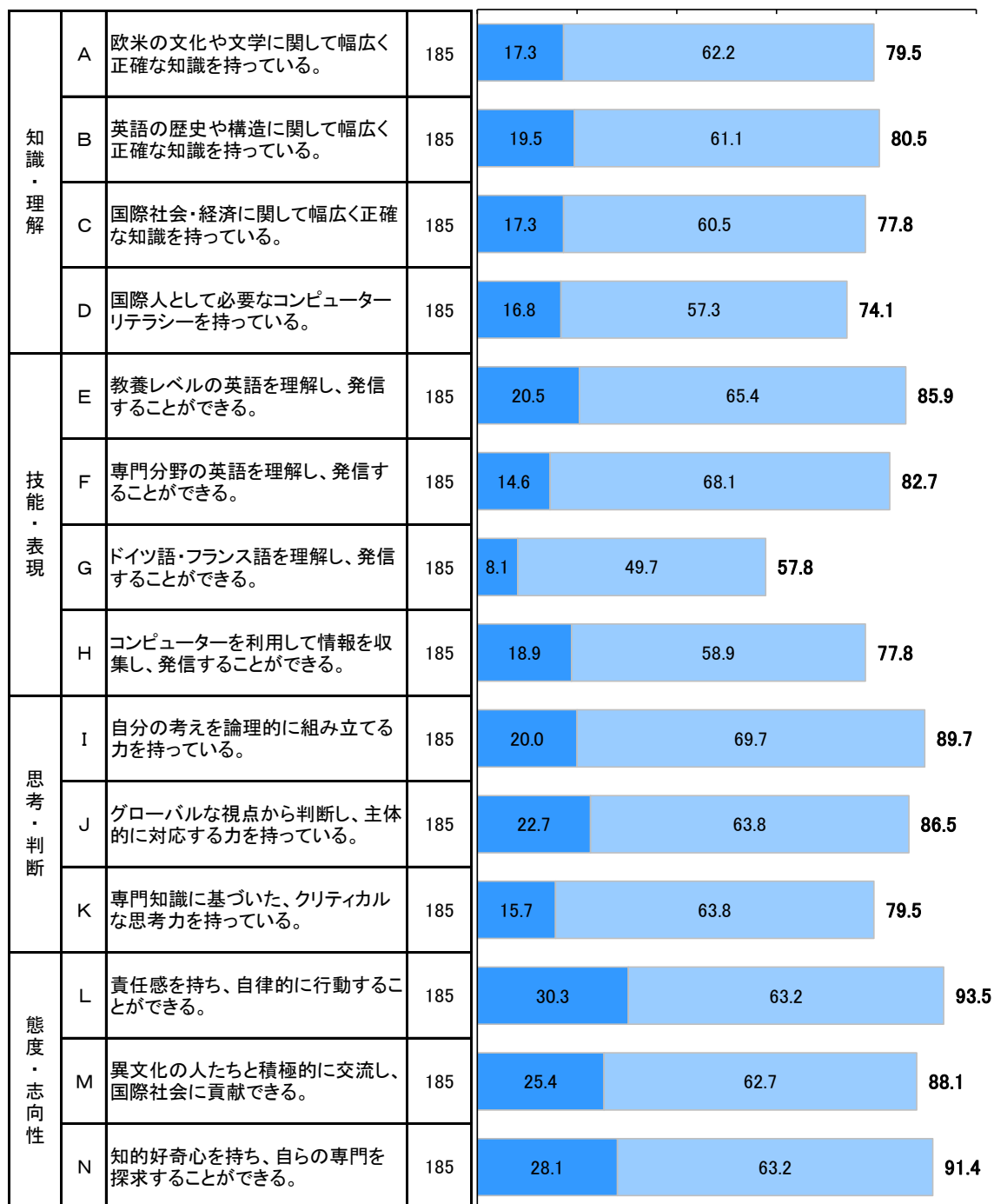
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

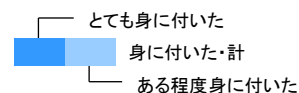


有効回答数

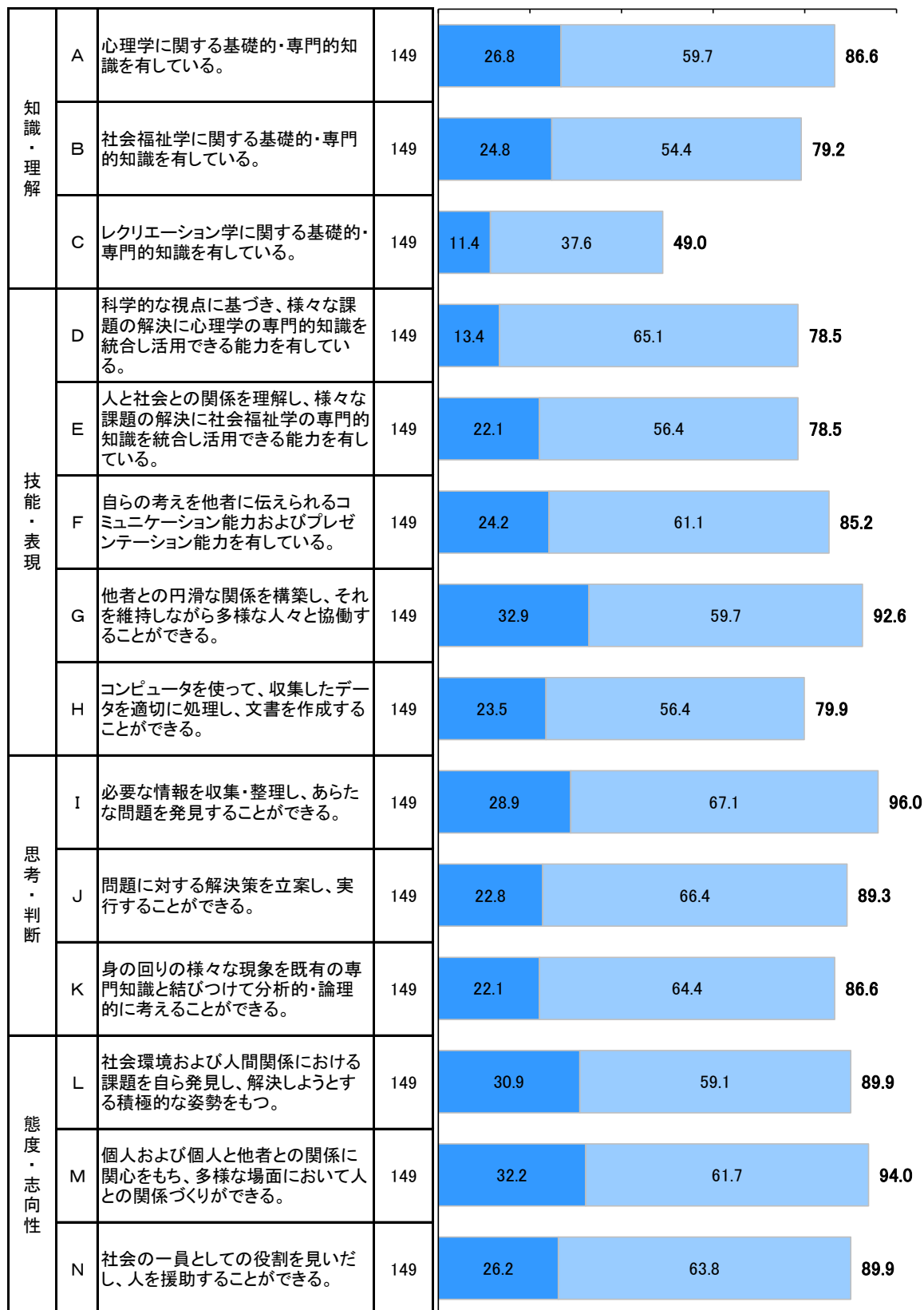


修得した能力【大学 文学部 心理・社会福祉学科】

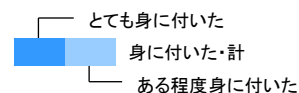
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



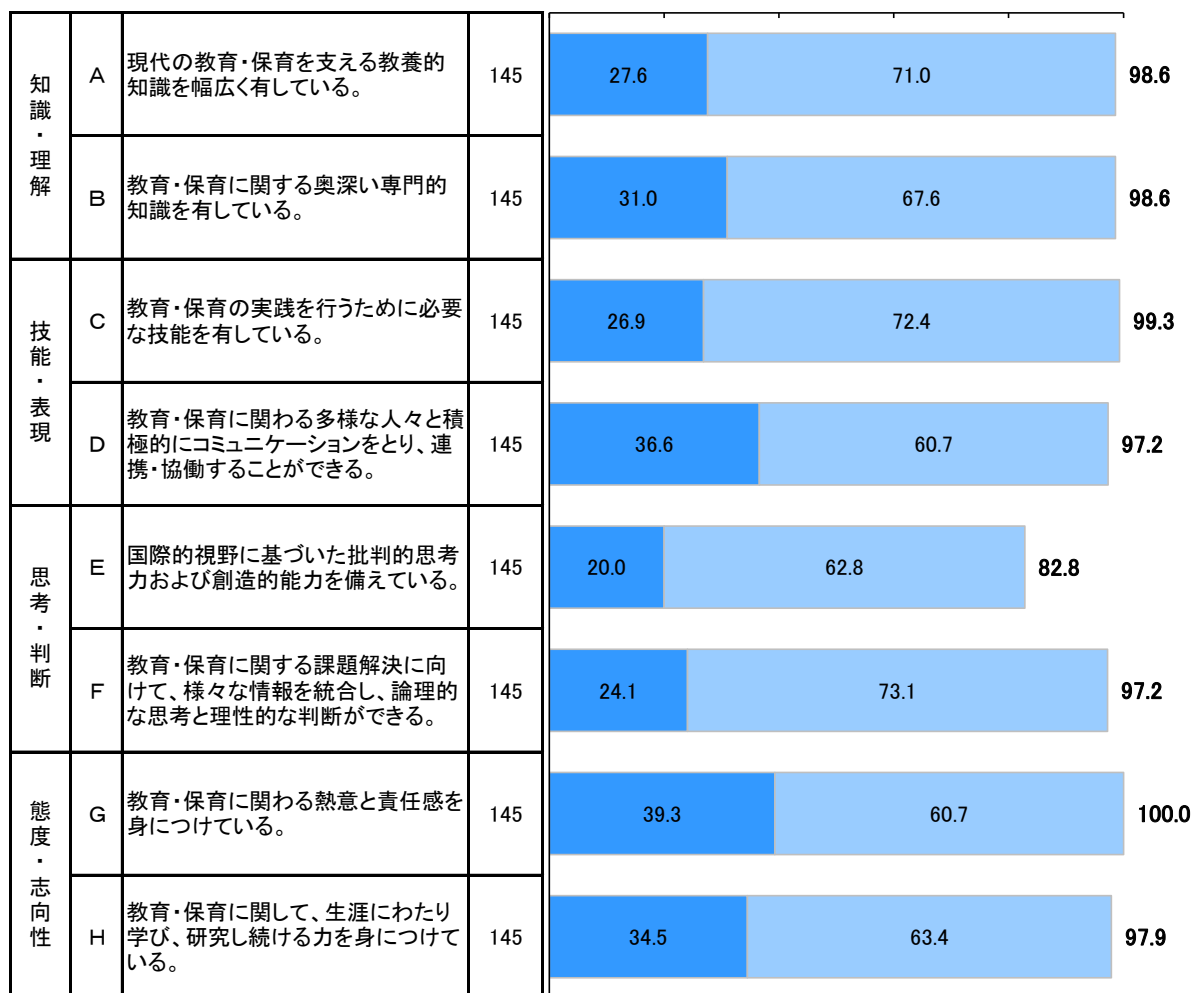
有効回答数



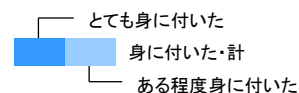
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



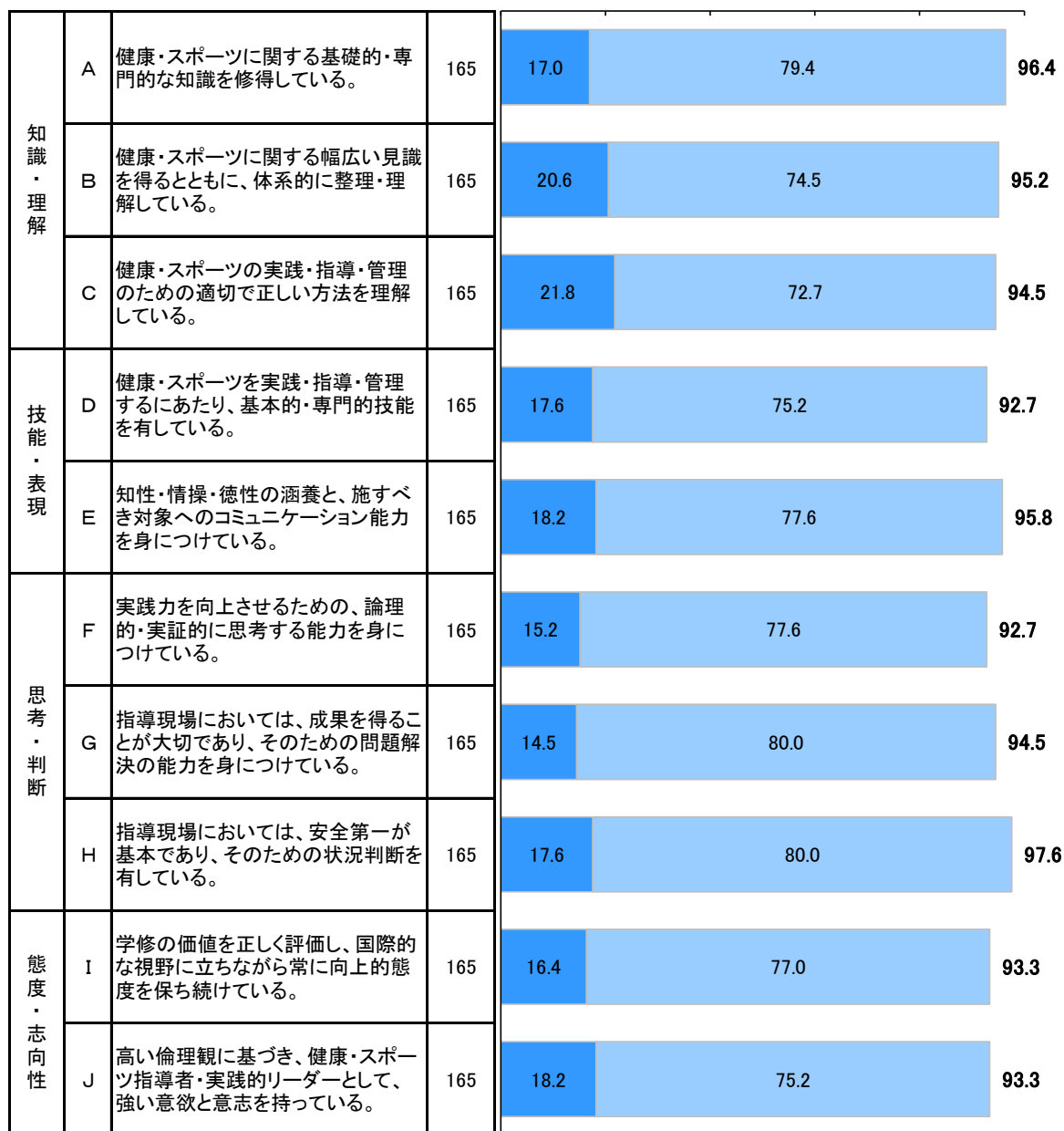
有効回答数



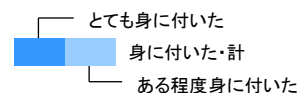
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



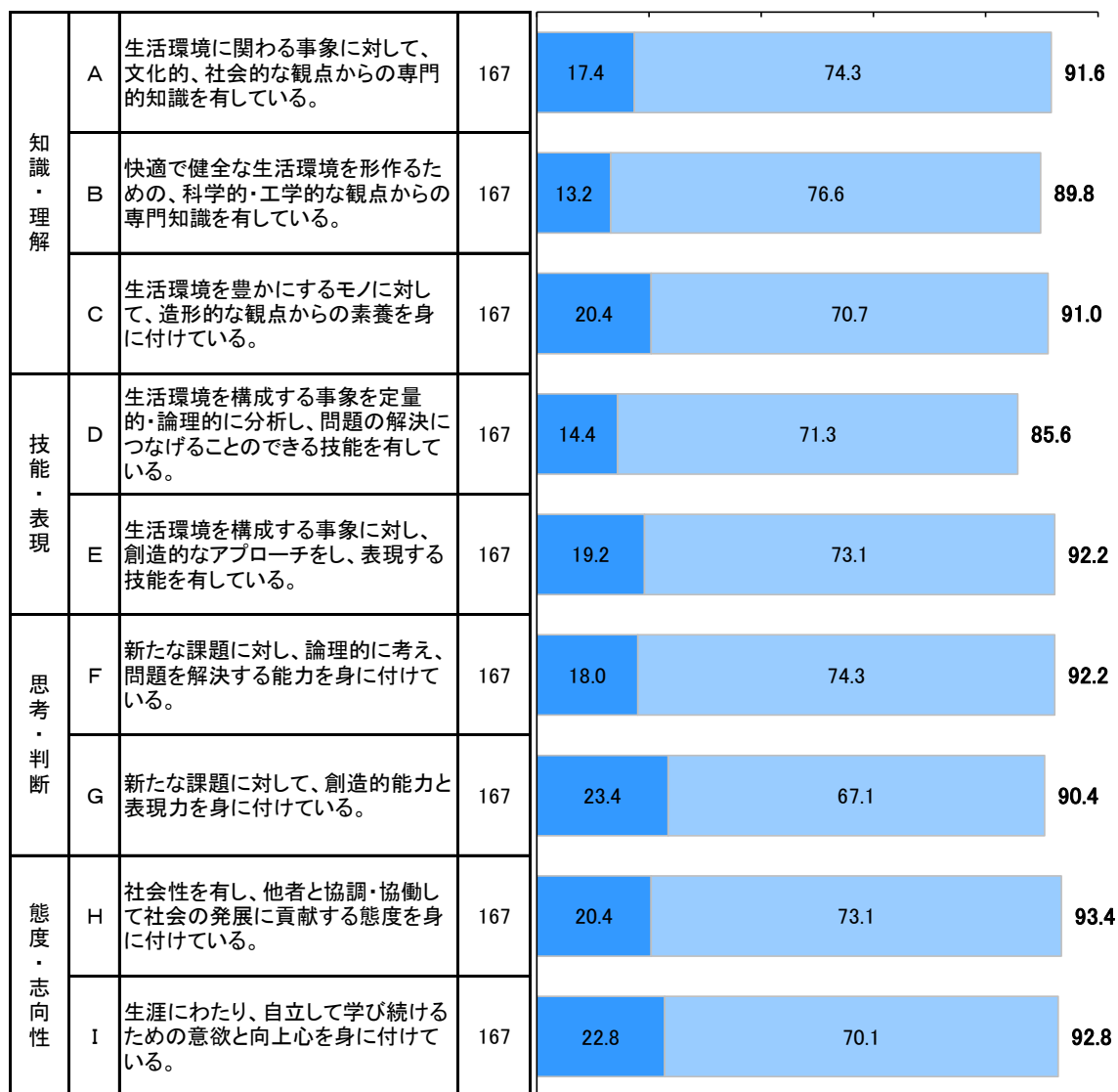
有効回答数



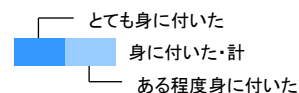
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



有効回答数

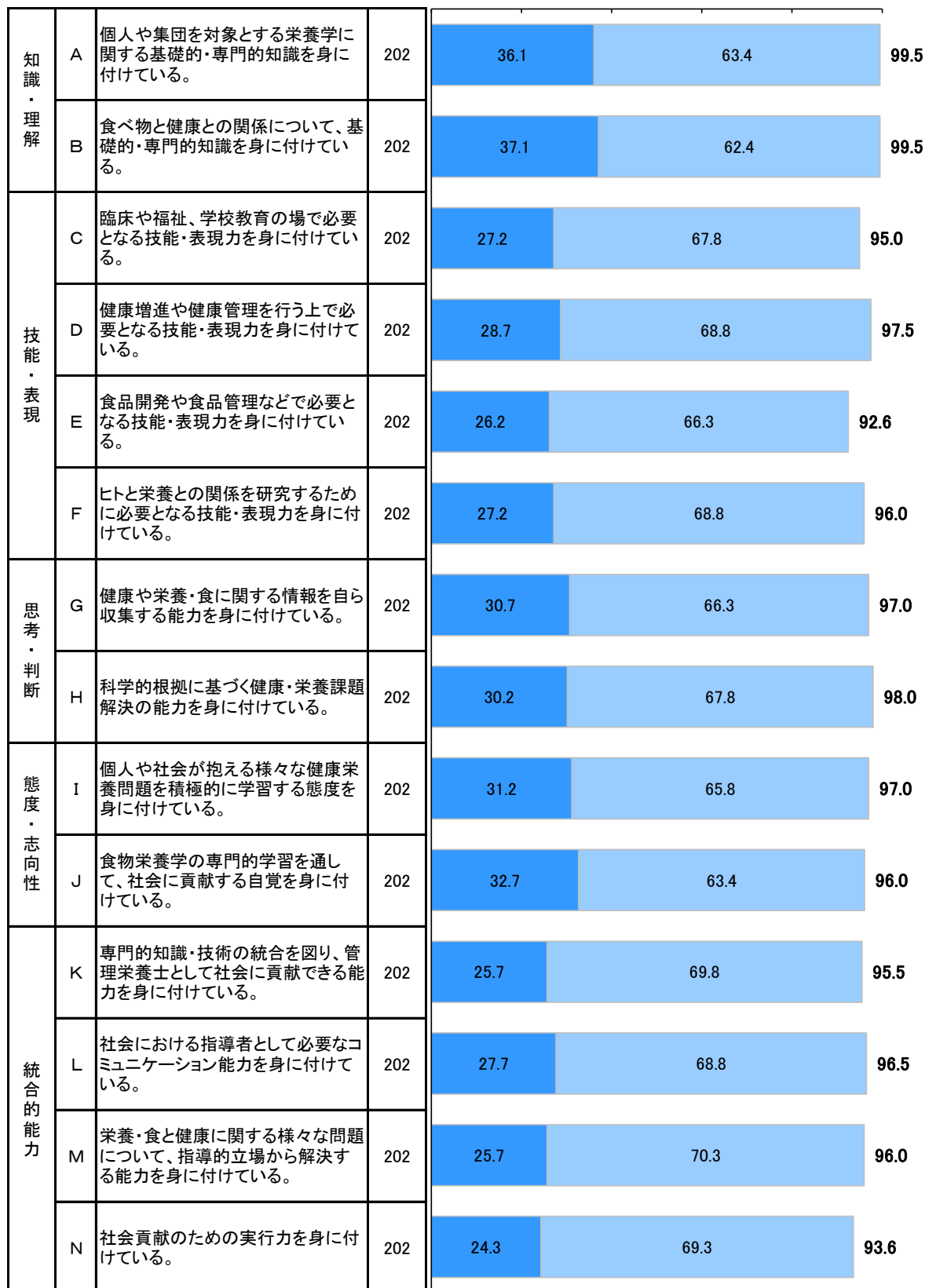


Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

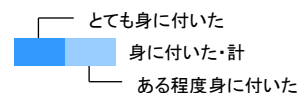


有効回答数

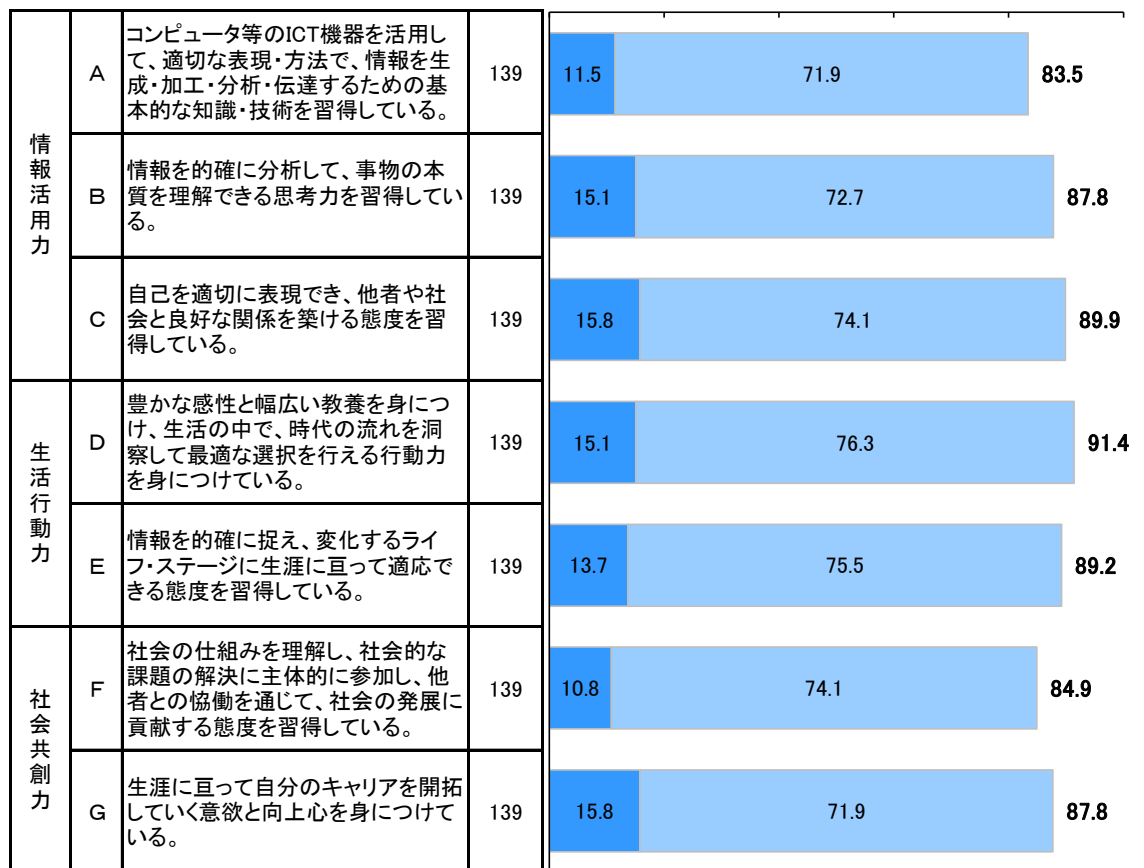
0% 20% 40% 60% 80% 100%



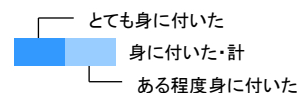
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



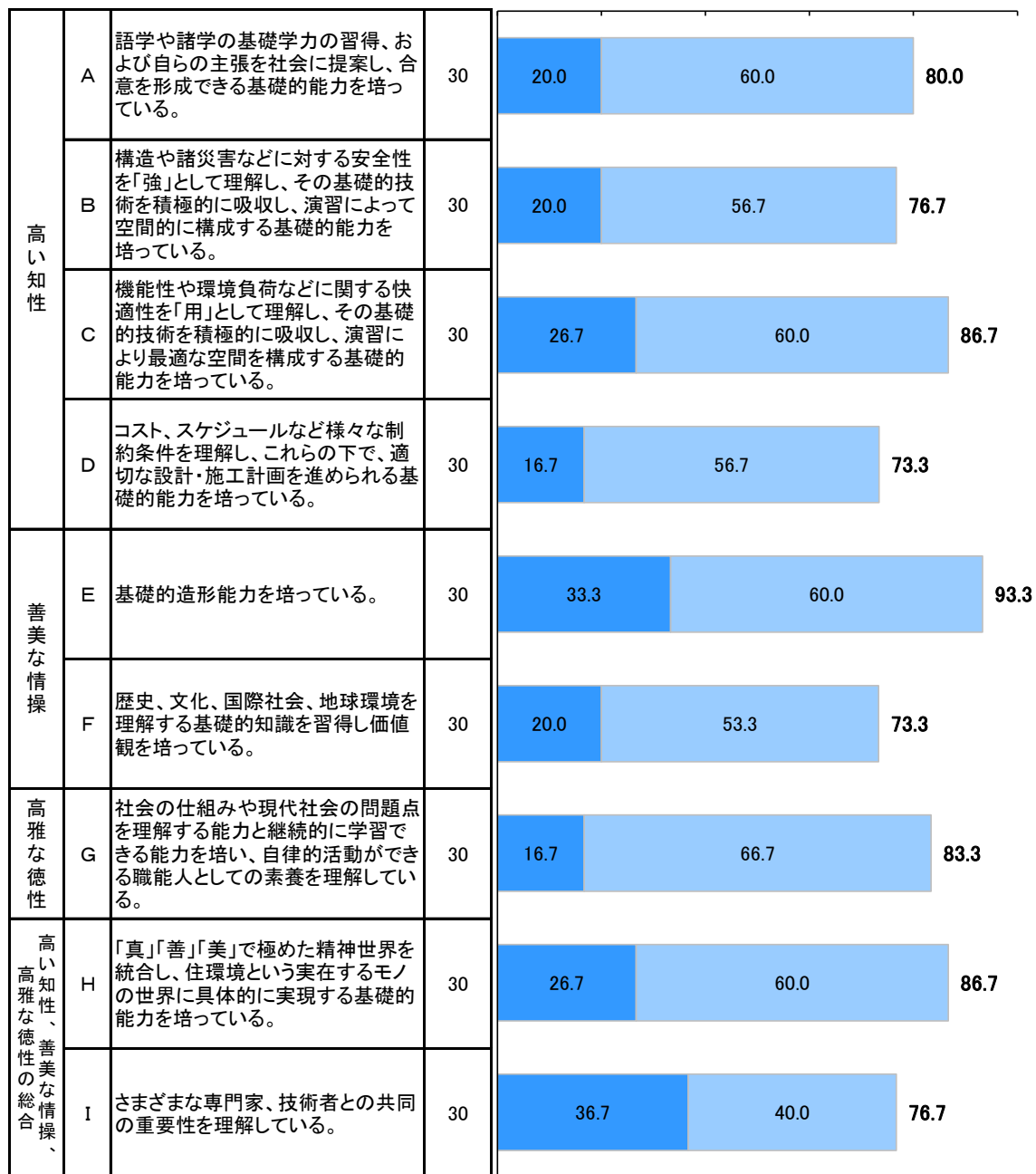
有効回答数



Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

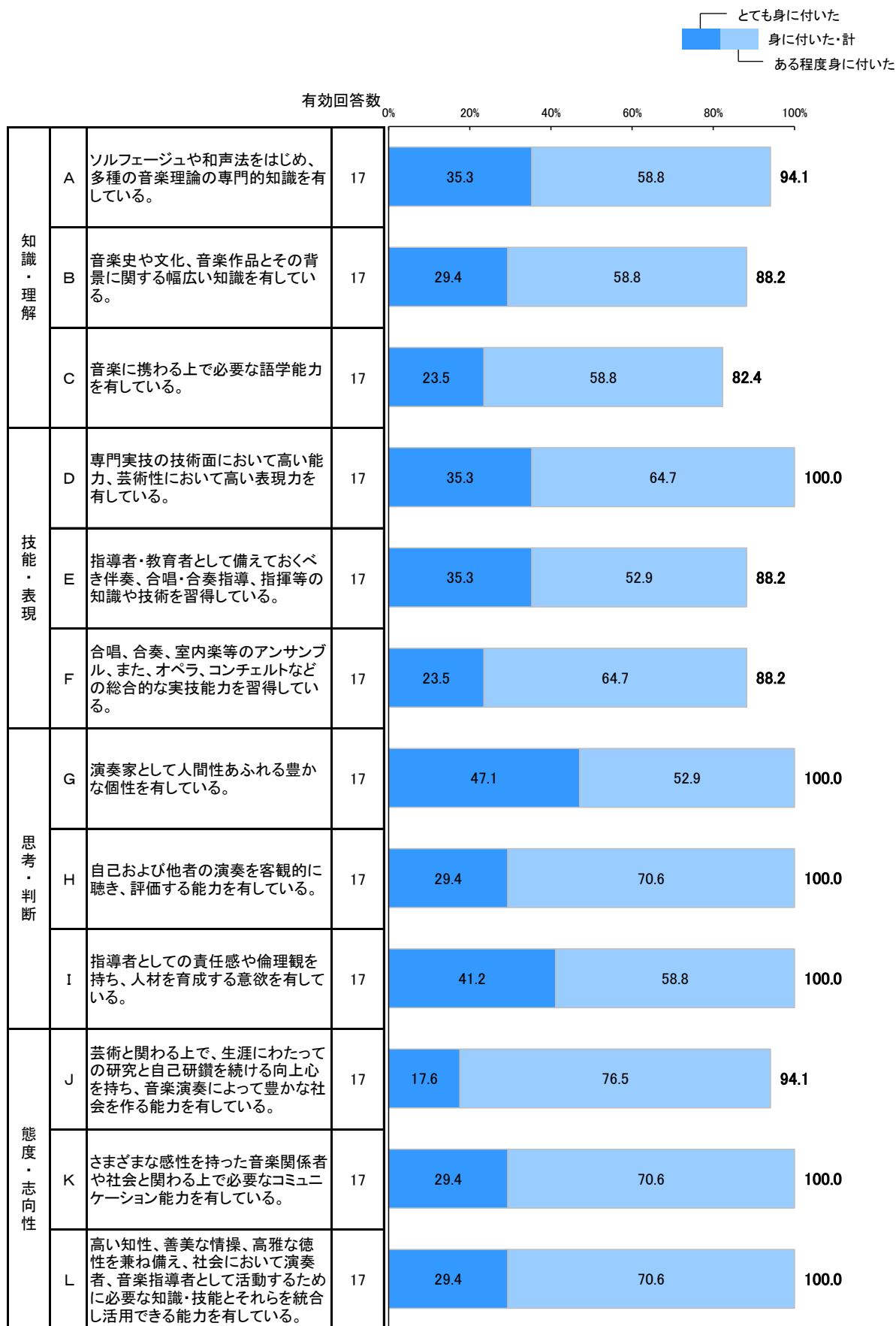


有効回答数



修得した能力【大学 音楽学部 演奏学科】

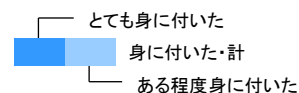
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



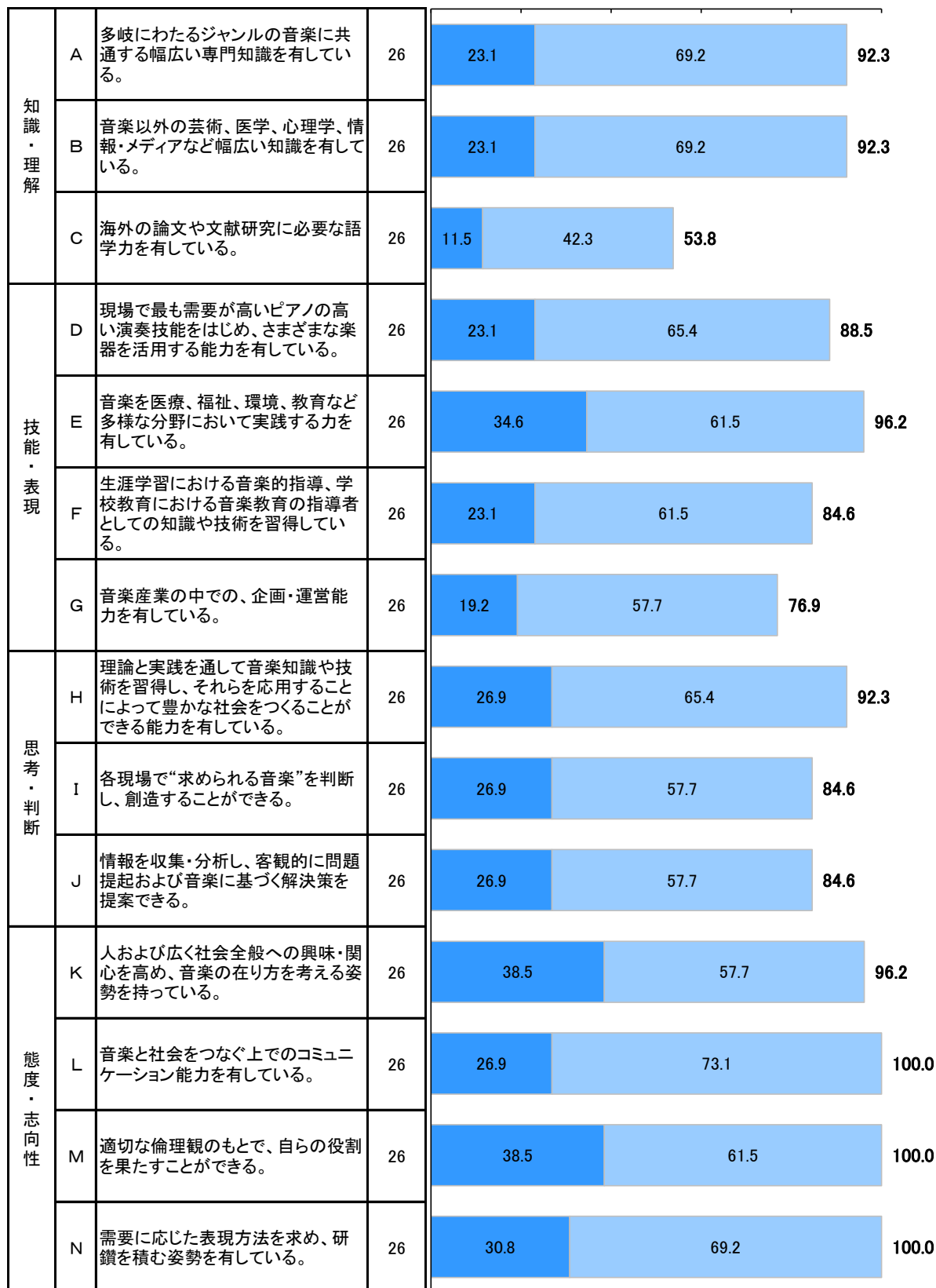
※ n = 30未満のため参考値

修得した能力【大学 音楽学部 応用音楽学科】

Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

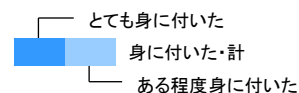


有効回答数

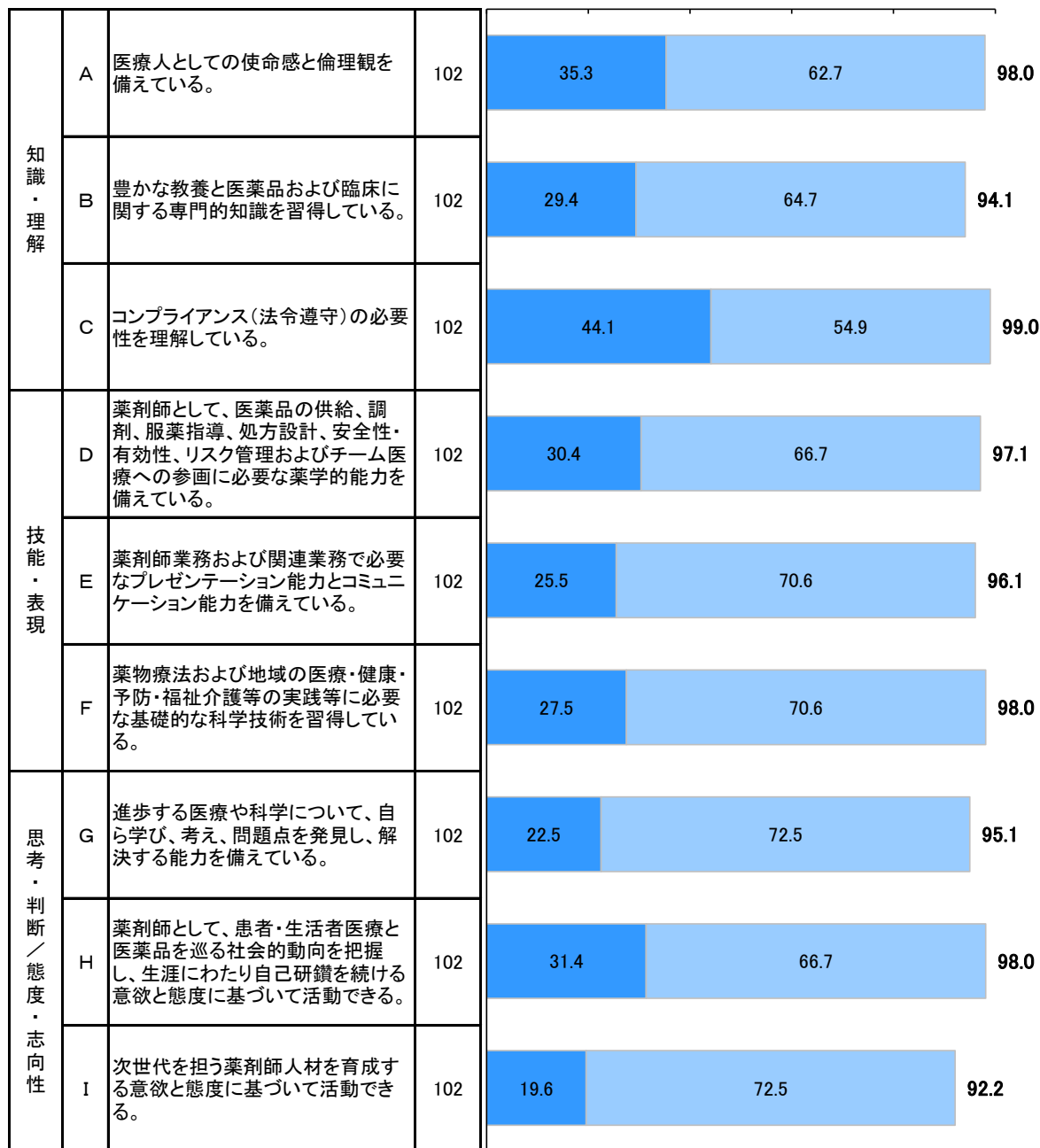


※ n = 30未満のため参考値

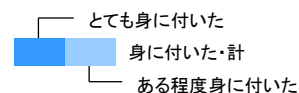
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



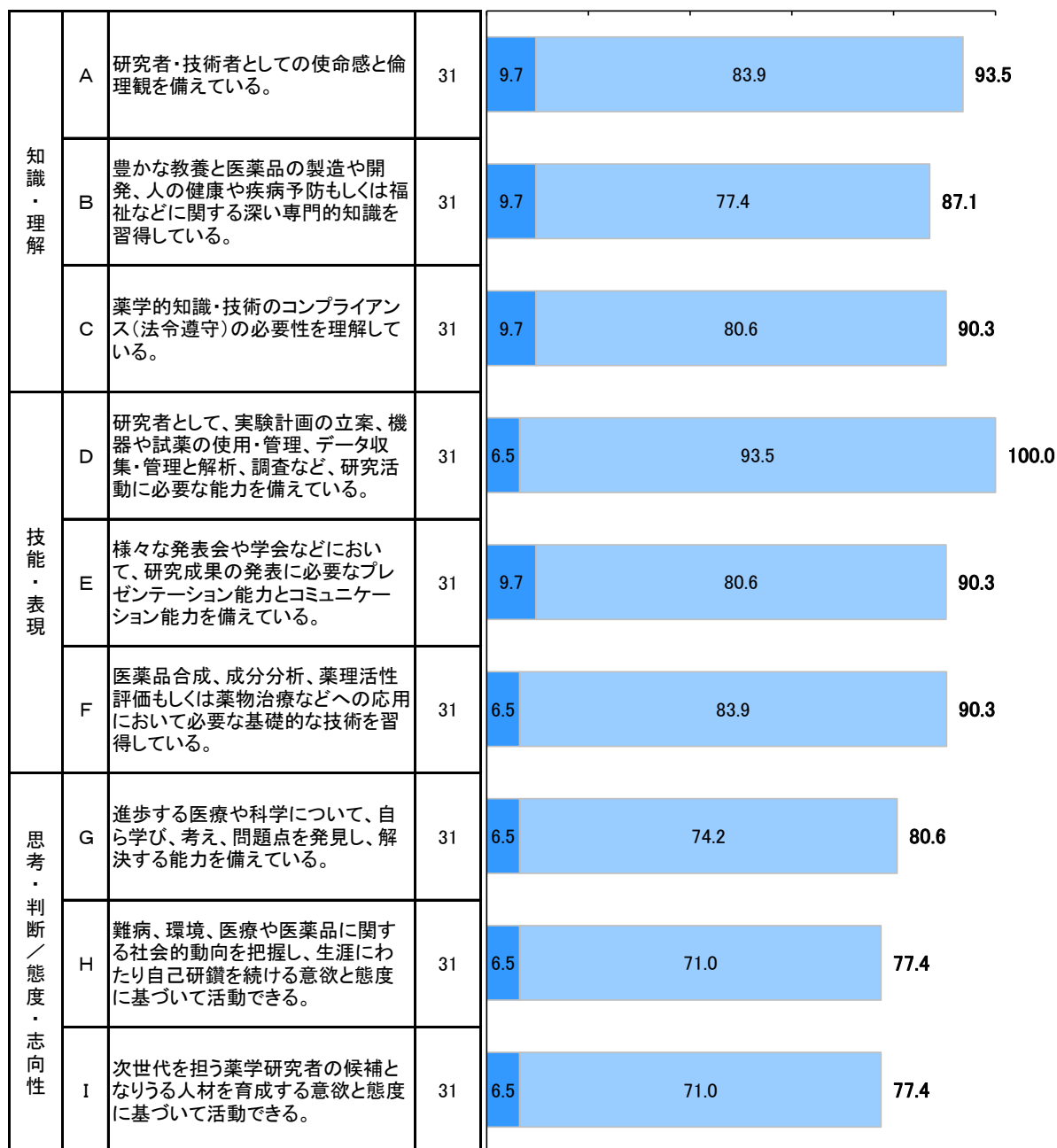
有効回答数



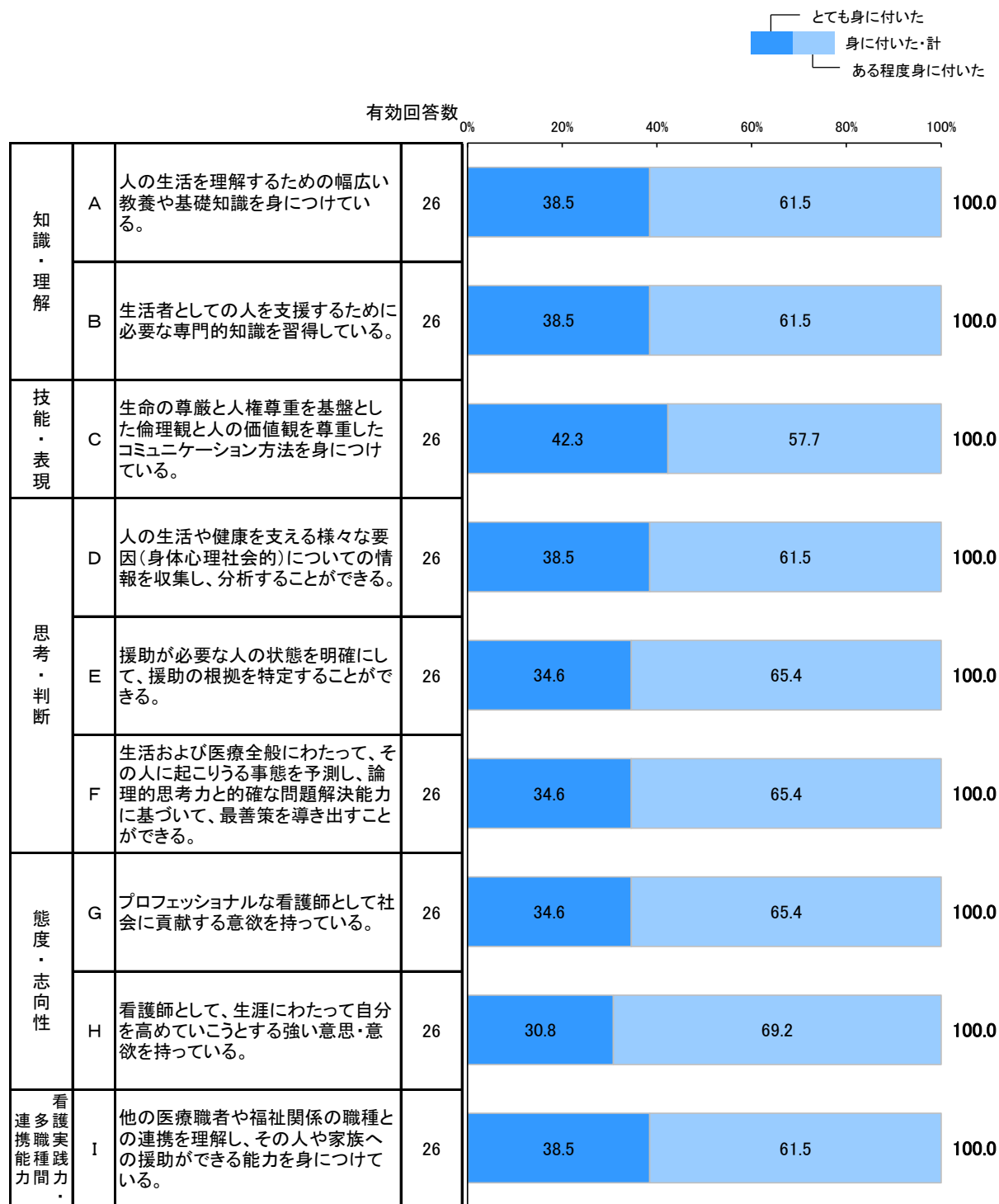
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



有効回答数

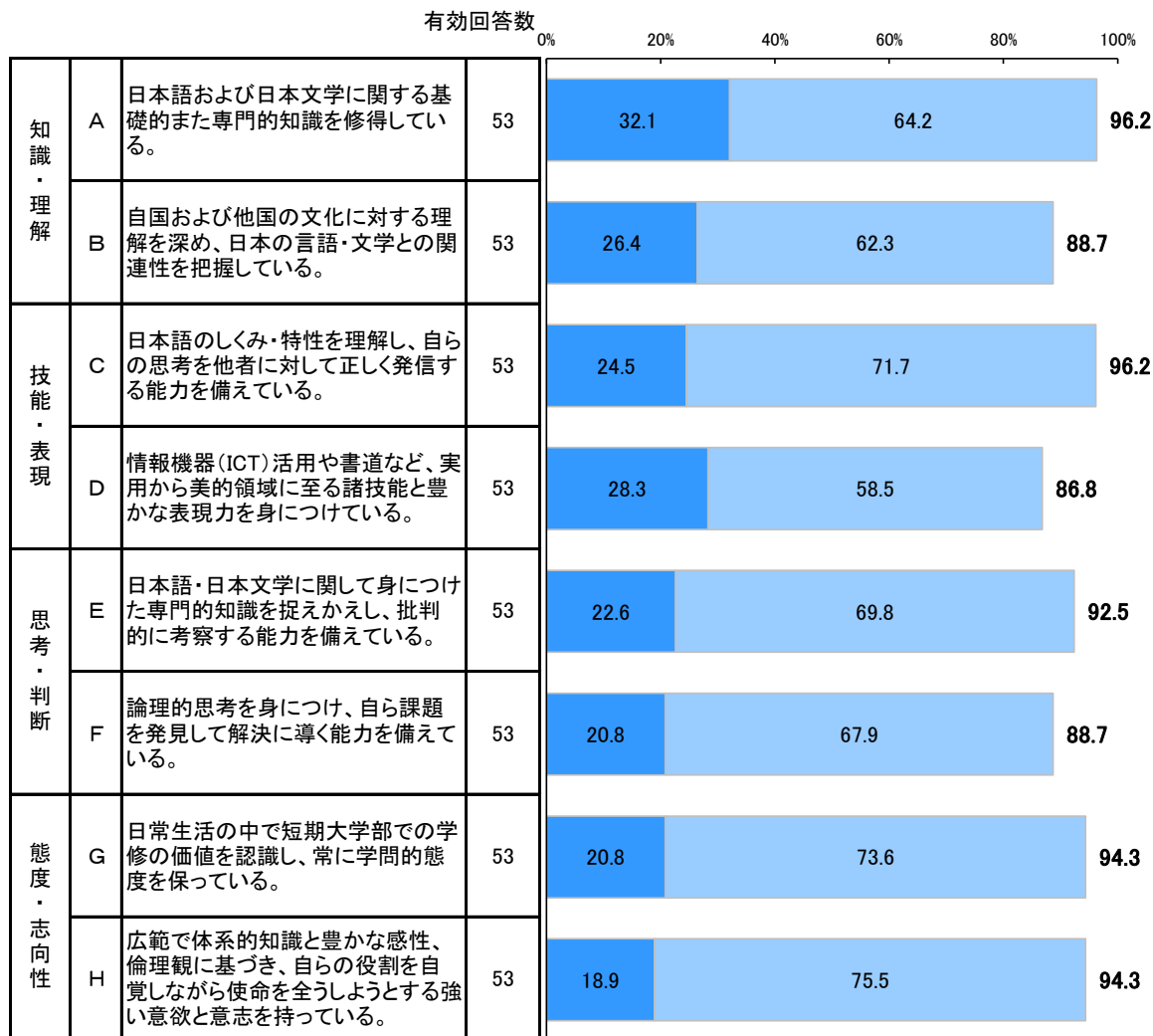
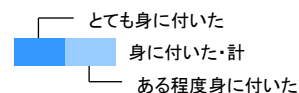


Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

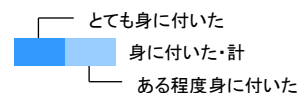


※ n = 30未満のため参考値

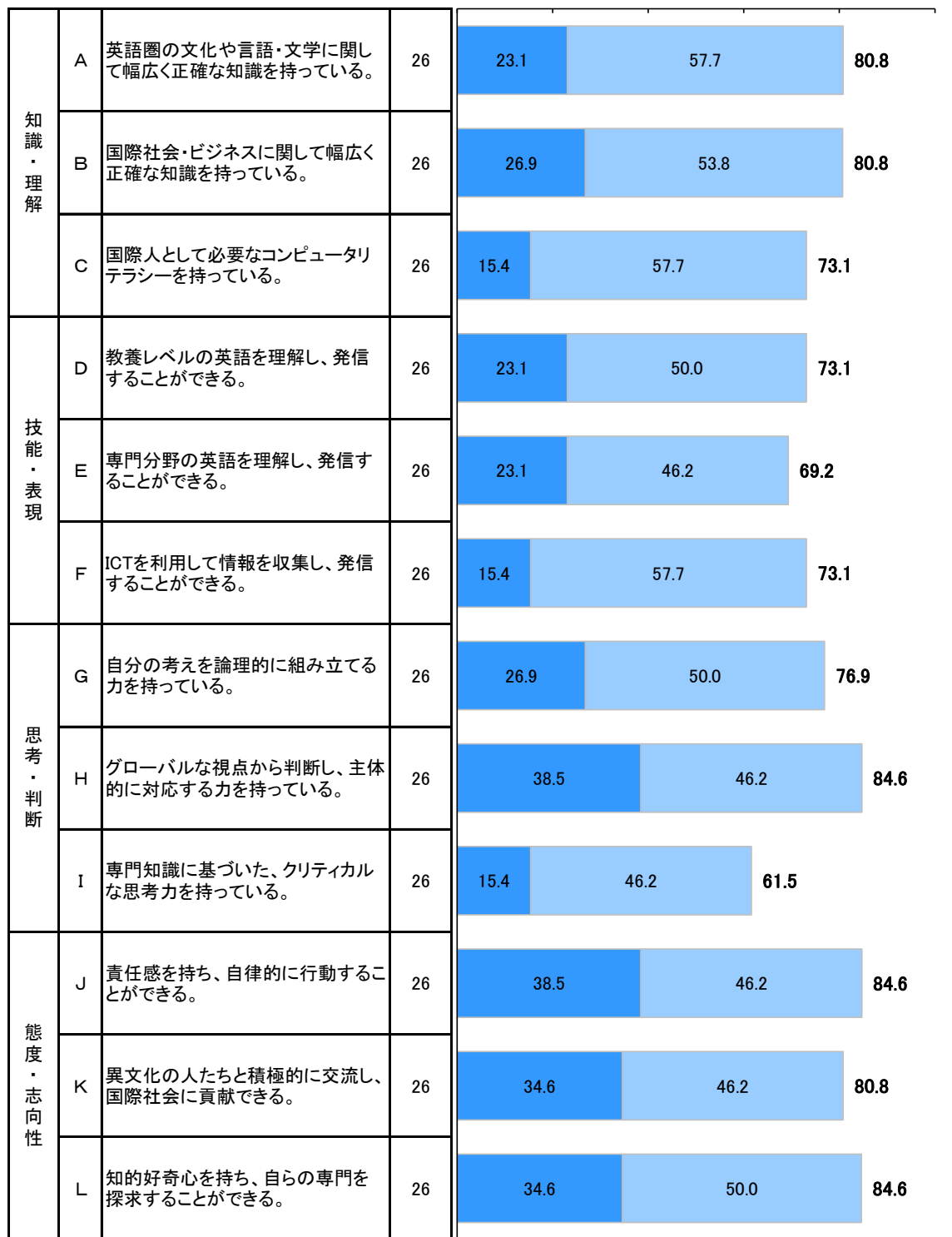
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

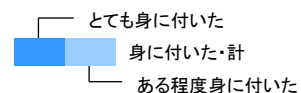


有効回答数

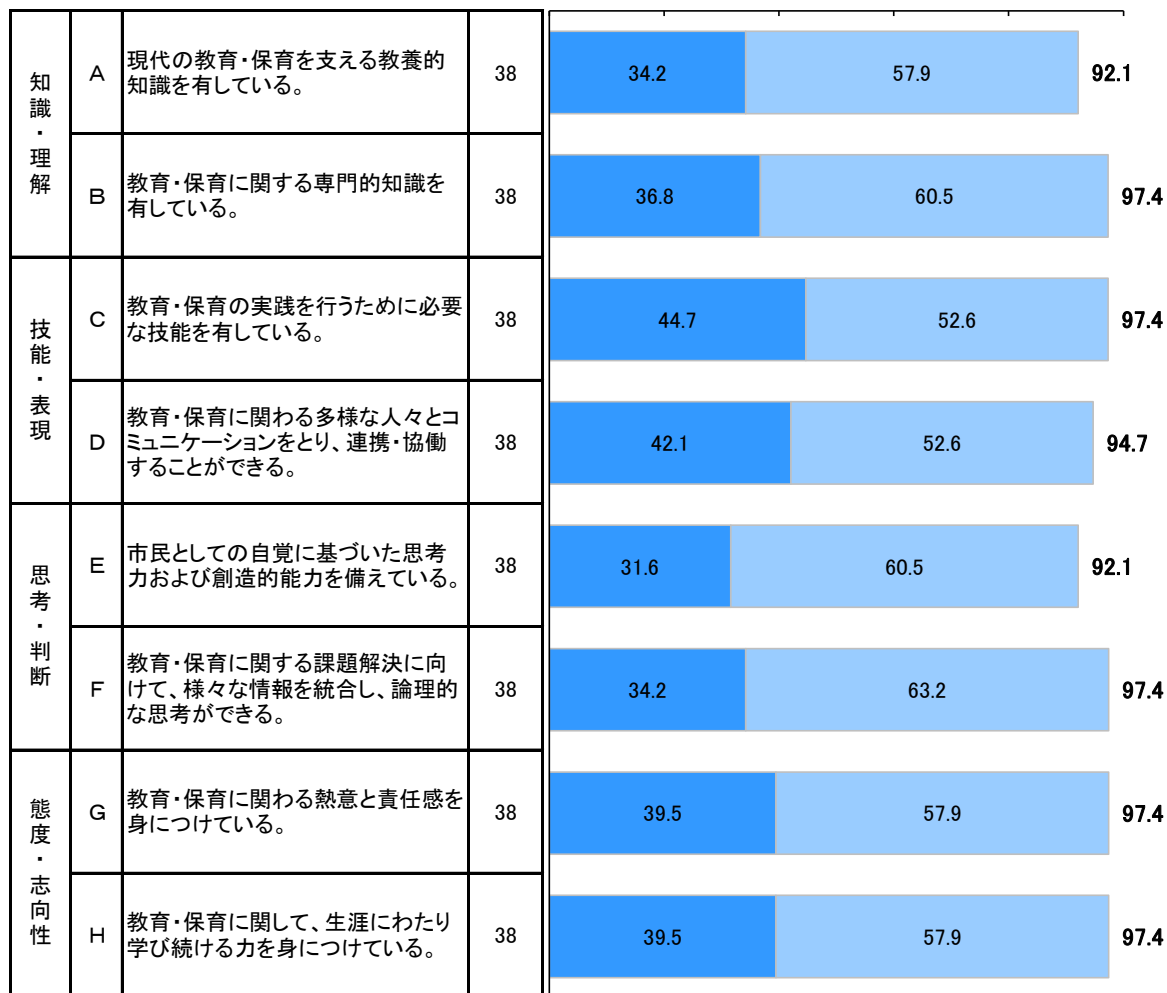


※ n = 30未満のため参考値

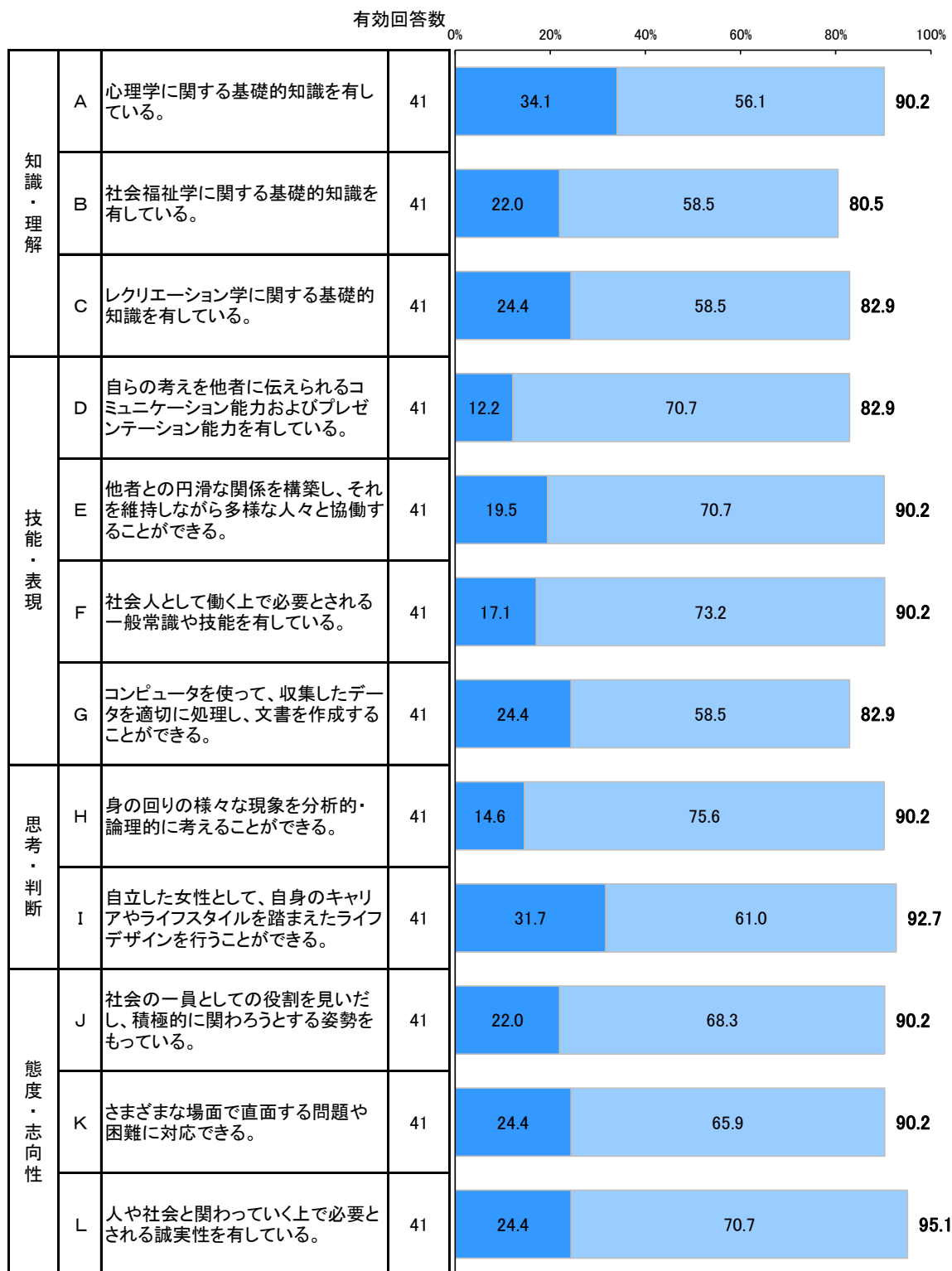
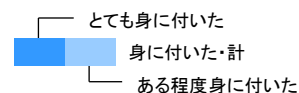
Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



有効回答数

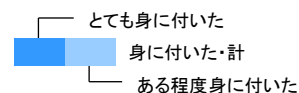


Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。

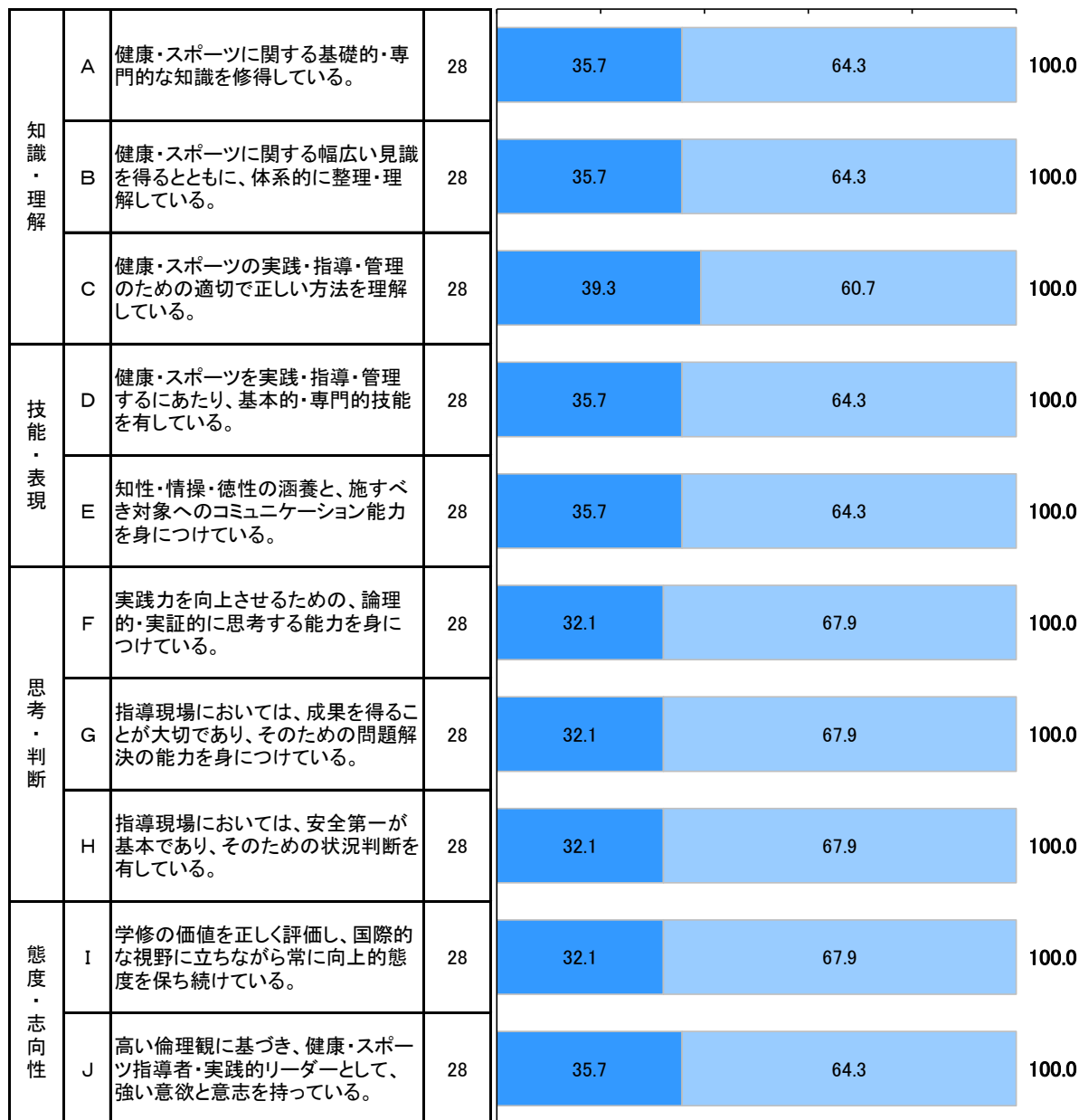


修得した能力【短期大学部 健康・スポーツ学科】

Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



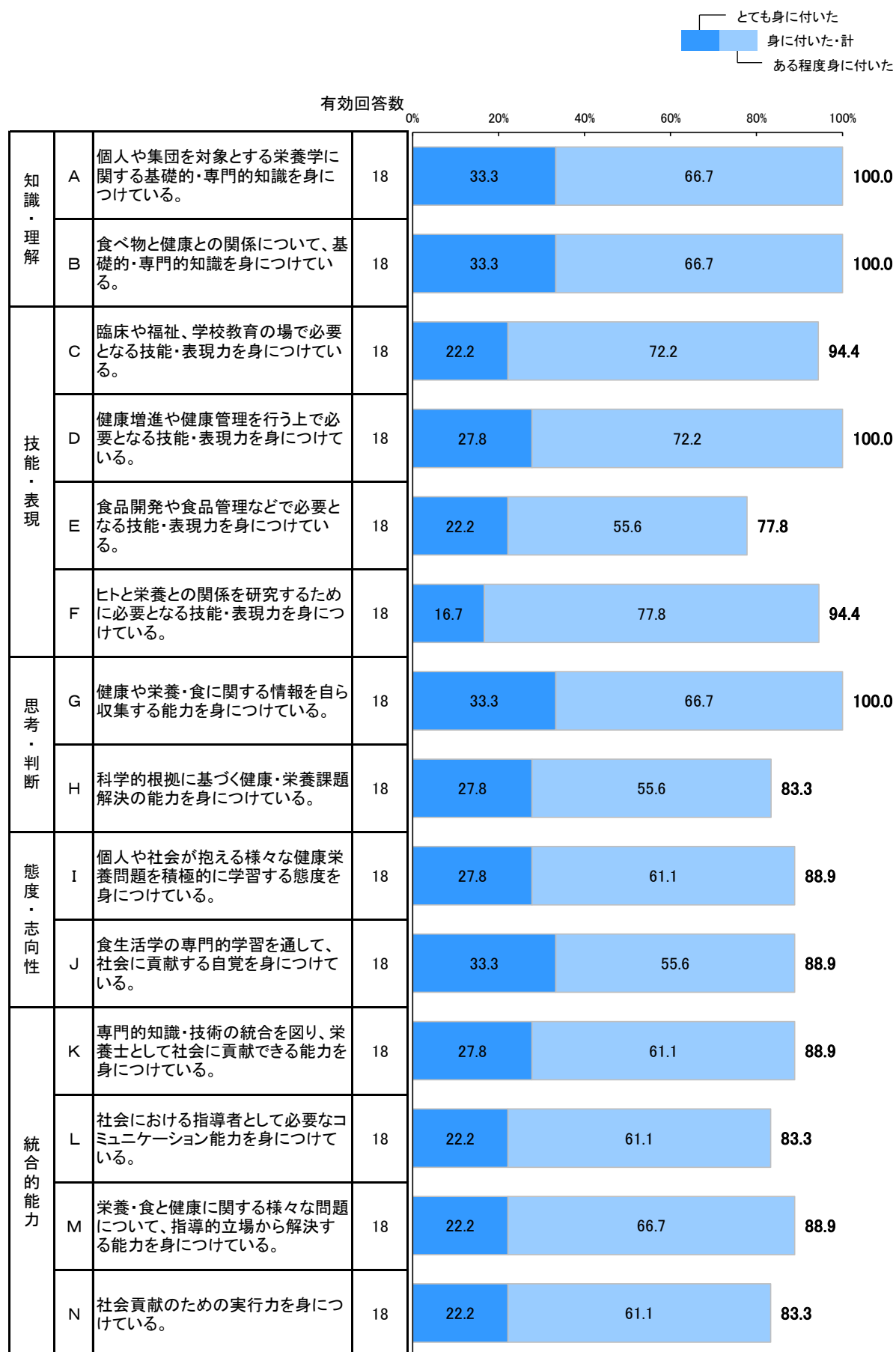
有効回答数



※ n = 30未満のため参考値

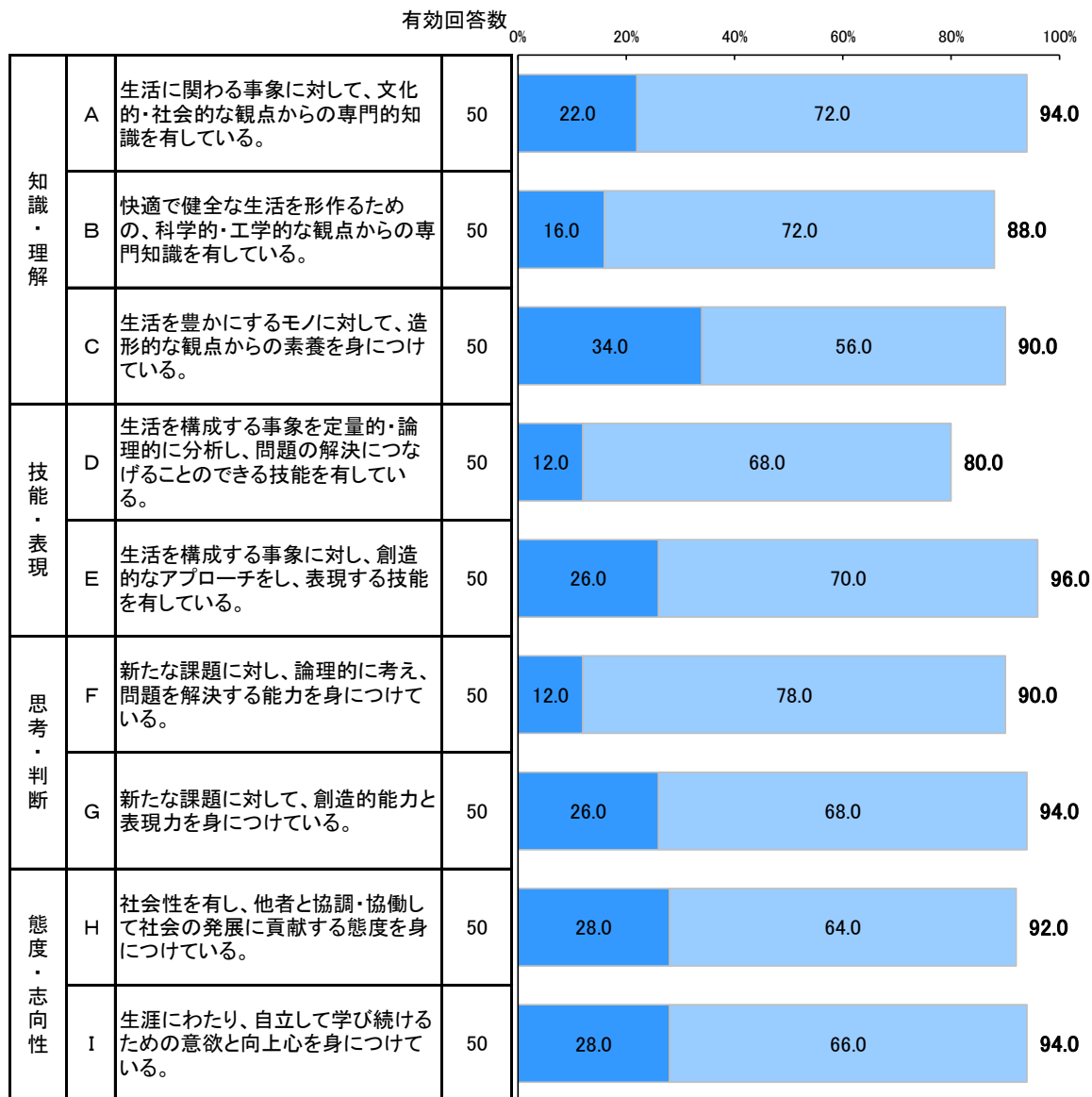
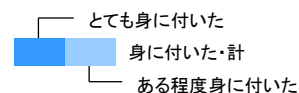
修得した能力【短期大学部 食生活学科】

Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



※ n = 30未満のため参考値

Q5 あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。



卷末資料
【調査票】

武庫川女子大学・武庫川女子大学短期 大学部 令和4年度『卒業時アンケート』

このたび本学では、令和5年3月に卒業予定の皆さんを対象にアンケートを実施することになりました。

みなさんからは、本学に対する率直な意見をお伺いし、魅力ある大学・短大となるための改善・改革に取り組んでいく所存です。

アンケートの結果は統計資料としてのみ活用いたしますのでご安心ください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

Q1. 本学はどの程度の志望順位でしたか。

1つだけマークしてください。

- 第一志望
 第二志望
 第三志望以下

Q2. 本学では、立学の精神の中で、「高い知性」、「善美な情操」、「高雅な徳性」を兼ね備えた有為な女性を育成することを掲げています。あなたは、このことを知っていましたか。

1つだけマークしてください。

- 入学前から知っていた
 在学中に知った
 今まで知らなかった

Q3. あなたが在学中に受講した授業の中で、次のような経験がどの程度ありましたか。

1行につき1つだけマークしてください。

	よくあった	ある程度あった	あまりなかった	ほとんどなかった
ディスカッションを取り入れた授業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
グループワークや実験・実習など協働作業をする授業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
発表を取り入れた授業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教室外での活動や実習を行う授業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
少人数で行う演習形式の授業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学んでいる内容が自分の将来と関わっていると感じられる授業	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここからは、学科・専攻ごとの回答になります。所属を選択し、続けてアンケートへの回答をお願いいたします。

所属*

1つだけマークしてください。

- 大学
- 短期大学

学科（大学）

*

※（大教）所属の方は、（新教）をお選びください

1つだけマークしてください。

- 大日
- 大英
- 大心
- 新教（大教）
- 新健
- 大環
- 大食
- 大情
- 大築
- 大演
- 大応
- 新薬
- 大康
- 大護

学科（短期大学）*

1つだけマークしてください。

- 短日
- 短英新
- 短教
- 短心
- 短健
- 短食
- 短生

大日の方にお聞きします

本学では、学科ごとに卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を設定しています。

<ディプロマ・ポリシー（大日）>

本学科では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士（日本語日本文学）の学位を授与します。

【知識・理解】

- A 日本語および日本文学に関する基礎的また専門的知識を修得している。
- B 自国および他国の文化に対する理解を深め、日本の言語・文学との関連性を体系的に把握している。

【技能・表現】

- C 日本語のしくみ・特性を深く理解し、自らの思考を他者に対して的確に発信する能力を備えている。
- D 情報機器（ICT）活用技能を含む諸技能と豊かな表現力を身につけている。

【思考・判断】

- E 日本語・日本文学に関して身につけた専門的知識を捉えかえし、批判的に考察する能力を備えている。
- F 論理的思考を身につけ、自ら課題を発見して解決に導く能力を備えている。

【態度・志向性】

- G 日常生活の中で大学での学修の価値を認識し、常に学問的態度を保っている。
- H 広範で体系的知識と豊かな感性、倫理観に基づき、自らの役割を自覚しながら使命を全うしようとする強い意欲と意志を持っている。

Q4. あなたは上記のディプロマ・ポリシーの内容を知っていましたか。*

1 つだけマークしてください。

- 知っていて、内容を理解していた
- 詳しくは知らないが、なんとなく聞いた（見た）ことがある
- ほとんど知らなかった

Q5. あなたは、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・能力が、在学中にどの程度身に付いたと思いますか。対応するアルファベットのディプロマポリシーに対してそれぞれ回答してください。

【知識・理解】

- A 日本語および日本文学に関する基礎的また専門的知識を修得している。
- B 自国および他国の文化に対する理解を深め、日本の言語・文学との関連性を体系的に把握している。

【技能・表現】

- C 日本語のしくみ・特性を深く理解し、自らの思考を他者に対して的確に発信する能力を備えている。
- D 情報機器（ICT）活用技能を含む諸技能と豊かな表現力を身につけている。

1 行につき1 つだけマークしてください。

	とても身に付いた	ある程度身に付いた	あまり身に付いていない	ほとんど身に付いていない
A	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
B	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
C	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
D	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※Q4, Q5は調査対象学科・専攻のDPIにあわせて調査を実施している

※個別のDPの内容については大学はP42～55、短期大学部はP56～62を参照

【思考・判断】

E 日本語・日本文学に関して身につけた専門的知識を捉えかえし、批判的に考察する能力を備えている。

F 論理的思考を身につけ、自ら課題を発見して解決に導く能力を備えている。

【態度・志向性】

G 日常生活の中で大学での学修の価値を認識し、常に学問的態度を保っている。

H 広範で体系的知識と豊かな感性、倫理観に基づき、自らの役割を自覚しながら使命を全うしようとする強い意欲と意志を持っている。

1行につき1つだけマークしてください。

	とても身に付いた	ある程度身に付いた	あまり身に付いていない	ほとんど身に付いていない
E	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
F	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
G	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
H	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q6. あなたは、在学期間を通して、本学の教育内容をどのように感じましたか。

1行につき1つだけマークしてください。

	とても当てはまる	ある程度当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない
教養分野の教育（共通教育）が充実している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専門分野の教育が充実している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
実践的・実務的教育が充実している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
外国語教育が充実している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
情報リテラシー教育が充実している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※Q4, Q5は調査対象学科・専攻のDPIにあわせて調査を実施している

※個別のDPの内容については大学はP42～55、短期大学部はP56～62を参照

Q 7. 総合的にみて、あなたは本学の教育内容に満足していますか。*

1 つだけマークしてください。

- 満足している
- やや満足している
- あまり満足していない
- 満足していない

Q 8. 卒業後の進路について伺います。あなたのご自身の卒業後の進路に満足していますか。*

1 つだけマークしてください。

- 満足している
- やや満足している
- あまり満足していない
- 満足していない

Q 9. 学生生活を振り返ってみて、本学に入学してよかったと思いますか。*

1 つだけマークしてください。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

Q 10. 最後に、本学の教育についてご意見・感想などをご自由にお書きください。
